

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	3,306,014,912	21,900,500	1,050,000,000	1,169,843,920	1,064,270,492
1 項 商 工 費	3,306,014,912	21,900,500	1,050,000,000	1,169,843,920	1,064,270,492
2 目 中 小 企 業 振 興 費 <中小企業の経営基盤の強化と人材育成>	221,701,733	0	0	1,243,920	220,457,813

1 中小企業振興対策事業費 181,904,230 円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

ものづくり・夢づくり支援事業において、市内企業の競争力や技術力、販売力の強化に資する支援を行った。また、企業BCP（事業継続計画）の策定を促すためのセミナーや策定経費の助成など、普及・啓発のための支援を行った。今後も地域のニーズや戦略を踏まえた新たな制度の構築・検討を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業振興助成金 165,136,690 円

助 成 金	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
		201件	163,164,300円	200件

(2) ものづくり・夢づくり支援事業費 16,233,000 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 591,000 円

補 助 金	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
		17件	1,906,000円	7件

(イ) 産学共同研究等支援事業費補助金 2,345,000 円

補 助 金	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
		5件	2,008,000円	6件

(ウ) 販路開拓支援事業費補助金 8,694,000 円

補 助 金	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
		59件	9,651,000円	50件

(エ) 創業者支援事業費補助金 2,203,000 円

補 助 金	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
		9件	1,979,000円	9件

(オ) 起業支援事業費補助金 2,400,000 円

補 助 金	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
		3件	900,000円	6件

(3) 企業BCP策定支援事業費 173,880 円

(ア) 企業BCP（事業継続計画）セミナーの開催 53,880 円

セミナー受講者数	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
		延 160人		延 129人

(イ) 企業BCP策定支援事業費補助金 120,000円

補助金	平成29年度		平成30年度	
		3件	90,000円	4件

(4) 事業承継支援調査事業費 205,800円

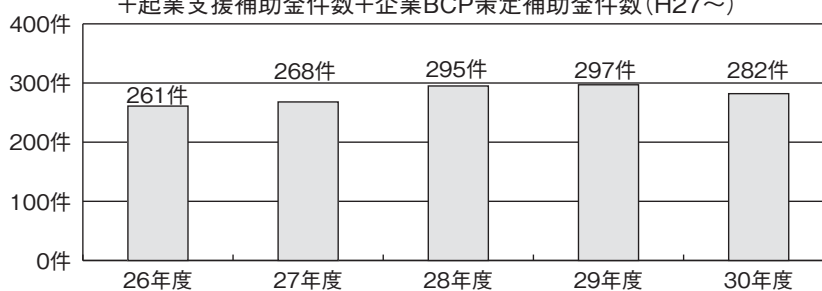
(ア) 事業承継セミナーの開催 205,800円

セミナー受講者数	平成29年度		平成30年度	
		—		

[指標]

指標名：中小企業振興助成金等交付件数

指標説明：振興助成金件数+国際規格等取得補助金件数(H26~27)+知的財産権取得補助金件数
+産学共同研究補助金件数+販路開拓補助金件数+創業者支援補助金件数
+起業支援補助金件数+企業BCP策定補助金件数(H27~)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 産 業 創 出 費 ＜製品開発力や技術力等の向上と新規産業の創出＞	120,246,440	21,579,500	0	0	98,666,940

1 新事業創出事業費 71,746,440円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

特色ある技術をもった事業者が活躍し、地域に新しい産業が生まれることを促進するため、産学連携等による新技術・新製品開発に向けた研究開発の取組みに対する助成を行った。また、官民協働でのオープンデータの利活用を進め、新たなビジネス創出につなげる目的で、データポータルサイト等の運用やデータ活用を促進するワークショップの開催を支援した。さらに、ものづくり技術の育成・創出を目的とした「ものづくり博2018 in 東三河」の開催に対する助成を実施した。今後も地域での新事業創出に向けた取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) イノベーション創出等支援事業補助金 35,450,000円

補 助 金	平成29年度	平成30年度
		34,952,000円

(2) 新規ビジネス創造支援事業補助金 500,000円

補 助 金	平成29年度	平成30年度
		473,000円

(3) オープンデータビジネス創出事業費 12,996,440円

内 容	平成29年度	平成30年度
	データポータルサイト、デジタルサイネージ及び公共交通運行情報システムの運用開発、ワークショップ等の開催支援	データポータルサイト、デジタルサイネージ及び公共交通運行情報システムの運用開発、ワークショップ等の開催支援

(4) 地域産業支援施設整備事業補助金 20,800,000円

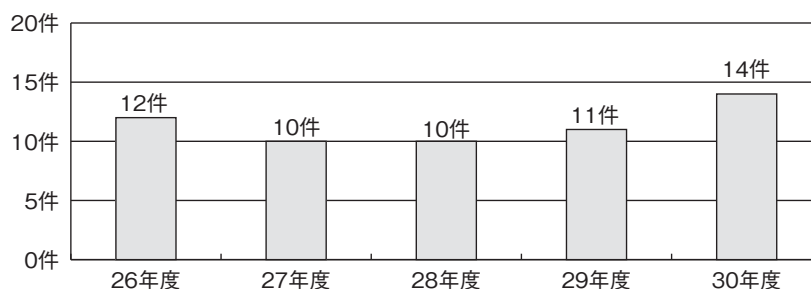
補 助 金	平成29年度	平成30年度
		20,800,000円

(5) 「ものづくり博2018 in 東三河」開催費補助金 2,000,000円

補 助 金	平成29年度	平成30年度
		—

[指 標]

指 標 名：研究開発に対する支援件数
 指標説明：イノベーション創出等支援事業の研究開発テーマ件数



2 産学交流促進事業費

48,500,000円 (産業政策課)

[総括]

本市をはじめ様々な機関が一体となつて行う人材育成事業等の取組みに対する助成のほか、豊橋サイエンスコアに集う多様な人材の交流・連携を促進することで、新商品開発や新規ビジネスの創出を加速化する「豊橋イノベーションガーデン」の運営を支援した。今後も新たな産業創出を支える人材の育成や交流を進めるほか、新分野進出や起業・創業など事業者の取組みを支援していく。

[実績及び成果]

- (1) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,800,000円

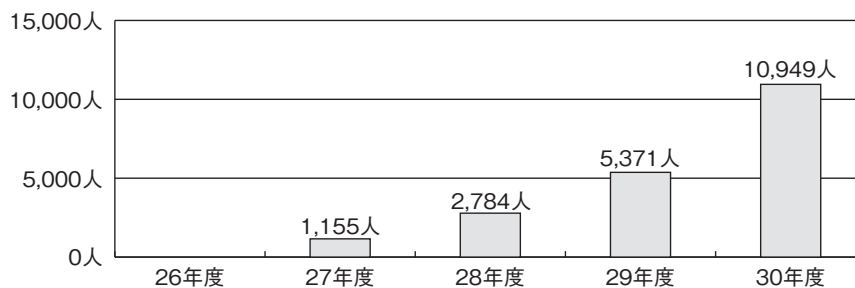
補助金	平成29年度	平成30年度
	2,710,000円	3,800,000円

- (2) 豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金 44,700,000円

補助金	平成29年度	平成30年度
	—	44,700,000円

[指標]

指標名：豊橋イノベーションガーデン利用者数
 指標説明：メイカーズ・ラボとよはし利用者数(平成27年度～)+Startup Garage 利用者数(平成29年度～)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 ＜円滑な企業活動の促進と企業誘致の推進＞	150,316,771	0	0	0	150,316,771

1 企業誘致推進事業費 150,316,771 円 (産業政策課)

[総括]

関西、関東及び近隣市の優良企業に対し誘致活動を行ったほか、市内の立地企業との情報交換会を開催するなど市内企業のニーズ把握にも努めた。また、広域的な産業集積を活かした企業誘致を展開するため、東三河5市が連携して戦略的に企業誘致に取り組んだ。こうした取組みにより、新たに2区画の事業用地の分譲等に成功し、優良企業を誘致した。さらに、内陸用地への進出要望の高まりへの対応として、国道23号名豊道路沿線の豊橋三弥地区を始め内陸部に新たに産業用地の整備を進めた。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 5,679,771 円

内 容		平成29年度		平成30年度	
企業誘致説明会	開催日	29.12.21		31.2.18	
	場 所	大阪市		大阪市	
	出席企業数	18社		26社	
立地企業情報交換会	開催日	29.7.11	29.11.27	30.8.28	30.11.22
	場 所	若松地区	二川地区	リサーチパーク	石巻地区
	出席企業数	12社	8社	11社	11社
東三河5市企業誘致推進連絡会議	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセナゴヤ出展 29.11.8～11.11 ・ポートメッセ名古屋 30.1.25 ・企業連携懇談会(東京都) 		<ul style="list-style-type: none"> ・メッセナゴヤ出展 30.11.7～11.10 ・ポートメッセ名古屋 ・企業用地見学ツアー(豊橋市、田原市) 	

(2) 企業立地促進奨励金 136,137,000 円

奨 励 金	平成29年度		平成30年度	
		32件	167,901,000円	25件

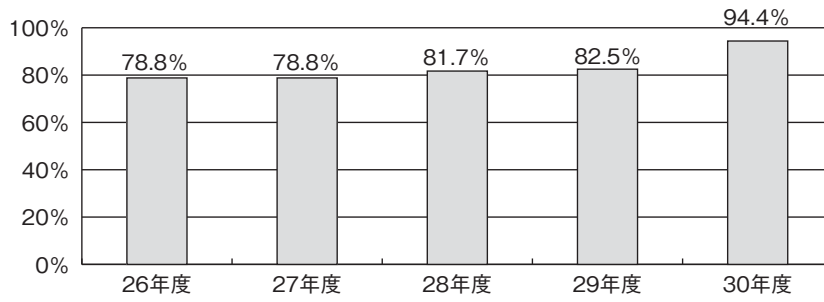
(3) 産業拠点形成事業費 8,500,000 円

内 容	平成29年度		平成30年度	
		産業用地施設設計等業務委託等		道水路敷地調査測量等委託業務

[指 標]

指 標 名：事業所用地分譲率

指標説明：市内5か所の事業所用地全体の分譲率(面積)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 商業振興費 <魅力ある商業集積の形成>	9,482,480	0	0	0	9,482,480

1 商業振興対策事業費 9,482,480円 (商工業振興課)

[総括]

魅力ある商業地形成のため、商店街等が維持管理を行う街路灯等の電灯料や既設アーケードの省エネ化に対して助成したほか、商業団体が実施する各種イベントに対する支援などを行った。今後も各種事業を実施することにより、商業等の活性化を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体共同事業補助金 1,374,000円

補 助 金	平成29年度		平成30年度	
		4団体	1,075,000円	5団体

(2) 商店街環境向上事業補助金 6,063,000円

補 助 金	平成29年度		平成30年度	
		4団体	1,525,000円	4団体

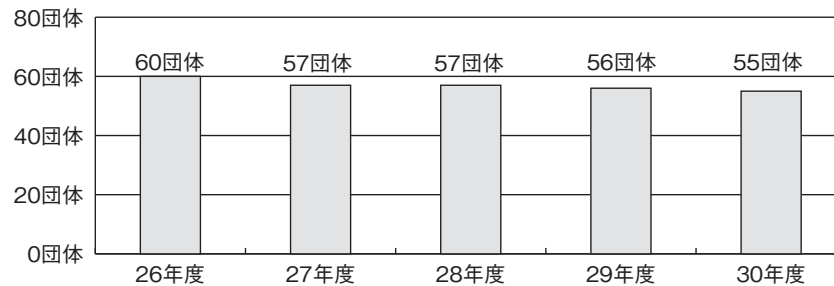
(3) がんばる個店応援事業補助金 93,000円

補 助 金	平成29年度		平成30年度	
		2件	182,000円	1件

[指 標]

指 標 名：商店街、発展会等数

指標説明：法組織(商店街振興組合、商店街事業協同組合)数+任意組織(発展会等)数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中小企業支援費 <意欲ある事業者への支援>	2,304,651,136	0	1,050,000,000	1,167,500,000	87,151,136

1 制度融資事業費 1,170,033,126円 (商工業振興課)

[総括]

中小事業者に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小事業者が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や経営安定資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

[預託金合計]

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較	
預 託 額	1,349,000,000円	1,167,000,000円	△13.5%	
融 資 枠	5,127,000,000円	4,461,000,000円	—	
融 資 実 績	件数	836件	835件	△ 0.1
	金額	3,685,175,000円	3,675,275,000円	△ 0.3
融 資 実 績 率	71.9%	82.4%	10.5ポイント	

(1) 小口事業資金預託金 704,000,000円

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較	
預 託 先	豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—	
預 託 額	850,000,000円	704,000,000円	△17.2%	
融 資 枠	2,550,000,000円	2,112,000,000円	—	
融 資 実 績	件数	245件	180件	△26.5
	金額	1,795,970,000円	1,407,336,000円	△21.6
融 資 実 績 率	70.4%	66.6%	△ 3.8ポイント	

(2) 経営安定資金預託金 20,000,000円

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較	
預 託 先	岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—	
預 託 額	30,000,000円	20,000,000円	△33.3%	
融 資 枠	90,000,000円	60,000,000円	—	
融 資 実 績	件数	2件	0件	皆減
	金額	22,500,000円	0円	皆減
融 資 実 績 率	25.0%	0.0%	△25.0ポイント	

(3) 小規模企業等振興資金預託金 320,000,000円

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較	
預 託 先	豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—	
預 託 額	360,000,000円	320,000,000円	△11.1%	
融 資 枠	2,160,000,000円	1,920,000,000円	—	
融 資 実 績	件数	537件	604件	12.5
	金額	1,701,445,000円	2,053,169,000円	20.7
融 資 実 績 率	78.8%	106.9%	28.1ポイント	

(4) 中心市街地商業活性化資金預託金 22,000,000 円

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		20,000,000円	22,000,000円	10.0%
融 資 枠		60,000,000円	66,000,000円	—
融 資 実 績	件 数	10件	4件	△60.0
	金 額	32,000,000円	27,500,000円	△14.1
融 資 実 績 率		53.3%	41.7%	△11.6ポイント

(5) 創業支援資金預託金 75,000,000 円

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		60,000,000円	75,000,000円	25.0%
融 資 枠		180,000,000円	225,000,000円	—
融 資 実 績	件 数	33件	45件	36.4
	金 額	109,760,000円	182,770,000円	66.5
融 資 実 績 率		61.0%	81.2%	20.2ポイント

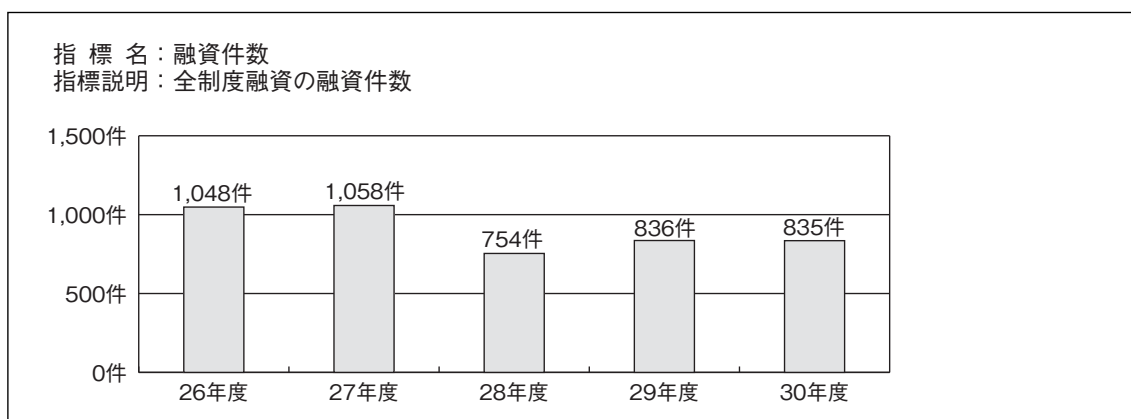
(6) 中小企業団体共同事業資金預託金 8,000,000 円

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		11,000,000円	8,000,000円	△27.3%
融 資 枠		33,000,000円	24,000,000円	—
融 資 実 績	件 数	2件	1件	△50.0
	金 額	3,500,000円	2,500,000円	△28.6
融 資 実 績 率		10.6%	10.4%	△ 0.2ポイント

(7) 小規模事業資金預託金 18,000,000 円

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		18,000,000円	18,000,000円	0.0%
融 資 枠		54,000,000円	54,000,000円	—
融 資 実 績	件 数	7件	1件	△85.7
	金 額	20,000,000円	2,000,000円	△90.0
融 資 実 績 率		37.0%	3.7%	△33.3ポイント

[指 標]



2 制度融資関係補助事業費 73,393,387 円（商工業振興課）

[総 括]

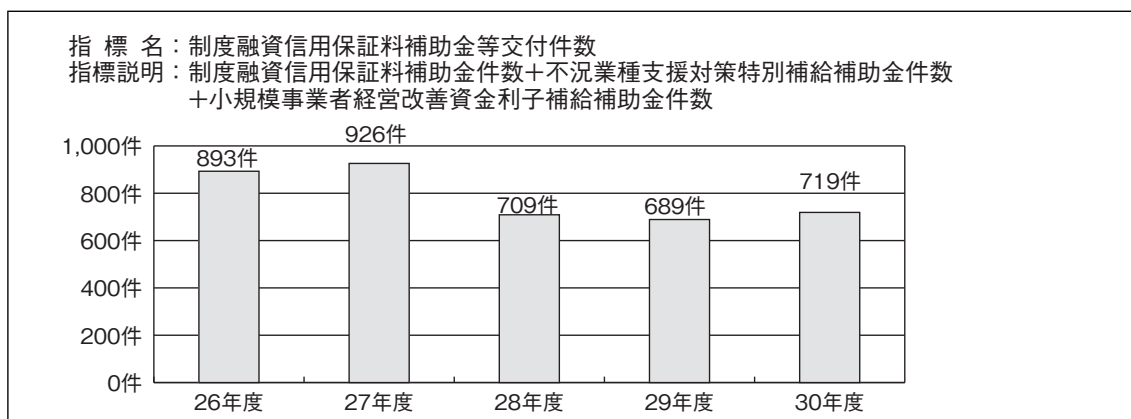
中小事業者が愛知県信用保証協会の信用保証を得て融資を受けた場合にその信用保証料相当額を助成するなど、中小事業者の借入負担を軽減し経営の安定化を図る支援を行った。今後も補助制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資信用保証料補助金 72,384,987 円

補 助 金	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
		625件	67,188,300円	661件

[指 標]



3 地域総合整備資金貸付事業費 1,050,000,000 円（商工業振興課）

[総 括]

輸入パームヤシ殻や奥三河の間伐材等を利用した木質バイオマス発電施設を建設する事業者に対し、ふるさと融資制度を活用した支援を行った。

[実績及び成果]

(1) 地域総合整備資金貸付金 1,050,000,000 円

貸 付 金	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
		—		1,050,000,000円

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 中心市街地にぎわい創出費 <にぎわい創出活動の推進>	41,859,256	0	0	0	41,859,256

1 まちなかにぎわい創出事業費 27,739,256円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、歩行者天国やまちなかマルシェ、クリスマスマーケットを引き続き開催したほか、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキではイルミネーション装飾を行った。また、中心市街地の魅力向上や活性化につながる新しいコミュニティ等の活動を支援した。今後も中心市街地で活躍する様々な団体と連携・協力しながら、まちなかのにぎわいを創出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 16,923,256円

内 容	平成29年度	平成30年度
まちなかイルミネーション装飾の実施	点灯期間・日数 29.11.19~30.2.14 88日間 装飾電球数 約 127,000球	点灯期間・日数 30.11.18~31.2.14 89日間 装飾電球数 約 142,000球
まちなかマルシェ等の実施	実施回数・日数 13回・16日間 来場者数 延 77,800人	実施回数・日数 14回・25日間 来場者数 延 89,800人
豊橋駅南口駅前広場使用実績	貸出件数 80件 貸出日数 115日	貸出件数 75件 貸出日数 91日

(2) まちなか活性化推進協議会負担金 1,000,000円

負 担 金	平成29年度	平成30年度
	1,000,000円	1,000,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 500,000円

補 助 金	平成29年度	平成30年度
	1件 500,000円	1件 500,000円

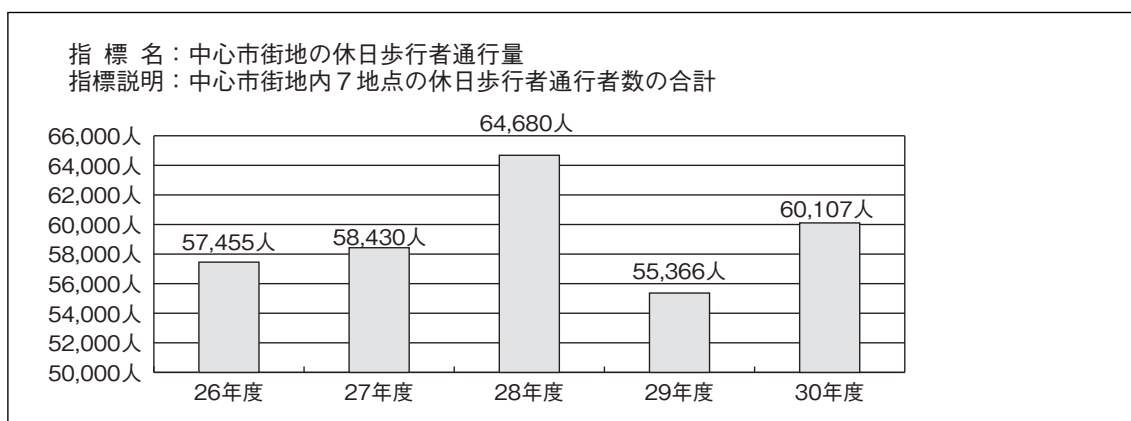
(4) 歩行者天国実行委員会負担金 9,000,000円

内 容	平成29年度	平成30年度
歩行者天国の実施	実施回数 9回 来場者数 延 271,000人	実施回数 10回 来場者数 延 309,000人

(5) コミュニティ活動等促進事業補助金 316,000円

補 助 金	平成29年度	平成30年度
	1件 210,000円	1件 316,000円

[指 標]



2 TMO支援事業費 14,120,000円（まちなか活性課）

[総 括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する空き店舗活用事業や共通駐車券事業のほか、新規創業者の出店経費の負担軽減を図る、まちなかインキュベーション事業への支援を行った。今後もまちなかのにぎわいを創出し、魅力ある商業・サービス業を集積させるための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 空き店舗活用事業補助金 572,000円

補 助 金	平成29年度		平成30年度	
		8件	4,378,000円	5件

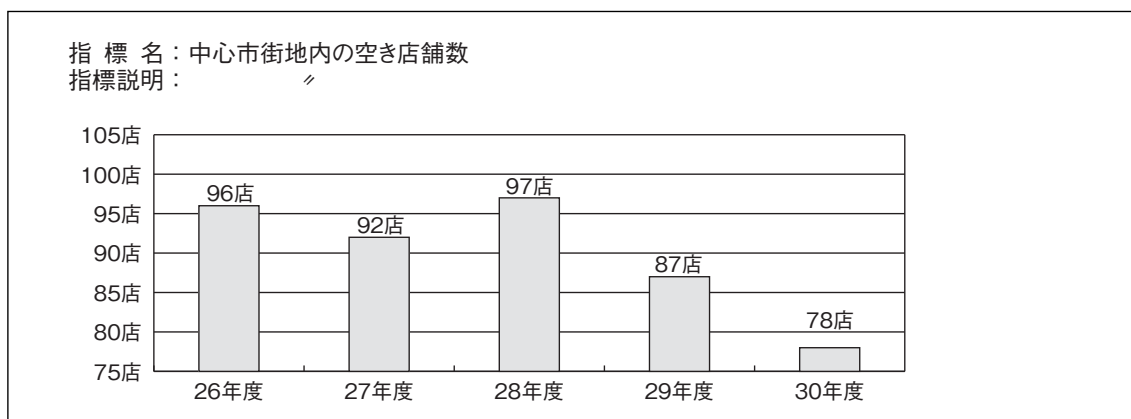
(2) 共通駐車券事業補助金 1,030,000円

補 助 金	平成29年度		平成30年度	
		1件	1,013,000円	1件

(3) まちなかインキュベーション事業等補助金 12,518,000円

補 助 金	平成29年度		平成30年度	
		17件	10,983,000円	22件

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 観 光 費 <観光資源の魅力づくり>	85,068,785	0	0	1,100,000	83,968,785

1 まつり・イベント支援事業費 75,800,000円 (観光振興課)

[総括]

交流人口の拡大による観光振興や地域の活性化を図るため、市内外から多くの集客を見込めええじゃないか豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつり等の各種祭り・イベントの開催を支援した。豊橋まつりでは、天気にも恵まれたことに加え、新たに「次代へ、いざ舞らん！ええじゃないか舞乱行列」を開催し多くの人出があった。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 10,800,000円

行 事 内 容			平成29年度	平成30年度
春まつり	さくらまつり	期 間	29.4.1～4.13 (17日間) 30.3.28～3.31	30.4.1～4.8 (17日間) 31.3.23～3.31
		場 所	向山緑地ほか	向山緑地ほか
		来場者数	約40,000人	約40,000人
	つつじまつり	期 間	29.4.21～5.7 (17日間)	30.4.20～5.6 (17日間)
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	約2,500人	約2,500人
	うめまつり	期 間	30.1.27～3.11 (44日間)	31.1.26～3.10 (44日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	約42,000人	約42,000人
	補 助 金	6,489,000円	6,489,000円	
花しょうぶまつり	期 間	29.5.20～6.11 (23日間)	30.5.26～6.10 (16日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	約200,000人	約180,000人	
	補 助 金	4,311,000円	4,311,000円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 52,000,000円

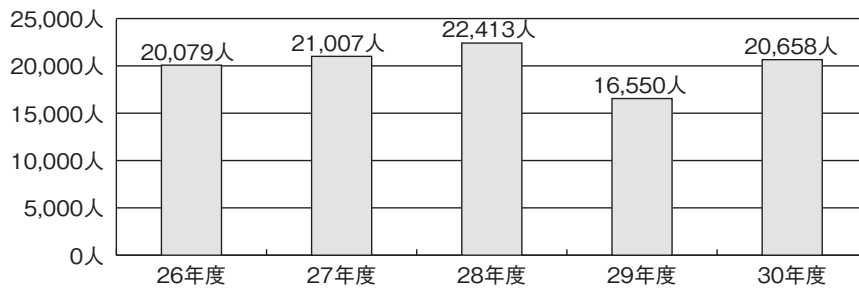
区 分	平成29年度	平成30年度
開 催 日	29.10.21	30.10.20～21
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリア 12会場	まちなかエリア・豊橋公園エリア 12会場
行 事 数	34行事	46行事
総 人 出 数	約162,000人	約670,000人
総 参 加 団 体 数	約879団体	約961団体
補 助 金	55,000,000円	52,000,000円

(3) 炎の祭典開催費補助金 13,000,000 円

区 分	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
開 催 日	29.9.9	30.9.8
場 所	豊橋球場及びその周辺	豊橋球場及びその周辺
来 場 者 数	約58,000人	約56,000人
補 助 金	14,000,000円	13,000,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 観光情報発信費 < 情 報 の 発 信 >	81,796,578	321,000	0	0	81,475,578

1 産業プロモーション推進事業費 39,286,990 円 (産業政策課・観光振興課)

[総括]

首都圏でのプロモーションとして、浅草「まるごとにつぼん」での、特産品等の展示・販売のほか、横浜赤レンガ倉庫やららぼーと豊洲での手筒花火の放揚を行った。また、東三河の産業をPRするため豊橋駅東西自由連絡通路に設置している展示ブースの入替えを実施したほか、ふるさと寄附制度を活用し豊橋産品のPRをした。海外向けのプロモーションとして、台湾の訪日旅行を取り扱う現地旅行会社等を訪問し、本市の観光資源の魅力をPRしたほか、SNS等を活用した情報発信を行った。今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につなげるプロモーションを展開する。

[実績及び成果]

(1) 産業プロモーション推進事業費 39,286,990 円

(ア) 推進活動費 19,299,634 円

(うち手筒花火放揚 12,417,800 円、浅草「まるごとにつぼん」出展事業費 4,449,600 円)

産業プロモーション 実 施 回 数 ※ () は 日 数	平成29年度	平成30年度
	・物産展 浅草「まるごとにつぼん」 6回 (10日) 横浜赤レンガ倉庫 1 (3)	
・手筒花火放揚 ららぼーと豊洲 1 (1) 横浜赤レンガ倉庫 1 (1)		・手筒花火放揚 ららぼーと豊洲 1 (1) 横浜赤レンガ倉庫 1 (1)
・その他 12 (18)		ささしまライブ 1 (1) ・その他 21 (23)
計	21 (33)	28 (37)

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 2,372,799 円

内 容	平成29年度	平成30年度
		フォルクスワーゲン及びものづくり技術「豊橋技術科学大学」の紹介展示

(ウ) 訪日外国人観光客誘致 3,151,800 円

内 容	平成29年度	平成30年度
		・台湾現地プロモーション ・訪日旅行を取り扱う台湾の旅行会社等を本市へ招へいし観光資源をPR ・吉田城鉄橋前広場での手筒花火放揚 ・インバウンド情報発信パンフレットの作成

(エ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 11,918,277円

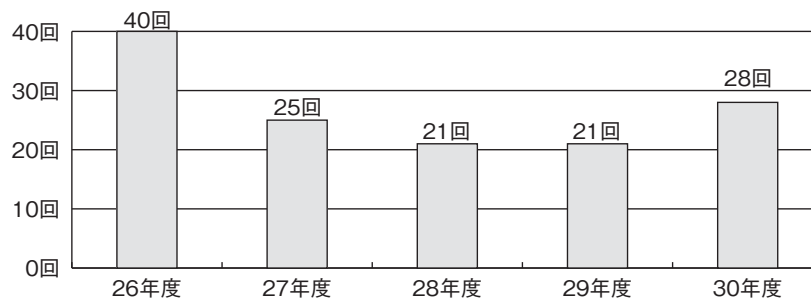
内 容	平成29年度	平成30年度
	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への掲載 返礼品件数：1,503件	

(オ) 手筒花火体験パーク（仮称）の設置 2,544,480円

内 容	平成29年度	平成30年度
	—	

[指 標]

指 標 名：産業プロモーション実施回数
 指標説明：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数



2 観光宣伝事業費 15,659,588円（観光振興課）

[総 括]

本市の観光施設等への集客を促すため、雑誌・新聞等による情報発信や情報プラザでPR活動を行った。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 観光PR活動推進事業費 7,859,417円

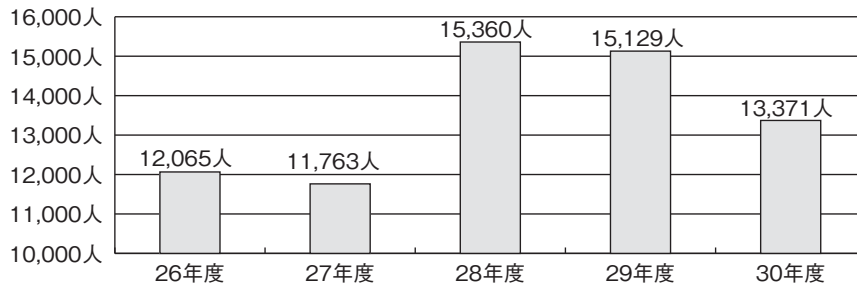
豊橋市への来訪者数	平成29年度	平成30年度	比 較
		延 1,878,606人	延 2,387,778人

(2) 情報プラザ運営事業費 7,800,171円

案 内 者 数	平成29年度	平成30年度	比 較
		延 15,129人	延 13,371人

[指 標]

指 標 名：情報プラザの案内者数
指標説明： /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	16,486,456,753	2,523,287,581	3,731,700,000	1,077,548,094	9,153,921,078
1 項 道 路 橋 梁 費	4,164,088,026	383,318,030	1,304,700,000	290,750,072	2,185,319,924
2 目 広域幹線道路整備費 <広域幹線道路の整備促進>	595,320,770	15,123,000	485,800,000	32,058,280	62,339,490

1 幹線道路建設促進対策事業費 595,320,770 円 (道路建設課)

[総括]

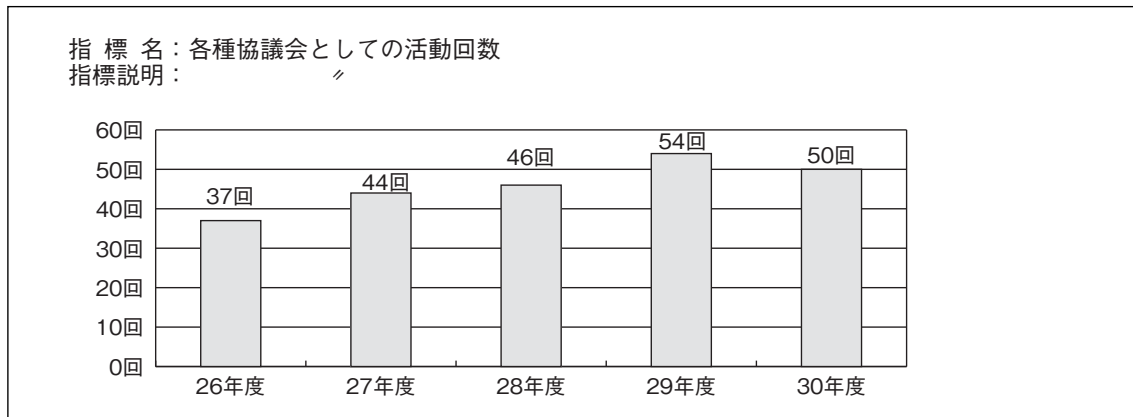
広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対する要望活動等を積極的に行った。また、スマートICの設置に向けた位置や必要性等の検討を行った。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化して、地域と一体となって事業の円滑な推進を図る。名豊道路道の駅整備事業では、開駅に向けて地域振興施設の整備を進めた。

[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 13,164,530 円

内 容	平成29年度	平成30年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動・研修会の実施	総会・要望活動・研修会の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・意見交換会・要望活動等への参加	総会・意見交換会・要望活動等への参加
ス マ ー ト I C	—	基礎調査

[指 標]



(2) 名豊道路道の駅整備事業費 582,156,240 円

(国庫補助事業 30,246,048 円 市単独事業 551,910,192 円)

内 容	平成29年度	平成30年度
		地域振興施設基本設計 造成工事

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 幹線道路整備費 < 幹線市道の整備 >	153,848,470	70,242,000	53,600,000	3,750,086	26,256,384

1 幹線市道整備事業費 69,338,004 円 (道路建設課)

[総括]

大岩町・小松原町55号線については第3工区の道路改良工事を進めた。一色町・王ヶ崎町1号線については用地取得を進め、明海町・老津町28号線は地元説明会を開催した。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を図る。

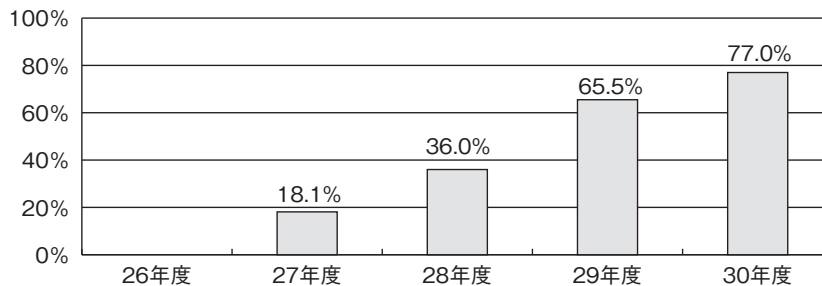
[実績及び成果]

- (1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 54,543,480 円
(国庫補助事業 41,894,000 円 市単独事業 12,649,480 円)

道 路 改 良 (第 3 工 区)	平成29年度	平成30年度
	延 長	110m
用 地	1,123.45㎡	用 地 461.96㎡
補 償 建物等		補 償 建物等

[指 標]

指 標 名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第3工区)
指 標 説 明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成27年度～令和2年度)

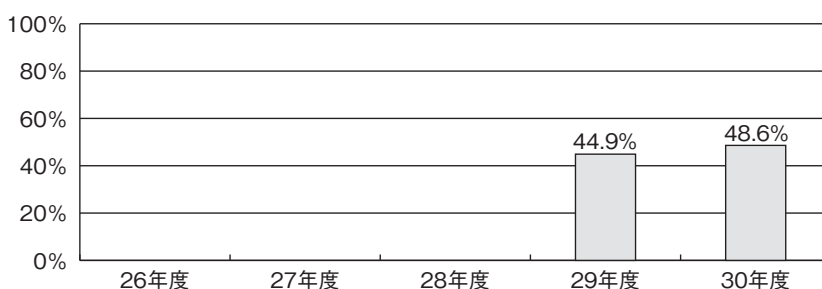


- (2) 一色町・王ヶ崎町1号線整備事業費 10,366,016 円
(国庫補助事業 8,540,000 円 市単独事業 1,826,016 円)

道 路 改 良	平成29年度	平成30年度
	用 地	2,567.34㎡
補 償 工作物等		補 償 工作物等

[指 標]

指 標 名：一色町・王ヶ崎町1号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成29年度～令和3年度）



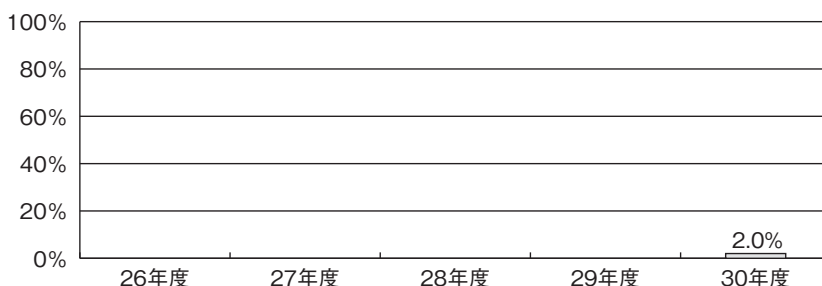
(3) 明海町・老津町 28 号線整備事業費 4,428,508 円

(市単独事業 4,428,508 円)

道 路 改 良	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	—	土地評価

[指 標]

指 標 名：明海町・老津町28号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～令和5年度）



2 都市計画道路整備事業費 84,510,466 円（道路建設課）

[総 括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、平成 30 年度は前年度に引き続き、弥生町線の用地取得を進めた。今後も国庫補助金等の財源を確保しつつ、用地の取得に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

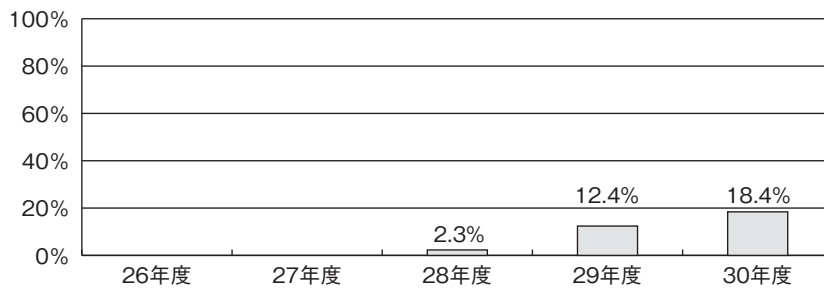
(1) 弥生町線整備事業費 84,510,466 円
 (国庫補助事業 79,720,000 円 市単独事業 4,790,466 円)

道 路 改 良	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	用 地 214.69㎡ 補 償 建物等	用 地 450㎡ 補 償 建物等

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～令和3年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通環境保全費 <快適な交通環境の保全>	1,712,934,402	104,104,030	625,600,000	94,596,393	888,633,979

1 自由連絡通路等管理事業費 167,792,789円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が快適に利用できるよう自由連絡通路等を維持管理した。今後も、施設の修繕等適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努める。

[実績及び成果]

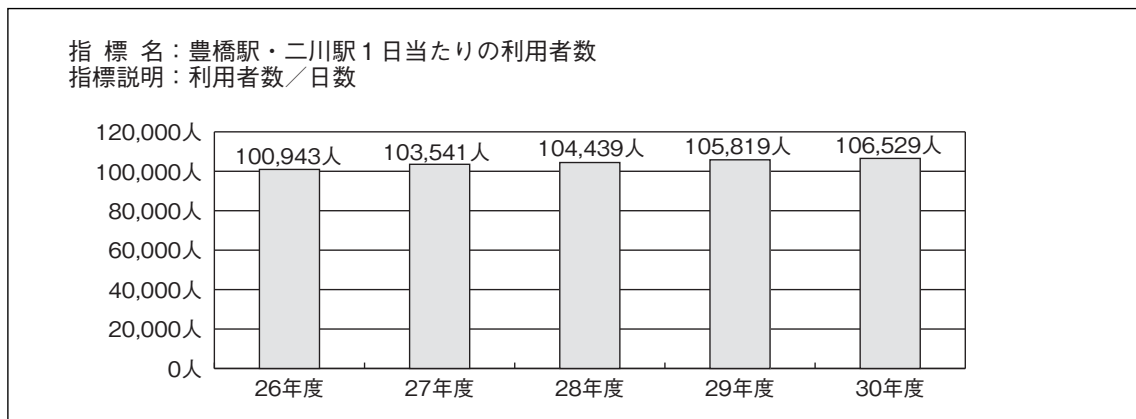
(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 151,620,925円

1日当たりの利用者数	平成29年度	平成30年度	比較
		100,186人	100,811人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,171,864円

1日当たりの利用者数	平成29年度	平成30年度	比較
		5,633人	5,718人

[指標]



2 自転車等駐車場管理運営事業費 105,678,614円 (土木管理課)

[総括]

自転車等の駐車スペースを提供することにより、豊橋駅及び二川駅周辺の放置自転車等を防止し、安全かつ円滑な交通環境を確保するとともに、自転車等駐車場利用者の利便性向上をめざした管理運営を行った。また、計画的な修繕による施設の長期継続使用を目的に「自転車等駐車場長寿命化計画」を策定した。今後も、高校生などに対して定期利用登録の呼び掛けを継続するほか、施設・設備の修繕等の適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努める。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 73,733,641円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 4,200台

区 分		平成29年度	平成30年度	比 較
1日平均利用台数		2,695台	2,797台	3.8%
自 転 車	定期	2,160	2,238	3.6
	一時	317	336	6.0
ミニバイク	定期	176	177	0.6
	一時	42	46	9.5

(イ) 自動二輪車（城海津エリア） 収容台数 14台

区 分		平成29年度	平成30年度	比 較
1日平均利用台数		11台	10台	△ 9.1%
自動二輪車	定期	1	1	0.0
	一時	10	9	△10.0

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 収容台数 1,300台 17,001,779円

区 分		平成29年度	平成30年度	比 較
1日平均利用台数		979台	979台	0.0%
自 転 車	定期	788	781	△ 0.9
	一時	120	120	0.0
ミニバイク	定期	62	71	14.5
	一時	9	7	△22.2

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 14,943,194円

(ア) 自転車・ミニバイク（西エリア） 収容台数 370台

区 分		平成29年度	平成30年度	比 較
1日平均利用台数		423台	422台	△ 0.2%
自 転 車	定期	325	321	△ 1.2
	一時	48	49	2.1
ミニバイク	定期	40	42	5.0
	一時	10	10	0.0

(イ) 自転車（東エリア） 収容台数 45台

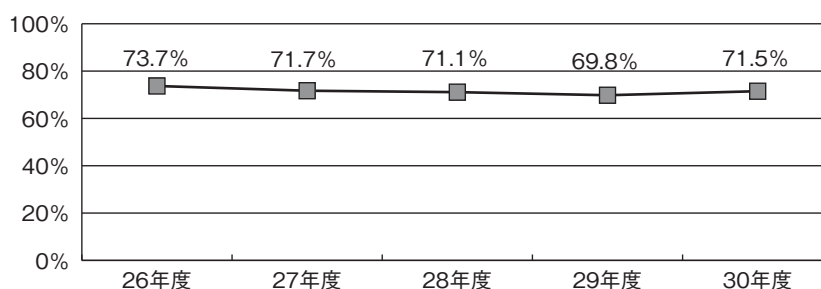
1日平均利用台数	平成29年度	平成30年度	比 較
	37台	39台	5.4%

(ウ) 自動車 収容台数 10台

1日平均利用台数	平成29年度	平成30年度	比 較
	12台	13台	8.3%

[指 標]

指 標 名：自転車等駐車場稼働率
 指標説明：豊橋駅東口、西口及び二川駅南口の1日平均利用台数／収容台数



3 道路施設等維持管理事業費 352,473,490 円（道路維持課）

[総 括]

生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行うとともに、老朽化が進む道路ストックについて、第三者被害を防止する観点から、横断歩道橋、門型標識の定期点検を実施した。今後も修繕等の迅速な対応に努め、道路の適正な維持管理を行う。

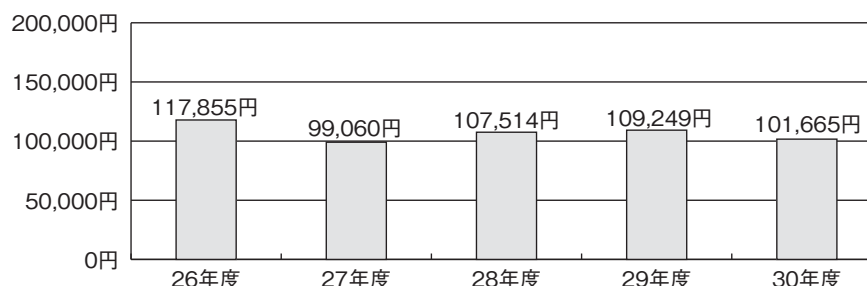
[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 352,473,490 円

区 分	平成29年度	平成30年度
道 路 清 掃	138路線 延長 476.0km	138路線 延長 476.0km
道 路 側 溝 清 掃	48か所 〃 5,653m	35か所 〃 4,360m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
道路ストック点検調査	路面下点検調査 延長 102km	横断歩道橋等点検調査 横断歩道橋 12橋 門型標識 2基

[指 標]

指 標 名：市道1km当たりの維持管理費
 指標説明：直接事業費／市道延長



4 道路等維持改良事業費 330,915,240 円（道路維持課）

[総括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

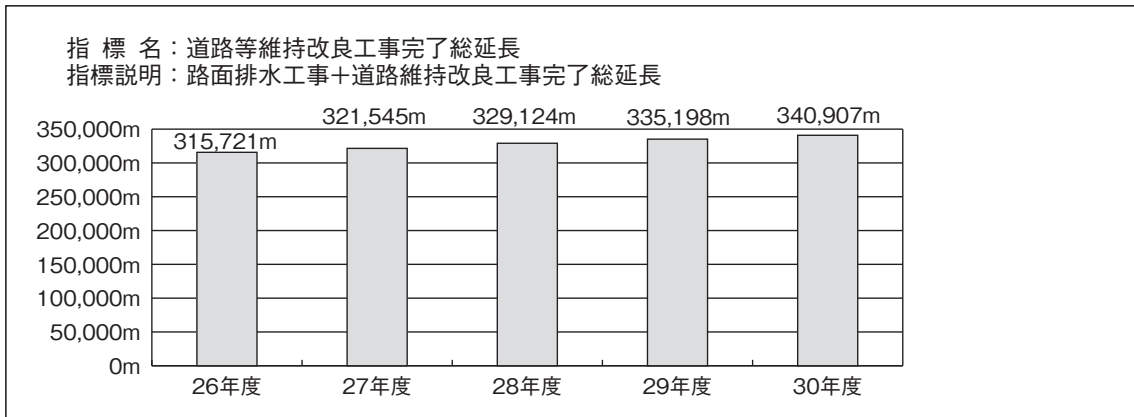
(1) 路面排水整備工事費 307,328,040 円

路面排水	平成29年度		平成30年度	
	市内一円	延長 5,028m	市内一円	延長 4,920m
	市街地	〃 727	市街地	〃 712
	雨水浸透型側溝等設置		雨水浸透型側溝等設置	

(2) 道路維持改良工事費 23,587,200 円

道路維持改良	平成29年度		平成30年度	
	2件	延長 319m	1件	延長 77m

[指標]



5 道路舗装事業費 439,516,800 円（道路維持課）

[総括]

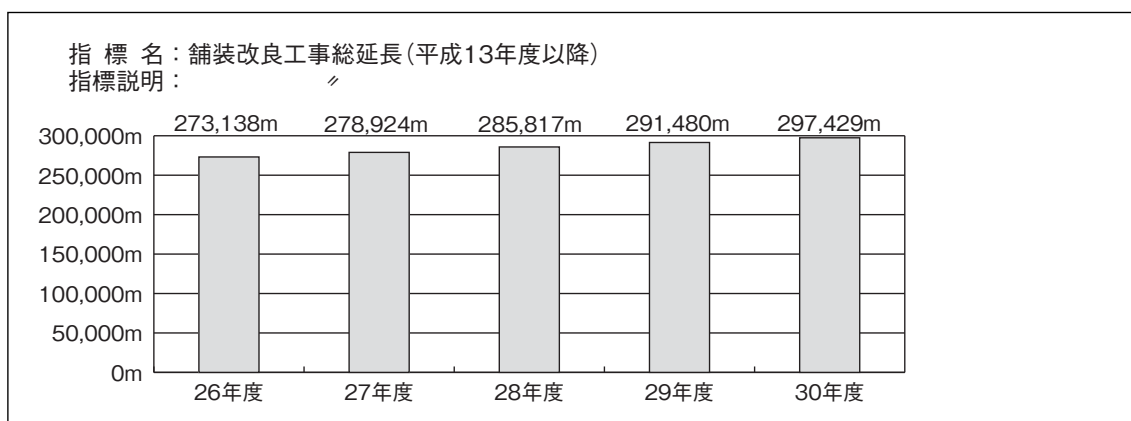
未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 439,516,800 円

内 容	平成29年度		平成30年度	
	舗装新設	延長 718m	面積 1,924㎡	延長 695m
舗装改良	〃 5,663	〃 34,120	〃 5,949	〃 35,080
舗装修繕		〃 14,693		〃 12,420

[指 標]



6 橋梁整備事業費 200,399,400 円 (道路建設課)

[総 括]

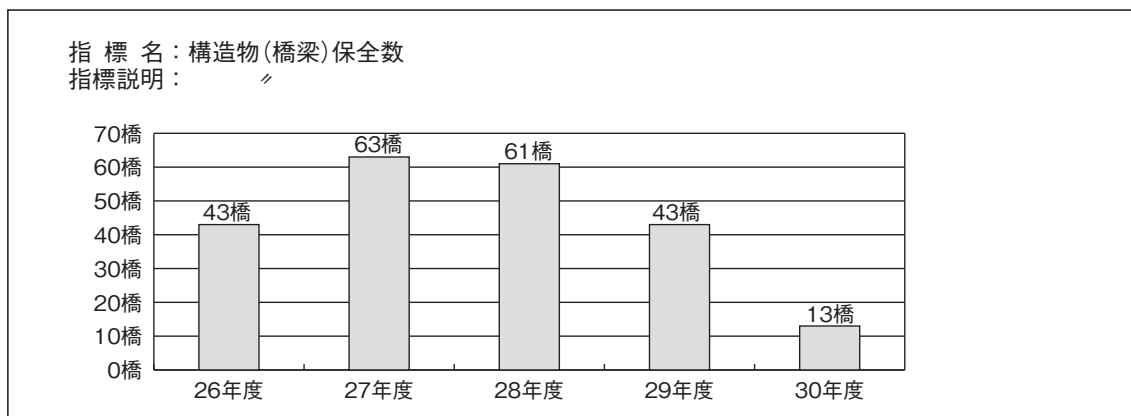
道路法で定められた定期点検を行うとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕を行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

- (1) 橋梁長寿命化事業費 200,399,400 円
 (国庫補助事業 133,247,273 円 市単独事業 67,152,127 円)

内 容	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
定 期 点 検	太陽寺橋始め303橋	西ノ坪橋はじめ328橋
補 修 (国 庫 補 助)	下安川橋始め43橋	井原橋(上り)はじめ13橋
補 修 (市 単 独)	大脇 6 号橋始め21橋	向屋貝津橋はじめ16橋

[指 標]



7 道路環境整備事業費

6,478,920 円（道路維持課）

〔総括〕

歩道修繕を行い、街路樹の根上がりによる段差の解消を図った。今後も歩きにくい歩道の改善に努める。

〔実績及び成果〕

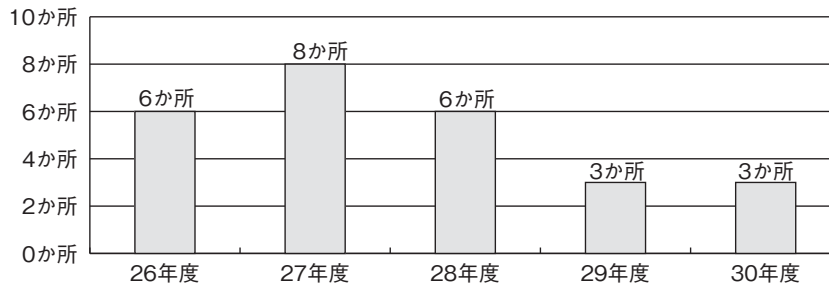
(1) 人にやさしい道づくり事業費 6,478,920 円

歩道修繕	平成29年度	平成30年度
	3か所	3か所

〔指標〕

指標名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数

指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設などの整備>	949,756,862	193,849,000	139,700,000	3,799,920	612,407,942

1 交通安全施設整備事業費 486,820,355 円 (道路建設課)

[総括]

飯村町・飯村北 85 号線はじめ 6 路線において、歩道等の整備を進め道路の安全確保に努めた。また、自転車通行空間整備事業では、豊橋市自転車活用推進計画に定められた優先整備路線において自転車通行空間の整備を行った。今後も道路状況や通学路などの利用状況を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

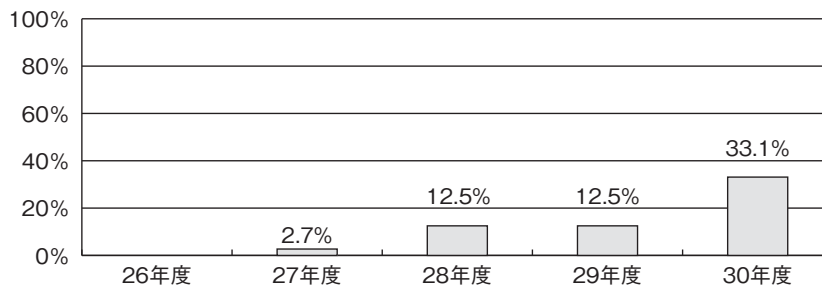
(1) 石巻西川町・石巻中山町 1 号線自転車道等設置事業費 12,499,360 円

(国庫補助事業 11,600,000 円 市単独事業 899,360 円)

自転車道等設置	平成 29 年度	平成 30 年度
	—	延長 118m

[指標]

指標名：石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成27年度～令和5年度)



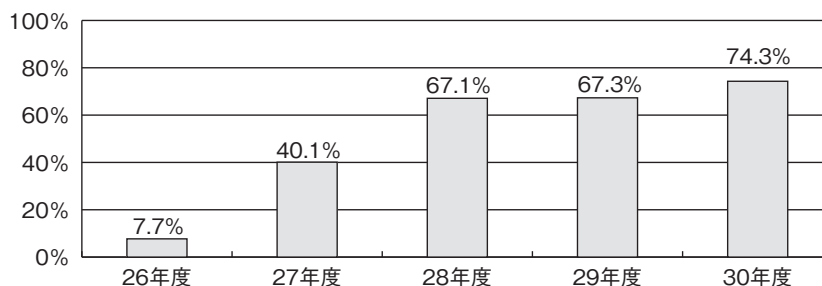
(2) 飯村町・大岩町 47 号線ほか自転車道等設置事業費 2,862,000 円

(市単独事業 2,862,000 円)

自転車道等設置	平成 29 年度	平成 30 年度
	物件調査	交差点修正設計

[指標]

指標名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成25年度～令和2年度)



(3) 植田町・大清水町 103 号線歩道設置事業費 19,317,960 円

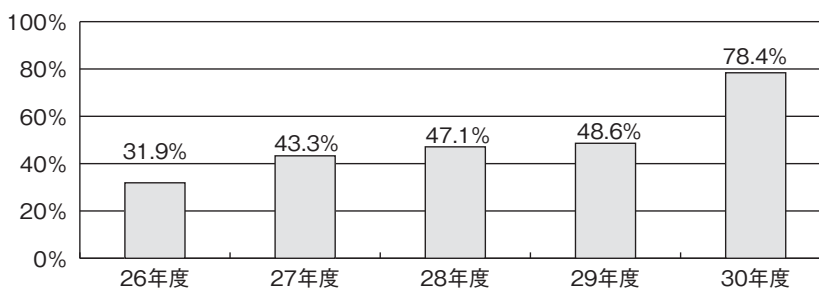
(国庫補助事業 17,360,000 円 市単独事業 1,957,960 円)

歩 道 設 置	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	延 長 — 用 地 24.47㎡ 補 償 工作物等	延 長 90m 用 地 — 補 償 —

[指 標]

指 標 名：植田町・大清水町103号線歩道設置事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～令和2年度）



(4) 自転車通行空間整備事業費 28,770,120 円

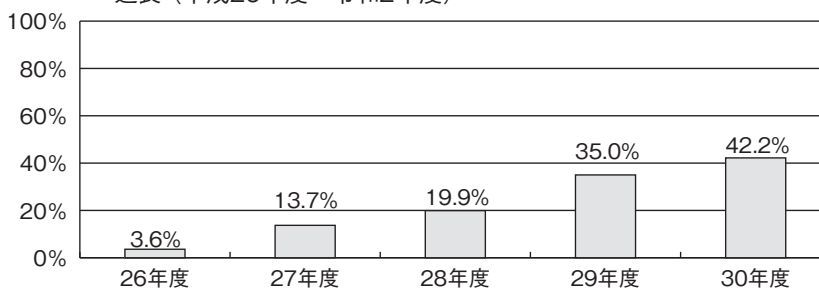
(国庫補助事業 23,865,455 円 市単独事業 4,904,665 円)

内 容	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
路 面 標 示 等 計 画	延 長 2,100m 自転車ネットワーク整備計画改定	延 長 1,000m —

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率

指標説明：整備済路線延長／令和2年度までに整備する自転車ネットワーク優先整備路線延長（平成26年度～令和2年度）



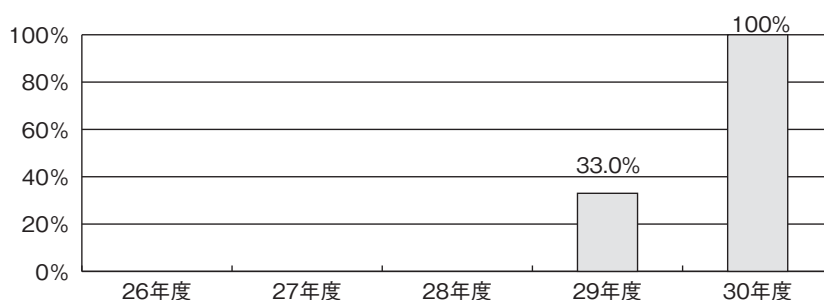
(5) 飯村町・飯村北 85 号線歩道設置事業費 19,595,160 円

(国庫補助事業 15,020,000 円 市単独事業 4,575,160 円)

歩 道 設 置	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	延 長 — 用 地 108.44㎡ 補 償 工作物等	延 長 150m 用 地 46.48㎡ 補 償 工作物等

[指標]

指標名：飯村町・飯村北85号線歩道設置進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～30年度)



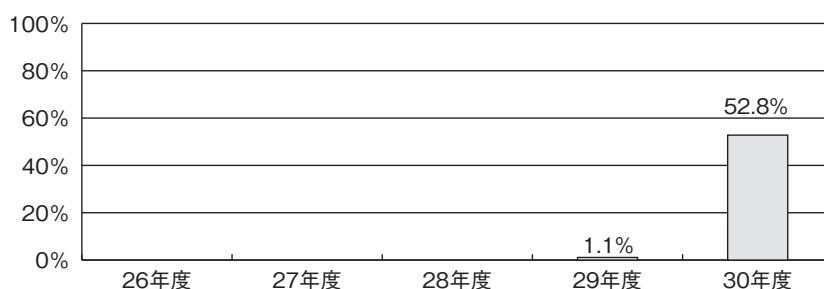
(6) 東七根町 200 号線ほか地下横断通路等整備事業費 306,715,201 円

(国庫補助事業 218,940,000 円 市単独事業 87,775,201 円)

地下横断通路等整備	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	補 償 工作物等	道路改良、地下横断通路整備等

[指標]

指標名：東七根町200号線ほか地下横断通路等整備進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～令和元年度)



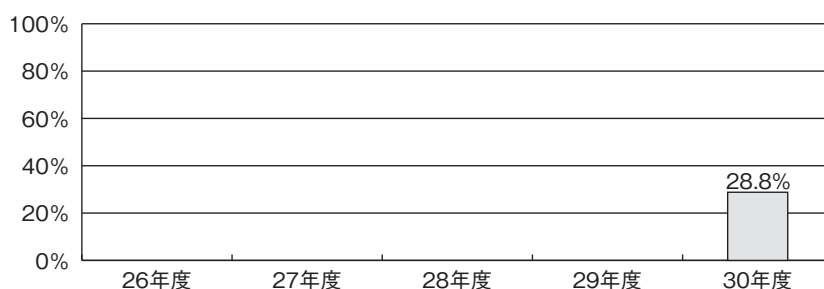
(7) 南栄町・弥生町 3 号線歩道設置事業費 90,236,265 円

(県費補助事業 69,323,000 円 市単独事業 20,913,265 円)

歩 道 設 置	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	物件調査	踏切改良 用 地 42.13㎡ 補 償 建物等

[指 標]

指 標 名：南栄町・弥生町3号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～令和2年度）



2 交通安全施設維持改良事業費 462,936,507 円（道路維持課）

[総 括]

道路状況や地元要望等を検討し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡の設置など安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改良事業費 251,522,280 円

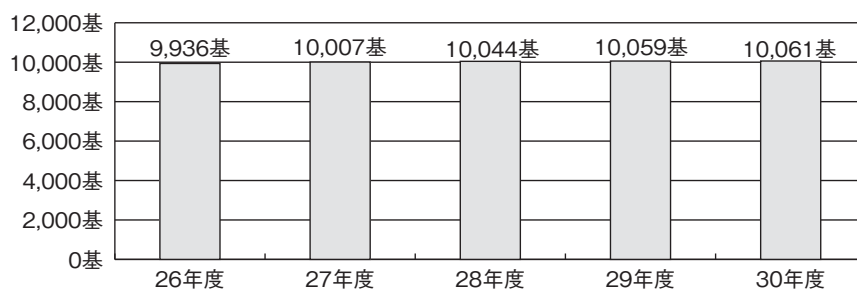
内 容	平成29年度	平成30年度
道路照明灯設置	16～180W 269基	16～180W 242基
交差点等安全カラー標示	10か所	6か所
防護柵設置	延長 1,230m	延長 1,019m
道路反射鏡設置	115基	99基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 68,717m	延長 58,589m
横断歩道橋修繕	塗裝修繕等	—

(2) 交通安全施設維持事業費 211,414,227 円

道路照明灯塗裝修繕	平成29年度	平成30年度
	31基	24基

[指 標]

指 標 名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	1,145,872,467	53,016,563	378,300,000	53,350,420	661,205,484
2目 水辺環境保全費 <親しまれる水辺環境の保全>	288,794,460	0	0	0	288,794,460

1 河川水路等維持管理事業費 288,794,460円 (河川課)

[総括]

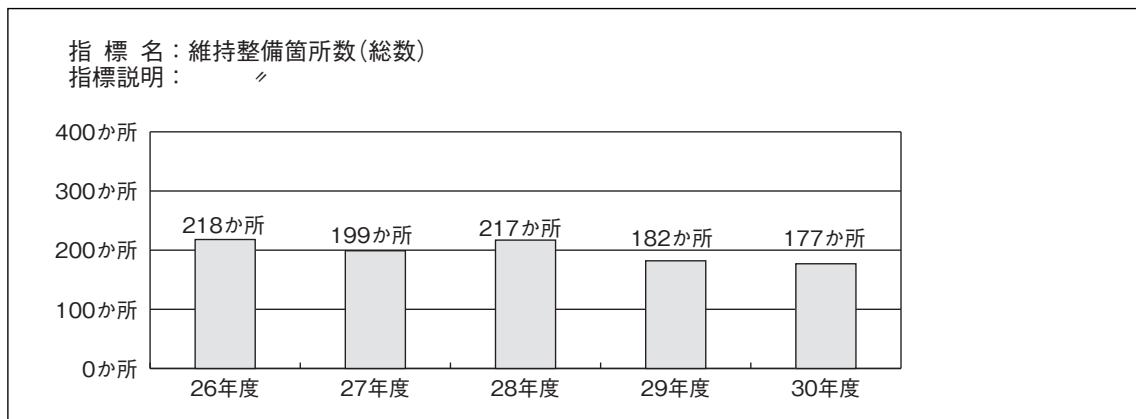
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 288,794,460円

内 容	平成29年度		平成30年度	
補 修	61か所		64か所	
除 草	55	47,650㎡	80	26,070㎡
浚 渫	66	2,190㎡	33	1,780㎡

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水対策費 <浸水対策の推進>	697,007,622	53,016,563	378,300,000	45,919,500	219,771,559

1 河川施設等維持管理事業費 179,474,002 円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。また、日頃から洪水への意識を高めるため、豊川霞堤地区を対象に浸水表示看板を設置した。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 63,240,240 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 75,868,432 円
- (3) 樋門等操作委託事業費 2,610,138 円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 37,755,192 円

2 河川水路等改良事業費 431,626,100 円 (河川課)

[総括]

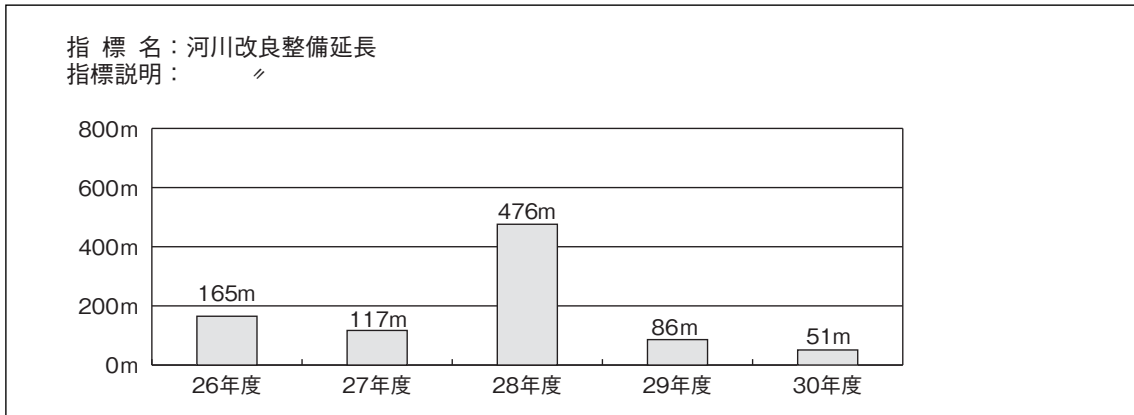
河川・水路等の氾濫による被害から市民の生命・財産を保全するため、流下能力を高める改良工事を行った。今後も氾濫による被害の防止や軽減を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 37,195,826 円

河 川 改 良	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	工 事 延 長 86m	工 事 延 長 51m

[指 標]

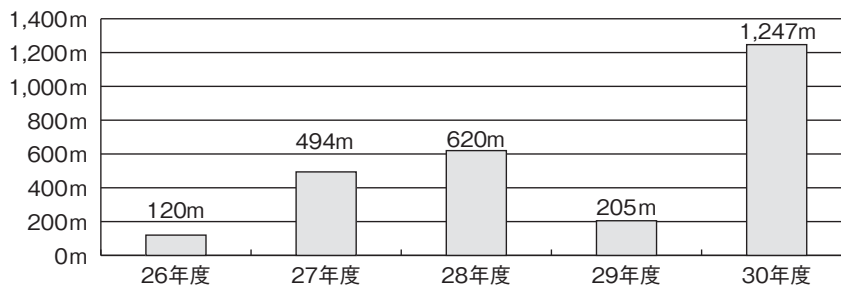


- (2) 水路改良事業費 394,430,274 円

内 容	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
水 路 改 良	工 事 延 長 205m	工 事 延 長 1,247m

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長
 指標説明： //



3 大雨浸水対策事業費 85,907,520 円 (河川課)

[総 括]

都市化の進展に伴う流域環境の変化による浸水被害に対処するため、水路改良を行った。今後も関連部局との連携により浸水被害の解消を図る。

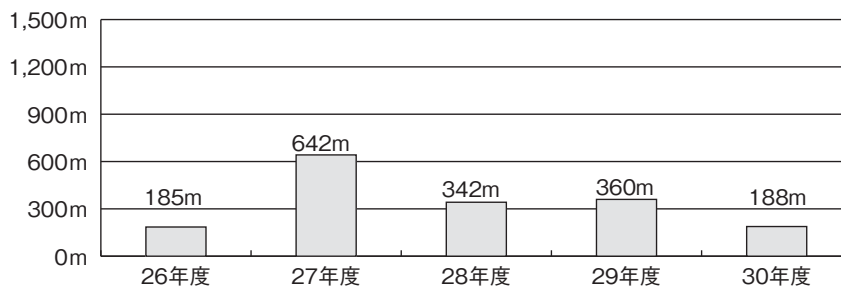
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 85,907,520 円

水 路 改 良	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	工 事 延 長 360m	工 事 延 長 188m

[指 標]

指 標 名：大雨浸水対策整備延長
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 土砂災害対策費 <土砂災害対策の推進>	2,939,346	0	0	0	2,939,346

1 土砂災害対策事業費 2,939,346円 (河川課)

[総括]

土砂災害防止法に基づく土砂災害(特別)警戒区域においてハザードマップを作成し、周辺住民等に配布した。今後も地元住民の要望に基づき、工事の進捗を県に働きかけるとともに、土砂災害に関する情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 938,196円

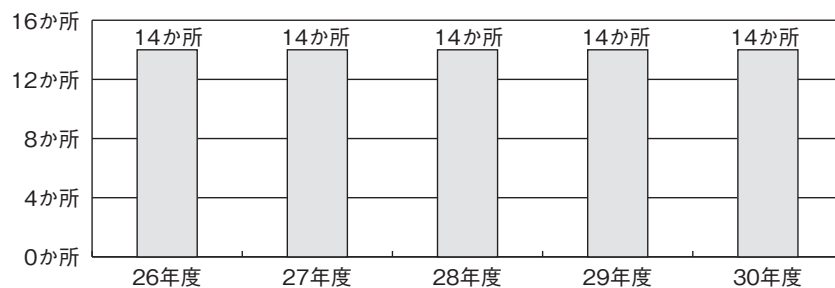
事業主体	区分 地区名	平成29年度		平成30年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	—	—	9,381,960円	938,196円

(2) 土砂災害ハザードマップ作成事業費 2,001,150円

土砂災害 ハザードマップ 作成箇所数	平成29年度	平成30年度
		21か所

[指標]

指標名：急傾斜地崩壊防止施工箇所数(累積)
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,966,026,956	558,938,111	614,300,000	430,513,952	362,274,893
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	887,788	0	0	0	887,788

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 887,788円 (建築指導課)

[総括]

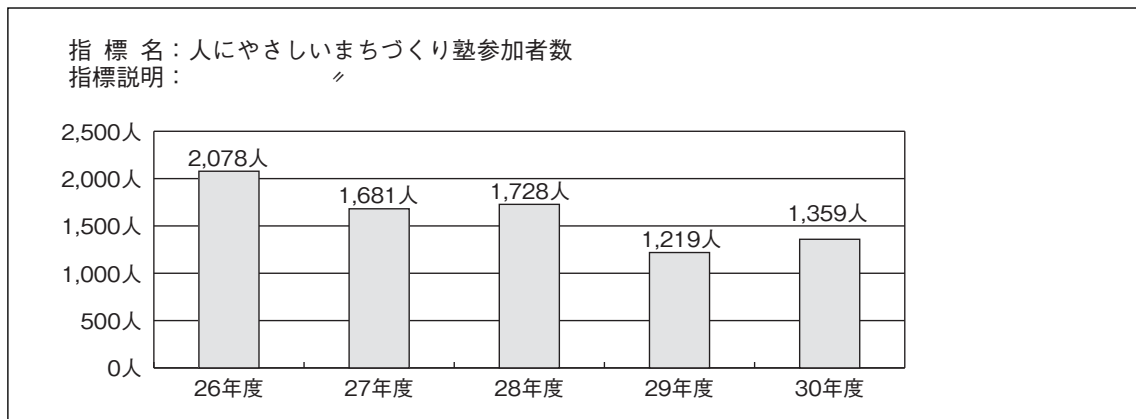
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、高等学校、企業等で開催した。また、全4回で実施していたボランティアを養成する講座を全4回から全3回に再編成することでより受講しやすいものとした。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフリーの必要性の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 887,788円

啓発事業開催回数	平成29年度	平成30年度	比較
		23回	26回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 居住確保費 <住まいの安定確保>	15,621,600	6,417,000	0	0	9,204,600

1 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 15,456,000円 (住宅課)

[総括]

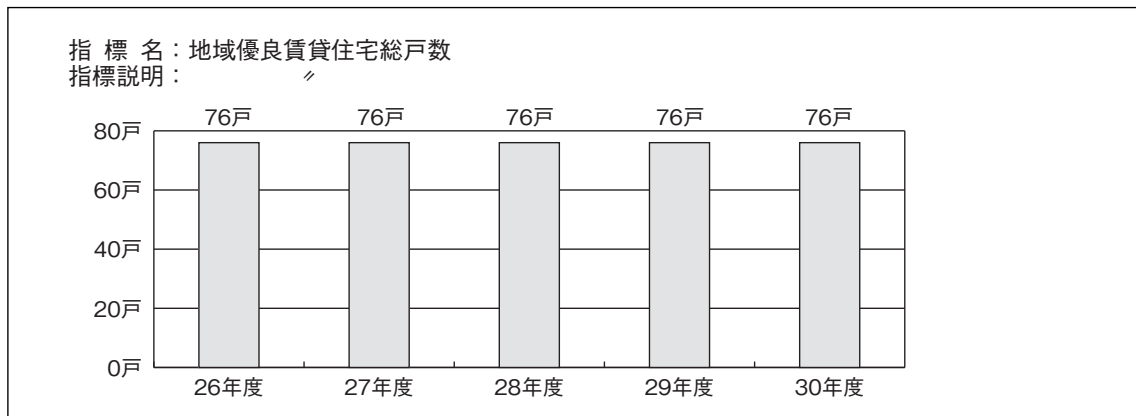
高齢者の居住の安定確保を図るため、地域優良賃貸住宅（高齢者型）を運営する事業者に対して、家賃補助を実施した。今後も高齢者の住まいの安定確保に努める。

[実績及び成果]

(1) 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 15,456,000円

家賃対策補助金	平成29年度	平成30年度
		16,112,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	1,549,982,130	549,149,800	614,300,000	327,577,916	58,954,414

1 住宅維持管理事業費 405,168,307 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅を適切に維持管理するため、計画的な工事、修繕を行った。また、城山住宅を用途廃止するため、平成26年度に開始した入居者の移転がすべて完了した。今後も、入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

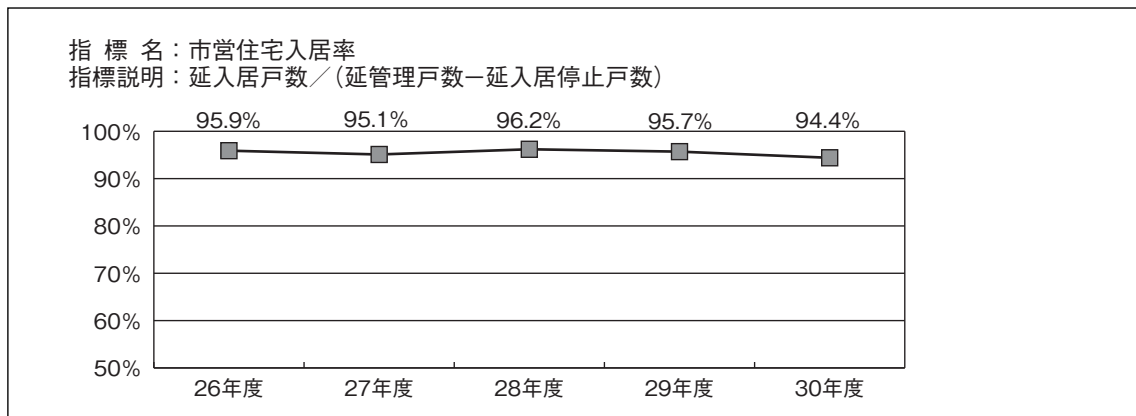
(1) 住宅管理事業費 314,538,694 円

住宅管理戸数 (年度末)	平成29年度	平成30年度
		4,012戸

(2) 住宅維持補修事業費 90,629,613 円

工事内容	平成29年度	平成30年度
屋 上 防 水	栄生、西部	栄生
受 水 槽 改 修	空池、中野、向山	—
外 壁 改 修	空池、中野	中野
取 り 壊 し	城山	城山

[指 標]



2 公営住宅建設事業費 1,132,779,762 円 (住宅課)

[総括]

平成31年2月に西口住宅建替工事(第1期)がしゅん工した。完成した西口住宅1号棟は、受動喫煙防止や火災予防を推進するため、本市の市営住宅で初めて原則敷地内禁煙を実施することとし、住民への周知を図った。併せて、熱中症対策や火災予防を図るため、単身高齢者向け住戸(1DK)において、本市の市営住宅で初めてエアコンを設置した。今後も円滑な建替事業の推進に努める。

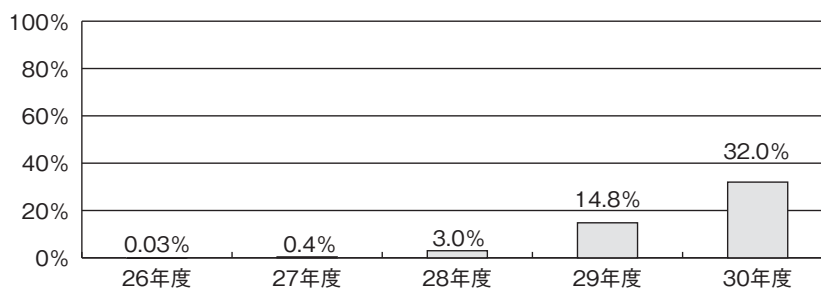
[実績及び成果]

(1) 西口住宅建替事業費 1,132,779,762 円

内 容	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	建設工事（第 1 期）着工 高層耐火構造 9 階建 延床面積 6,714㎡ 建設年度 平成29～30年度 建設戸数 121戸 電波障害対策ほか	建設工事（第 1 期）しゅん工 高層耐火構造 9 階建 延床面積 6,714㎡ 建設年度 平成29～30年度 建設戸数 121戸 植栽工事ほか

[指 標]

指 標 名：西口住宅建替事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和7年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 ＜空家対策の推進＞	7,557,185	3,300,000	0	0	4,257,185

1 空家対策推進事業費 7,557,185 円 (建築物安全推進室・住宅課)

[総括]

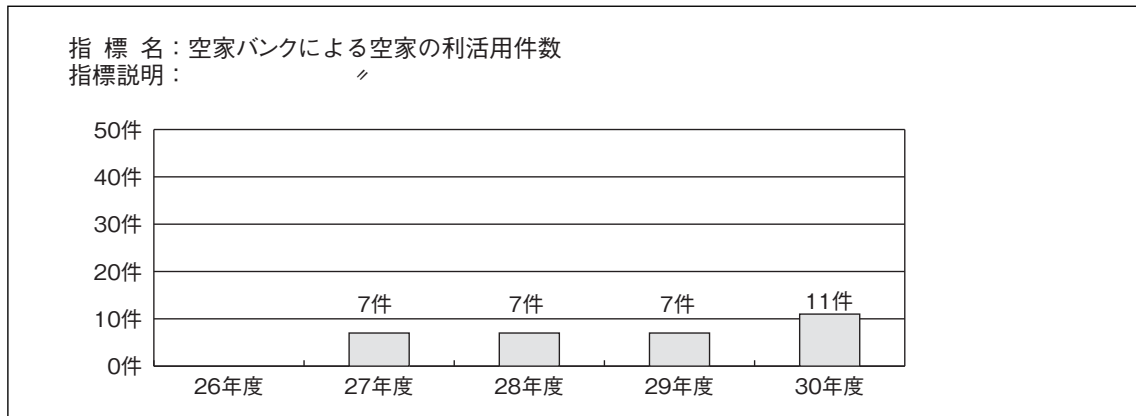
「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、豊橋市空家等対策協議会において特定空家等判断基準の策定を行い、必要な場合に助言・指導、勧告、命令を行うことができる態勢を整えた。今後も財産管理人制度の利用等の様々な手段を用い、市民の生活環境の保全及び地域活力の維持・向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 7,557,185 円

区 分	平成29年度	平成30年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	7件	11件	32件
空家利活用改修費補助金補助件数	2	2	5
空家解体促進費補助金補助件数	20	22	62

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	8,322,224	0	0	0	8,322,224

1 建築指導事務費 8,322,224 円 (建築指導課)

[総括]

建築基準法に基づく申請のうち、「確認申請」は民間確認検査機関への申請が定着したことにより減少傾向が進んだ一方で、「計画通知」は市内小学校のエレベーター更新の増加等により増加した。また、より性能が高いものとして認定される申請のうち、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」は増加した一方で、都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく「認定申請」は減少した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

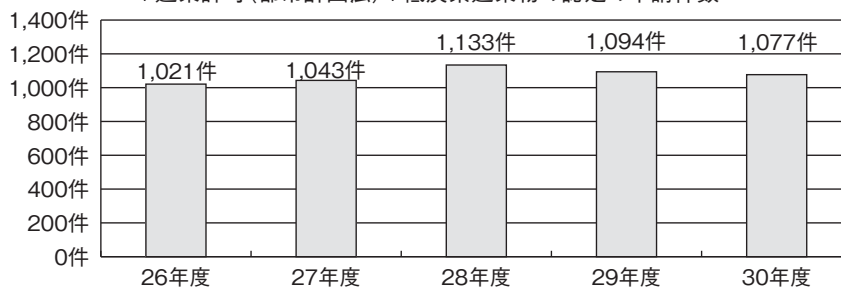
(1) 建築指導事務費 8,322,224 円

種 別	区 分	件 数		比 較
		平成29年度	平成30年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	26件	16件	△38.5%
	計 画 通 知	24	36	50.0
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	26	15	△42.3
	仮使用認定申請	8	6	△25.0
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	739	753	1.9
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	18	18	0.0
	建 築 許 可 申 請	231	229	△ 0.9
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	22	4	△81.8

[指 標]

指 標 名：建築確認申請等件数

指標説明：建築確認+計画通知+建築許可(建築基準法)+仮使用認定+長期優良住宅の認定+開発許可+建築許可(都市計画法)+低炭素建築物の認定の申請件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	102,350,578	140,000	0	845,198	101,365,380
2目 総合物流費 <総合物流機能の強化>	26,109,324	140,000	0	0	25,969,324

1 港湾関連対策事業費 26,109,324 円 (みなと振興課)

[総括]

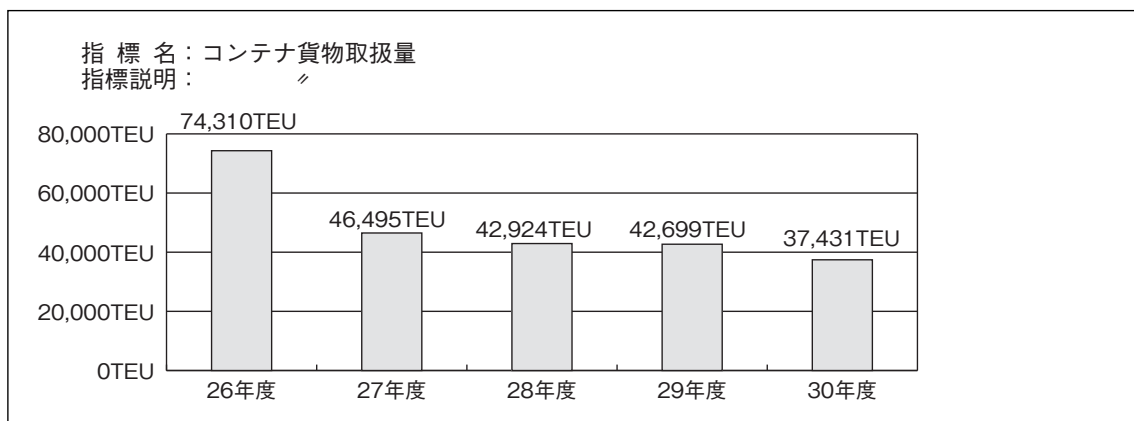
三河港振興会が主体となり、インフラ整備やコンテナターミナルの利用促進活動を行うとともに、国内外のポートセールスなどにより三河港の情報を全国に向け発信した。加えて、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、コンテナ及び完成自動車取扱量の維持・増加を図った。その結果、完成輸入自動車の取扱量は平成5年以来26年連続で日本一を記録した。一方、コンテナ貨物の取扱量については、航路の廃止や再編の影響もあり減少傾向にある。今後は、コンテナ貨物取扱量の増加に向け、助成金制度の拡充、新たな航路の周知やポートセールス活動を強化するとともに、港湾計画改訂に向けコンテナ貨物から完成自動車までを扱う総合的な物流機能を強化するため、国や県に対して積極的な要望活動を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,509,324 円
- (2) 三河港振興会負担金 20,600,000 円

内 容	平成29年度	平成30年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	7,500,000	7,500,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	14,000,000	12,000,000
三河港活性化可能性調査事業負担金	500,000	500,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3日 港 湾 費 <みなとのにぎわいの創出>	22,355,588	0	0	808,368	21,547,220

1 みなとにぎわい創出事業費 390,306円 (みなと振興課)

[総括]

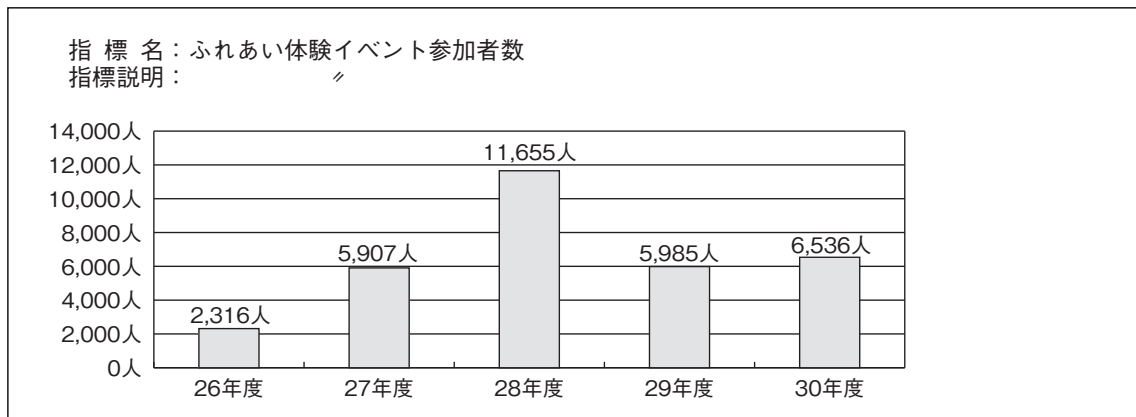
港の重要性や必要性を理解してもらい、港にふれあう機会を提供する場として、カモメリアを拠点として様々なイベントを実施した。平成30年度は、新たな取組みとして「カモメリア春まつり」を、港湾関係者をはじめ各種団体と連携して、港のお仕事体験や工場見学、工作・実験教室等多様なイベントを1日に集約することで集客力を向上させた。また従来からの臨海部工場見学ツアーでは、参加者アンケートで要望の多かった食品工場での見学ツアーを追加した。今後も、集積するインポーターや臨海部企業等との連携により、みなとのにぎわいへとつながる取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 390,306円

内 容	平成29年度	平成30年度
イベント開催数	13回	8回
イベント参加者数	5,985人	6,536人

[指標]



※28年度は、海フェスタ東三河開催に合わせてイベントを実施したため参加者が増加した。

2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 15,965,282円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。平成30年度は、イベントを集約するとともに展示物の整理を行ったほか、遠州や西三河地域の小学校にも見学案内を送付する等見学者増を図ったため、海フェスタを開催した平成28年度を除き開館以来初めて来館者が3万人を超えた。今後も、適切なサービスの提供や展示内容の刷新を図り、利用者に親しまれる施設にしていく。

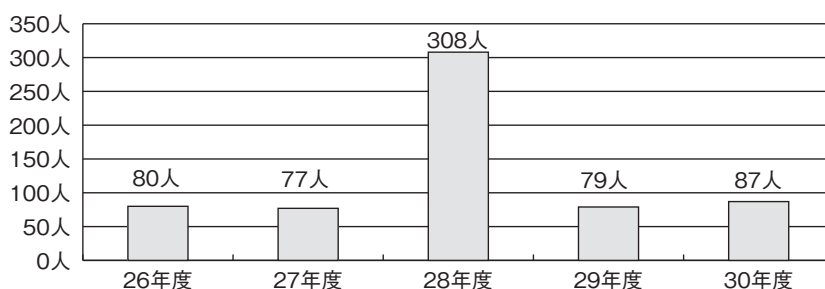
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 15,965,282円

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
開 館 日 数	359日	358日	△ 0.3%
利 用 者 数	延 28,182人	延 31,202人	10.7

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター 1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



※ 28年度は「海フェスタ東三河」開催年度（H28.7.16～H28.7.31）

3 港イベント事業費 6,000,000円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。平成30年度は、28年度に開催された海フェスタ東三河で培った企業や団体、東三河8市町村の協力・連携を引き継ぎ、東三河観光PRや交流ステージを実施したほか、新たに港運業者の協力により港で働くのりを展示する等、多くの団体が出展した。

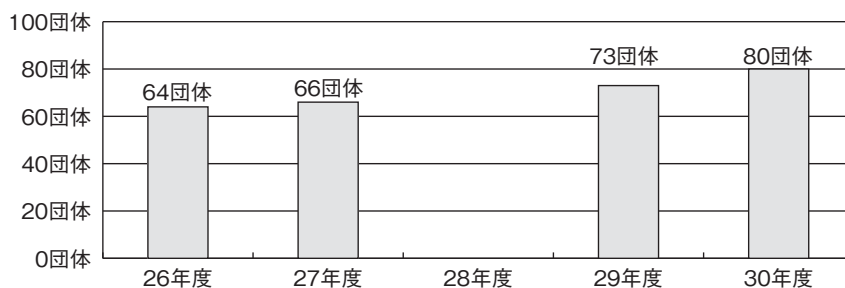
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 6,000,000円

補 助 金	平成29年度	平成30年度
	6,000,000円	6,000,000円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数
 指標説明：／



※ 28年度は、海フェスタ東三河開催のためみなとフェスティバルの開催無し

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	4,558,971,798	1,089,173,560	756,100,000	208,712,014	2,504,986,224
2目 公園緑地費 <公園・緑地の充実>	682,723,676	19,100,000	18,900,000	6,549,049	638,174,627

1 公園施設維持管理事業費 508,861,271 円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内 535 箇所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 420,155,160 円

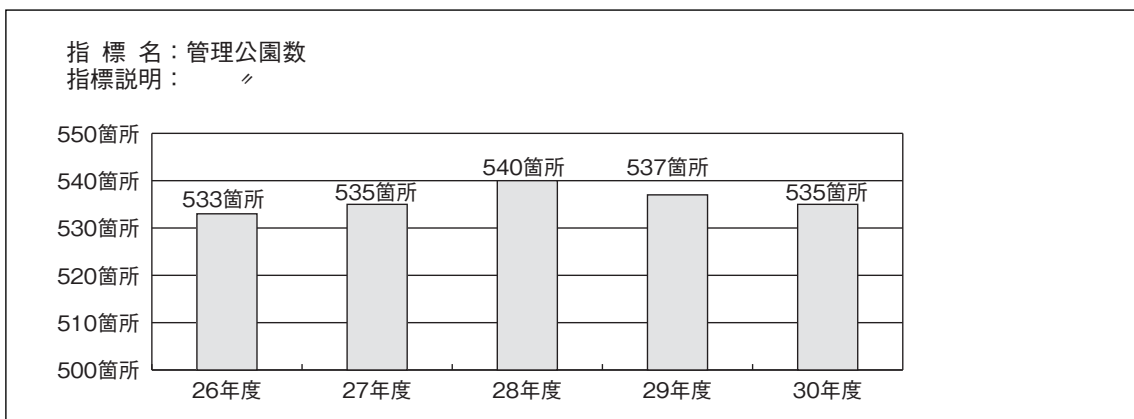
除草清掃・施設管理委託等	平成 29 年度	平成 30 年度
		高師緑地始め537箇所

(2) 公園修繕事業費 88,706,111 円

(国庫補助事業 24,432,840 円 市単独事業 64,273,271 円)

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度
照 明 灯 修 繕	花田公園ほか	黒福公園ほか
遊 具 補 修	柱七番町公園ほか	竜ヶ池公園ほか
諸施設及び塗装修繕等	岩屋緑地ほか	豊橋総合スポーツ公園ほか
外 柵 修 繕	中沢公園ほか	坪ノ谷公園ほか
照 明 灯 更 新	豊橋公園ほか	岩田運動公園ほか
遊 具 更 新	万場緑地ほか	大塚公園ほか

[指 標]



2 公園緑地整備事業費 45,282,987 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、東里公園の整備を推進した。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

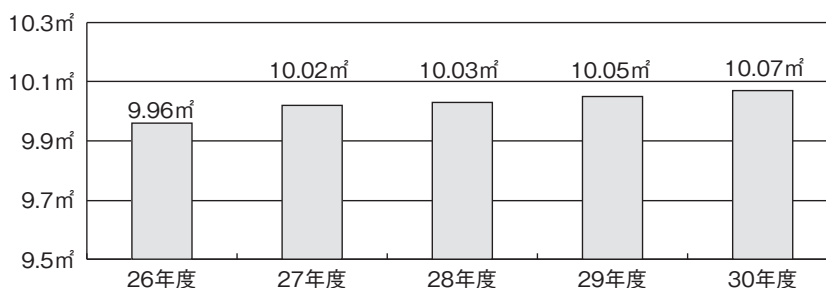
[実績及び成果]

- (1) 街区公園等整備事業費 45,282,987 円
 (国庫補助事業 32,389,200 円 市単独事業 12,893,787 円)

公園名	平成29年度	平成30年度
	坂津公園ほか 遊具広場整備等	東里公園ほか 遊具広場整備等

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積
 指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動費 <緑化・美化活動の推進>	382,912,083	37,190,000	0	300,000	345,422,083

1 緑化維持管理事業費 328,781,844 円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も市民の安全に配慮した維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 200,956,192 円

路 線 名	平成29年度	平成30年度
		菰口町・旭町1号線始め277路線

(2) 公園樹等維持管理事業費 117,112,484 円

公 園 名	平成29年度	平成30年度
		牛川遊歩公園始め396公園

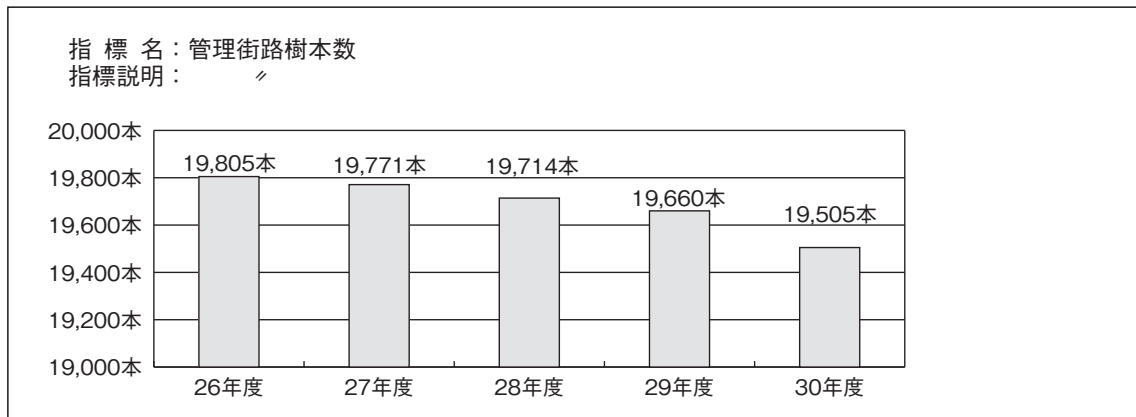
(3) 街路樹等維持補修事業費 4,926,960 円

路 線 名	平成29年度	平成30年度
		羽田町・牟呂町1号線ほか

(4) 軌道緑化維持管理事業費 5,786,208 円

内 容	平成29年度	平成30年度
		維持管理面積 658㎡

[指標]



2 緑化推進事業費 36,702,020 円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア、桜の植栽イベント等を開催するとともに、市民に愛着のある緑化を推進するため、市民の意見を反映した街路樹の植え替えを行った。今後も緑豊かな景観の創出、都市活動に伴う環境負荷の低減を図るため緑化を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 34,482,400 円

(県費補助事業 34,482,400 円)

内 容	平成 29 年度		平成 30 年度	
	往完町・八通町 3 号線		東森岡・石巻町 1 号線	
高木植栽	トキワマンサク	105本	高木植栽	ヤマボウシ 93本
低木植栽	ハイビヤクシン	5,391本	低木植栽	ヒラドツツジ 150本

(2) 公園樹等緑化推進事業費 2,219,620 円

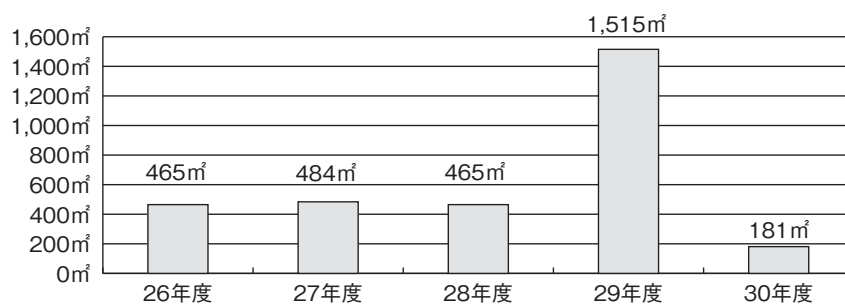
(県費補助事業 2,217,400 円 市単独事業費 2,220 円)

内 容	平成 29 年度		平成 30 年度	
		0本		岩屋緑地
			高木植栽	サクラ 24本

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積

指標説明： /



3 公園等維持管理事業費 16,265,208 円（公園緑地課）

[総括]

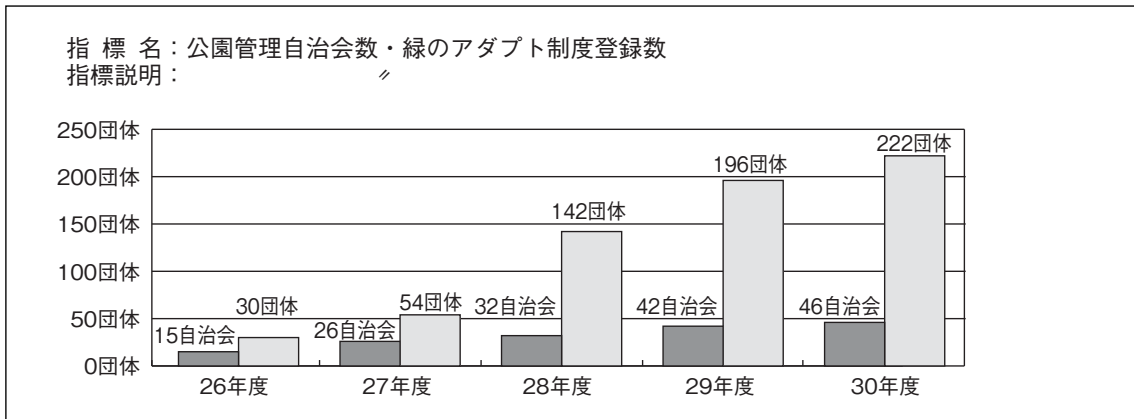
市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行うとともに、ペDESTリアンデッキで花壇を整備した。今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

[実績及び成果]

- (1) 公園等美化活動事業費 16,265,208 円
 (県費補助事業 973,284 円 市単独事業 15,291,924 円)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
公園管理自治会数	42自治会	46自治会
緑のアダプト制度登録数	196団体	222団体
ペDESTリアンデッキ 花壇整備事業参加者数	106名	104名

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ公園整備費 <公園・緑地の充実>	167,863,606	78,542,560	81,200,000	2,073,929	6,047,117

1 総合スポーツ公園整備事業費 167,863,606円 (公園緑地課)

[総括]

幅広い世代の市民がスポーツやレクリエーションに親しめる公園として整備するため、C地区サッカー場の整備を進めた。今後は、令和元年度のC地区サッカー場完成をめざして整備を進める。また、暫定供用中のB地区整備方針の検討を進めるなど、スポーツ施設及び災害時の広域防災活動拠点としての機能の更なる充実を図る。

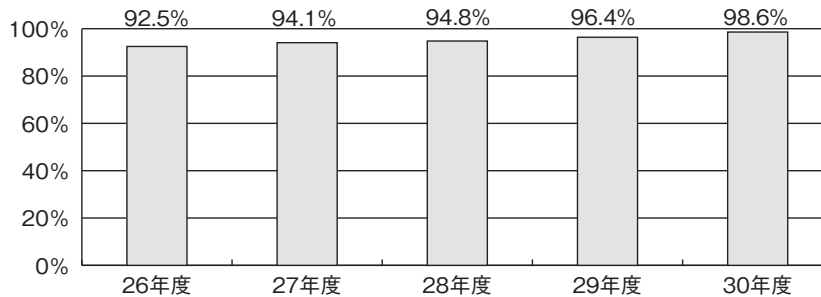
[実績及び成果]

- (1) 総合スポーツ公園整備事業費 167,863,606円
(国庫補助事業 166,902,680円 市単独事業 960,926円)

内 容	平成29年度	平成30年度
	用地 3,377.82㎡ サッカー場実施設計	

[指標]

指標名：総合スポーツ公園整備事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成10年度～令和2年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 都市計画推進費 <コンパクトなまちづくりの推進>	26,448,214	41,000	0	0	26,407,214

1 都市計画推進事業費 26,448,214 円 (都市計画課)

[総括]

コンパクトで暮らしやすいまちを実現するため、都市に必要な機能や居住の誘導を目的とした「豊橋市立地適正化計画」を策定・公表するとともに、本市独自に設定した「歩いて暮らせるまち区域」への居住誘導策等の検討を行った。また、地域拠点に位置付けている南栄駅周辺地区の都市計画道路の整備手法等について、調査検討を行った。

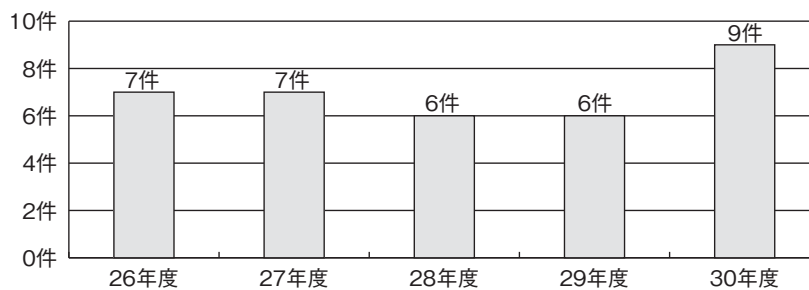
[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 26,402,214 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	豊橋市立地適正化計画作成業務 南栄駅周辺まちづくり検討調査業務	豊橋市立地適正化計画の策定・推進 都市計画道路概略検討調査業務

[指標]

指標名：都市計画審議会において議決・報告された都市計画決定・変更等の件数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中心市街地再開発費 <魅力ある中心市街地の整備>	1,739,743,587	954,300,000	656,000,000	2,045,266	127,398,321

1 再開発推進事業費 385,325 円 (まちなか活性課)

[総括]

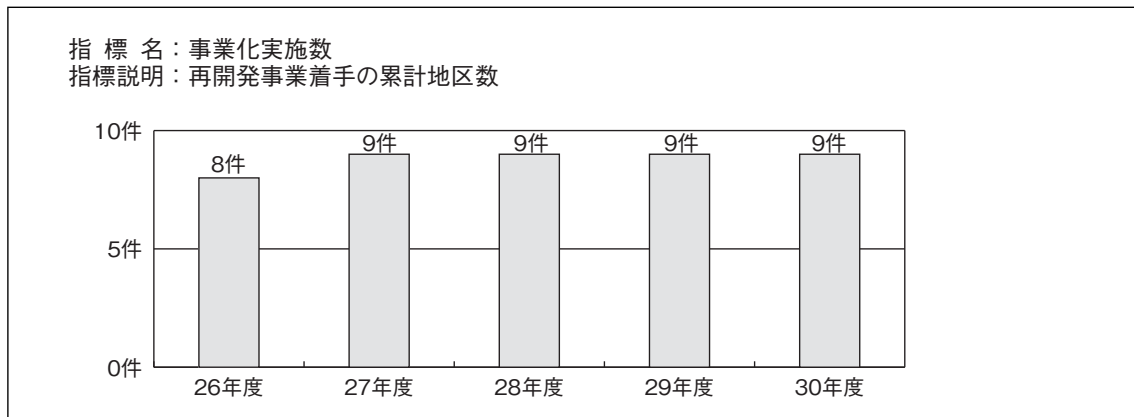
駅前大通二丁目地区及び豊橋駅西口駅前地区において、円滑な事業進捗を図るため、関係者と調整を行った。今後もこれら事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 385,325 円

事業費	平成29年度	平成30年度
		429,790円

[指標]



2 市街地再開発等事業費 521,164,400 円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業における東街区の建築物除却及び建設工事に対し、助成等を行った。

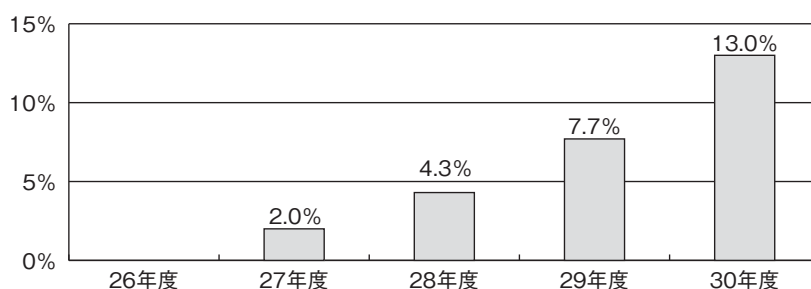
[実績及び成果]

(1) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費 521,164,400 円

	平成29年度	平成30年度
補助金	328,800,000円	509,000,000円
負担金	1,300,000	12,164,400

[指標]

指標名：駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業進捗率
 指標説明：累計額／総額(補助額ベース)



3 まちなか図書館（仮称）整備事業費 1,074,419,847 円(まちなか図書館整備推進室)

[総括]

まちなか図書館（仮称）が入居する再開発ビルの保留床購入契約を締結した。また、地域連携等促進事業の実施により、図書館と連携する地域人材との関係構築を図るとともに、情報紙の発行により、まちなか図書館（仮称）に対する市民理解の促進を図った。

[実績及び成果]

(1) まちなか図書館（仮称）整備事業費 1,074,419,847 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	内装工事基本設計等、 地域連携等促進事業の実施	保留床購入契約締結、 地域連携等促進事業の実施

4 中心市街地環境整備事業費 133,335,569 円（まちなか活性課）

[総括]

豊橋駅西口駅前地区において、再開発の事業化及び駅前広場の整備に向けて関係者の調整を行った。また、中心市街地に「歩く楽しみ」という新たな魅力を加えるストリートデザイン事業において、萱町通りの一部区間の工事に着手した。また、広小路通り（一丁目）では沿線住民、商店主等とワークショップを行い、整備についての方針等を示した基本計画を策定した。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 91,510 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	豊橋駅西口駅前地区活性化導入機能 可能性調査	事業化に向けた、関係者への調整

(2) ストリートデザイン事業費 133,244,059 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	実施設計(萱町通り・水上ビル通り)	工事(萱町通り L=約150m) 基本計画策定(広小路通り(一丁目))

5 中心市街地活性化推進事務費 1,175,651 円（まちなか活性課）

[総括]

中心市街地活性化のため、「第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画」の進捗状況を確認する通行量調査を実施した。計画のフォローアップを行い、今後も中心市街地の活性化に向けた取組みを着実に推進していく。

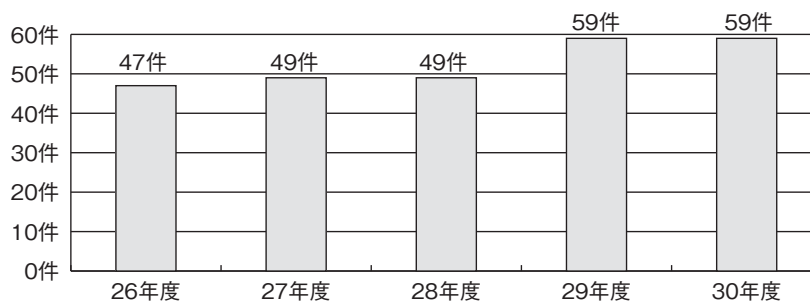
[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,175,651 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	中心市街地通行量調査	中心市街地通行量調査

[指標]

指標名：基本計画の取組事業数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 まちづくり景観形成費 <調和のとれた景観の形成>	12,240,145	0	0	871,348	11,368,797

1 まちづくり景観推進事業費 12,240,145円 (都市計画課)

[総括]

豊橋らしい美しいまちをつくるため、平成29年度に実施した基礎調査の結果を踏まえ、「豊橋市景観計画」の案を作成した。また、景観形成地区において基準に適合する良好な建築行為に対する助成等を行った。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 9,181,797円

区 分	平成29年度	平成30年度
計 画 策 定	豊橋市景観計画策定基礎調査業務	豊橋市景観計画策定調査業務

(2) まちづくり景観形成助成金 2,187,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 2,187,000円

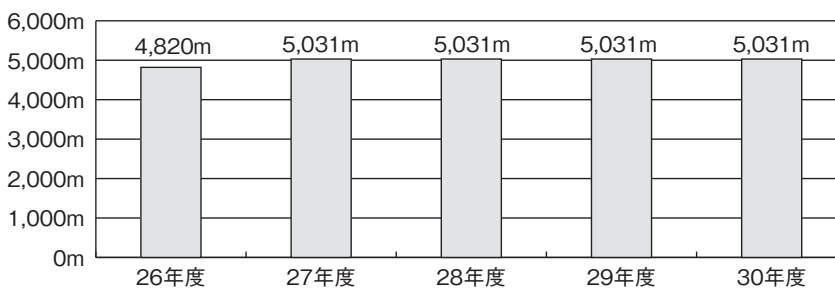
助 成 金	平成29年度	平成30年度
	5件 3,037,000円	5件 2,187,000円

(3) 屋外広告物対策事業費 871,348円

区 分	平成29年度	平成30年度
許 可 件 数	648件	653件
違反屋外広告物撤去件数	119	168

[指 標]

指 標 名：景観形成地区内道路延長
 指標説明： /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 公共交通活性化費 <公共交通の利便性向上>	15,468,403	0	0	3,344,577	12,123,826

1 公共交通活性化事業費 11,932,365 円 (都市交通課)

[総括]

平成 29 年 3 月に制定した「豊橋市の公共交通をとともに支え育む条例」に基づき、「豊橋市都市交通計画 2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、路線バスの利用促進事業など、幹線的な公共交通の強化を図った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 都市交通計画推進事業費 11,932,365 円

(ア) 路線バス利用促進事業費 5,643,792 円

[幹線バス終バス延長実施事業]

幹線バスの終バスを 延長した路線数	平成 29 年度	平成 30 年度
		3 路線

[高齢者路線バス利用促進事業]

元気バスの助成者数	平成 29 年度	平成 30 年度
		1,066 人

(イ) ユニバーサルデザインタクシー購入補助金 1,650,000 円

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度
		6 台

(ウ) とよはし版クールチョイス普及啓発事業費 3,189,440 円

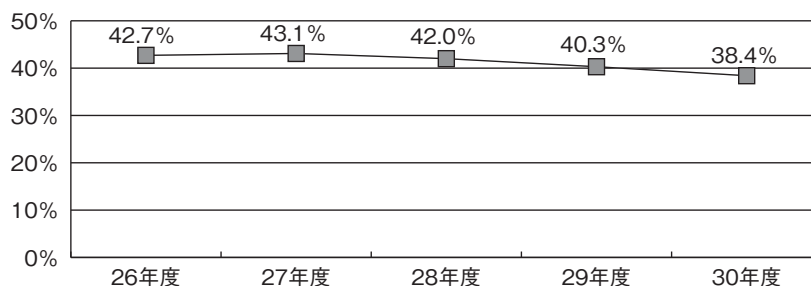
内 容	平成 29 年度	平成 30 年度
		—

(エ) モビリティマネジメント推進費等 1,449,133 円

[指 標]

指 標 名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 公共交通対策費 <公共交通の維持と利用促進>	128,057,921	0	0	7,630,810	120,427,111

1 公共交通対策事業費 128,057,921 円 (都市交通課)

[総括]

利用しやすく持続可能な公共交通とするため、交通施設の改修に必要な支援を行った。また、公共交通空白地域においては、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となり、「地域生活」バス・タクシーの実証運行を川北地区で実施するとともに、東部地区等の4地区において本格運行事業を実施した。今後も地域住民とともに、「地域生活」バス・タクシー運行事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 128,057,921 円

(ア) 渥美線橋梁耐震化対策事業補助金 3,256,957 円

実 施 箇 所	平成29年度	平成30年度
		—

(イ) 路面電車軌道敷整備補助金 21,758,956 円

実 施 箇 所	平成29年度	平成30年度
		赤岩口西交差点 単路部 (競輪場前～井原間)

(ウ) バス運行対策費補助金 66,528,000 円

補 助 路 線 数	平成29年度	平成30年度
		10路線

(エ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業費 7,572,600 円

実 証 運 行 地 区	平成29年度	平成30年度
		川北地区

(オ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 27,286,743 円

本 格 運 行 地 区	平成29年度	平成30年度
		東部地区、北部地区 南部地区、前芝地区

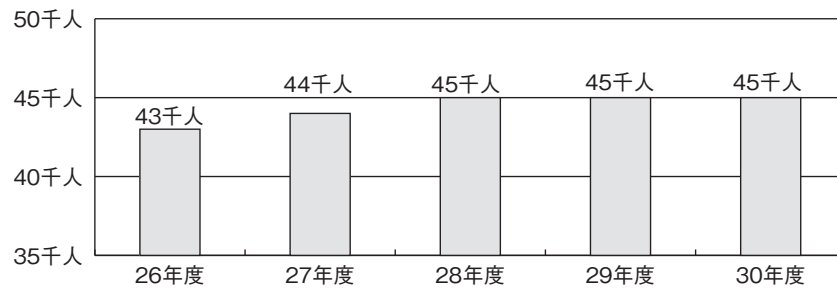
(カ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 659,848 円

運 営 団 体 数	平成29年度	平成30年度
		7団体

[指 標]

指 標 名：公共交通の1日当たりの利用者数

指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 自転車活用推進費 <自転車活用の推進>	828,546	0	0	0	828,546

1 自転車活用推進事業費 828,546円 (都市交通課)

[総括]

自転車利用者の誘客による地域振興や観光振興を図るため、自転車利用者がサイクリング中に気軽に立ち寄り、休憩や自転車の簡易なメンテナンスを行うことができる「サイクルピット」を設置した。今後も平成26年3月に策定した「豊橋市自転車活用推進計画」に基づき、市民、企業、学校、各種関係団体、国、県などとの連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 828,546円

(ア) サイクルピット整備事業 622,160円

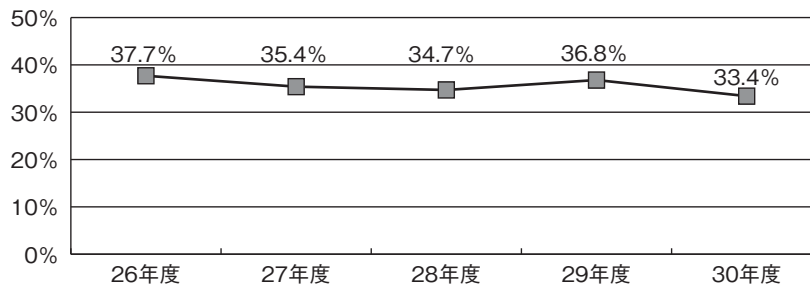
実 施 箇 所	平成29年度	平成30年度
		—

(イ) 自転車活用推進費 206,386円

内 容	平成29年度	平成30年度
	自転車活用推進委員会等の開催 豊橋市自転車活用推進計画の中間見直し	

[指 標]

指 標 名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価
 指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区画整理費	1,834,043,724	438,701,317	678,300,000	93,376,438	623,665,969
2目 市街地整備費 <コンパクトなまちづくりの推進>	1,656,116,950	438,701,317	678,300,000	93,339,438	445,776,195

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 783,252,945 円 (区画整理課)

[総括]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の早期完了に向けて、建物等移転補償、道路築造、宅地造成等を計画的に進め、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 783,252,945 円
(国庫補助事業 457,681,995 円 市単独事業 325,570,950 円)

(ア) 道路築造費 90,080,424 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	延長 683m	延長 654m

(イ) 宅地造成費 15,541,200 円

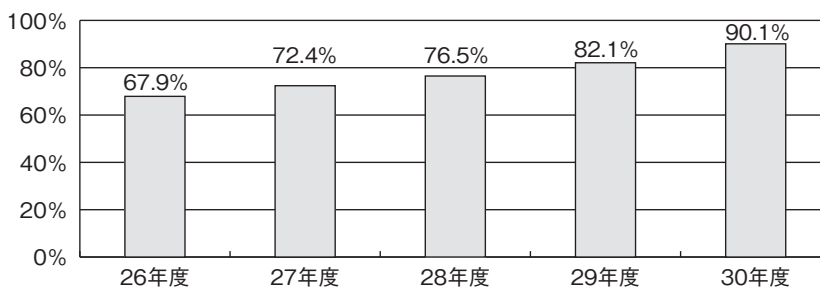
内 容	平成29年度	平成30年度
	面積 7,067㎡	面積 3,406㎡

(ウ) 補償費 574,968,823 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	建物 13戸 工作物、電柱 水道管移設 587m	建物 16戸 工作物、電柱 水道管移設 635m

[指標]

指標名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～令和5年度)



2 組合土地区画整理推進事業費 869,864,005 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、助成した。また、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 146,897,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 135,597,000 円

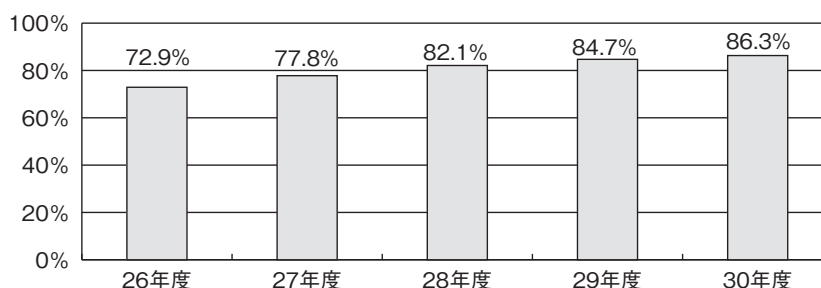
補助金	平成29年度	平成30年度
	332,973,000円	135,597,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 11,300,000 円

負担金	平成29年度	平成30年度
	13,500,000円	11,300,000円

[指標]

指標名：牛川西部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費／全体事業費(平成7年度～令和5年度)



(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 722,967,005 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 698,767,005 円

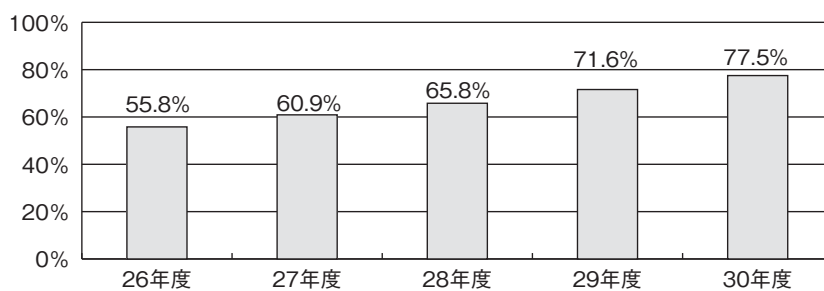
補助金	平成29年度	平成30年度
	665,910,000円	698,767,005円

(イ) 土地区画整理事業負担金 24,200,000 円

負担金	平成29年度	平成30年度
	32,085,000円	24,200,000円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
指 標 説 明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～令和3年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	4,130,840,324	96,522,492	505,400,000	158,570,774	3,370,347,058
1 項 消 防 費	4,130,840,324	96,522,492	505,400,000	158,570,774	3,370,347,058
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	1,269,719,754	72,953,614	485,100,000	146,608,324	565,057,816

1 消防署所施設管理事業費 243,453,867 円 ((消) 総務課)

[総括]

築年数 40 年を経過した中消防署東分署の大規模改修工事を実施し、建物や設備の機能回復のほか、仮眠室の個室化など女性職員にも考慮した職場環境の向上にも努め、災害活動拠点施設の機能強化を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防署所施設管理事業費 243,453,867 円

(ア) 東分署庁舎改修工事 188,001,000 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造 2 階建	外部・内部改修、火見塔の解体	756.34㎡

2 通信指令事業費 254,254,652 円 (通信指令課)

[総括]

平成 29 年度より更新された消防通信指令システムの効率的な運用のため、通信指令員の機器操作の習熟、緊急通報への対応能力の向上を図ることで被害の軽減に努めた。

[実績及び成果]

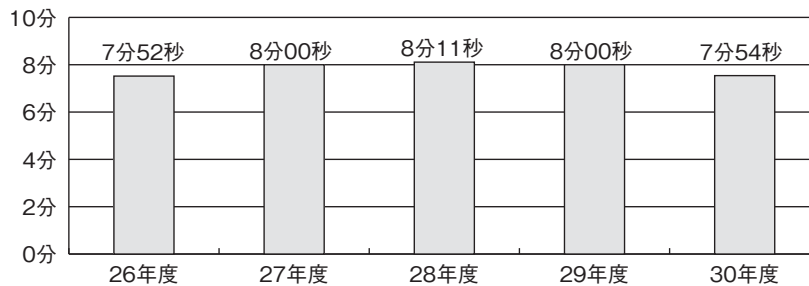
(1) 通信指令事業費 254,254,652 円

[受信内訳]

内 容	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	20,310件	20,673件	1.8%
固 定 電 話	7,330	6,732	△ 8.2
携 帯 電 話	9,065	9,918	9.4
I P 電 話	3,915	4,023	2.8

[指 標]

指 標 名：119番(火災・救急・救助等)受信から現場到着時間
指 標 説 明：



3 消防署所車両等設備管理事業費 267,195,954 円（消防救急課）

[総括]

複雑多様化する各種災害に対応するため、車両及び活動用資機材の点検整備、修繕により維持管理を徹底するとともに、車両の計画的更新整備により消防体制の充実強化を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防署所車両等設備管理事業費 267,195,954 円

[緊急車両更新]

内 容	平成29年度		平成30年度	
	救助工作車	1台	54m級はしご付消防自動車	1台

4 警防活動費 7,470,948 円（消防救急課）

[総括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。特に、若年層消防隊員の知識・技術の向上を図るため、階層別の消防士育成研修など計画的に教育訓練を実施し、消防活動体制の強化に努めた。また、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、今後も東三河各消防本部、警察等の関係機関と連携した各種災害想定訓練を実施していく。

[実績及び成果]

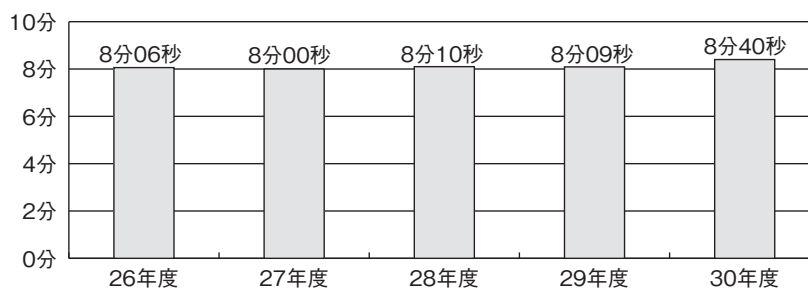
(1) 警防活動費 7,470,948 円

[火災発生状況]

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
出 火 件 数	132件	109件	△17.4%
り 災 棟 数	68棟	63棟	△ 7.4
り 災 世 帯	44世帯	35世帯	△20.5
り 災 人 員	109人	88人	△19.3
焼 損 面 積 (建物)	1,379㎡	1,503㎡	9.0
損 害 額	192,581千円	110,742千円	△42.5

[指 標]

指 標 名：火災出動から放水開始までの時間
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



5 消防団活動事業費

146,101,668 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防団員の安全確保のための装備品と活動用資機材の充実を図るとともに、消防署との合同訓練や災害時活動マニュアル研修会ならびに機能別団員研修を実施し、災害対応能力の向上に努めた。平成 30 年度は、本市においても 3 度に渡り大型台風に見舞われ、多くの消防団員が水災害に対応した活動を行ったほか、消防団員の確保を目的に消防団 P R 事業として、各種イベントでの啓発活動や「シャッターアートプロジェクト」を実施し、消防団活動への理解の促進を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 137,496,068 円

[災害・公務出動人数]

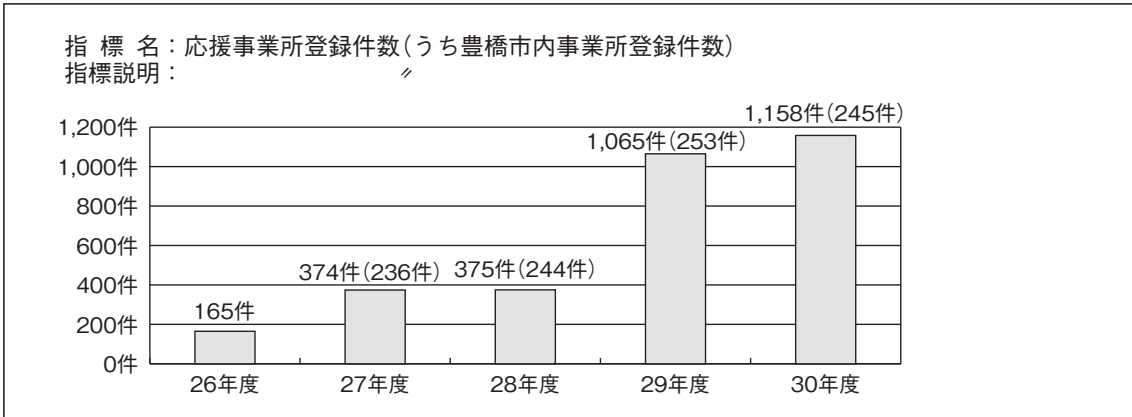
区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	比 較
災 害 出 動	4,071人	4,744人	16.5%
公 務 出 動	10,574	10,793	2.1

(2) 消防団交付金 8,605,600 円

[交付金内訳]

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,812,200	6,817,600
消防はしご登り保存会交付金	300,000	300,000
計	8,600,200	8,605,600

[指 標]



※ 25 年度～ 26 年度「ええじゃないか消防団・消防団応援事業所」の登録件数

※ 27 年度～ 28 年度「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数

※ 29 年度～ 「あいち消防団応援の店」の登録件数

6 前芝出張所施設整備事業費 225,210,000 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防防災活動拠点の強化を図るため、中消防署前芝出張所の移転・建替えに向け、敷地造成工事を完了し、庁舎建設工事に着手した。

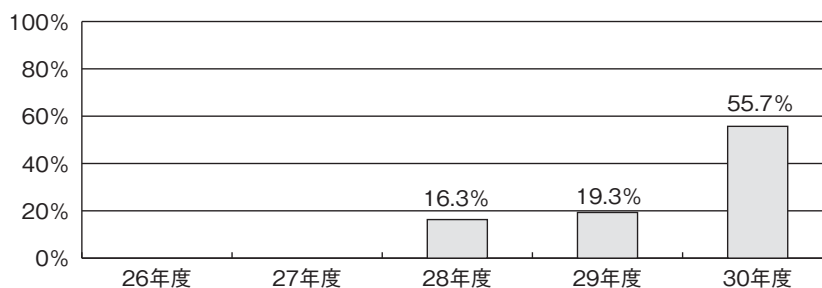
[実績及び成果]

- (1) 前芝出張所施設整備事業費 225,210,000 円
 - (ア) 敷地造成工事 83,327,400 円
 - (イ) 改築工事 140,226,000 円
- 2 年継続事業の初年度 総事業費 381,600,000 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建 太陽光発電システム設置	車庫、事務室、仮眠室、訓練室、 救急消毒室等	794㎡

[指 標]

指 標 名：前芝出張所施設整備事業進捗率
 指標説明：累積実施事業費／総事業費(平成28年度～令和元年度)



※平成 30 年度の総事業費にて、28 年度から再算定

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	74,213,011	22,954,000	20,300,000	90,000	30,869,011

1 救急事業費 71,938,723 円 (消防救急課)

[総括]

救命率の向上を図るため、救急救命士の養成や処置範囲の拡大への対応、また、医療機関との連携強化など救急救命体制の充実に努めるとともに、救急車を必要とするけがなどを未然に防ぐ予防救急の推進や、市民・事業所と協働した救命講習を実施するなど応急手当の普及啓発に努めた。今後も救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し救急救命体制の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 70,400,773 円

研修派遣内訳		平成29年度	平成30年度
救 急 救 命 士	救急救命士養成	2人	2人
	包括運用教育講習	3	3
	気管挿管運用試験	2	2
	薬剤投与運用試験	4	3
	処置範囲拡大追加講習	3	4
救急隊員資格取得		20	10

(2) 応急手当普及啓発事業費 1,356,626 円

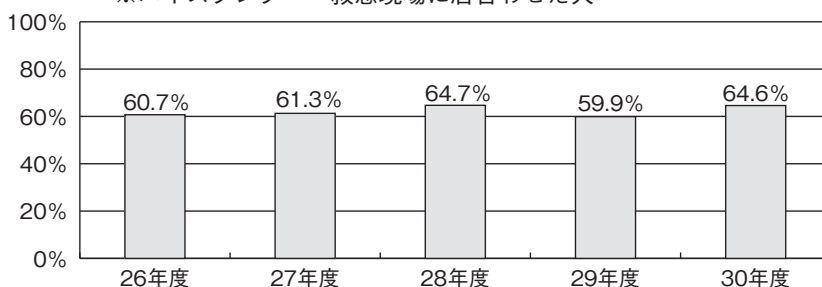
救命講習内訳	平成29年度	平成30年度	比較
応急手当指導員	40人	51人	27.5%
応急手当普及員	62	65	4.8
普通救命	3,771	3,556	△ 5.7
上級救命	57	93	63.2
その他講習	6,438	1,473	△77.1
救命入門コース	1,503	7,814	5.2倍
計	11,871	13,052	9.9%

(3) 救急活動費 181,324 円

救急発生状況内訳	平成29年度	平成30年度	比較
急病	9,899件	10,426件	5.3%
一般負傷	1,877	1,882	0.3
交通事故	1,309	1,278	△ 2.4
労働災害	138	154	11.6
運動競技	124	113	△ 8.9
加害	56	46	△17.9
その他	1,930	1,932	0.1
計	15,333	15,831	3.2

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)
 指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費 2,274,288 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。特に新規救助隊員に対し、各署所との連携訓練を計画的に実施し、救助活動体制の強化を図った。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図る。

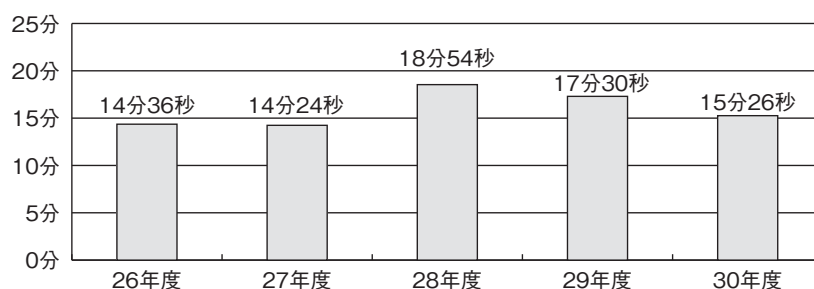
[実績及び成果]

(1) 救助事業費 2,274,288 円

救助発生状況内訳		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	比 較
火 災	建 物	41件	40件	△ 2.4%
	建 物 以 外	10	5	△50.0
火 災 以 外 の 事 故	交 通	67	35	△47.8
	水 難	3	9	3倍
	自 然 災 害	1	0	皆減
	機 械 に よ る	4	0	皆減
	建 物 等 に よ る	32	37	15.6%
	ガ ス 及 び 酸 欠	3	1	△66.7
	破 裂	0	0	—
	そ の 他	38	45	18.4
計		199	172	△13.6

[指 標]

指 標 名：現場到着から救助完了までの時間
 指標説明：救助隊の現場到着から救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の強化>	15,325,774	0	0	1,064,000	14,261,774

1 火災予防対策事業費 15,325,774 円 (予防課)

[総括]

火災を未然に防ぐため、また火災による被害を最小限に抑えるため、各種研修会や防火教室、事業所への火災予防対策を実施するとともに、豊橋まつり等のイベントを通じて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も、引き続き火災予防対策を推進し、防火対象物の違反是正に向けた査察体制の強化及び街頭消火器の未整備地域への設置を促進する。また、小規模特定飲食店等への消火器設置と点検を適正に指導する。

[実績及び成果]

(1) 火災予防啓発事業費 8,730,974 円

啓 発 区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	6回	8回	33.3%
講 習 会	10	11	10.0
老人クラブ防火教室等	16	13	△18.8
女性防火クラブ研修等	11	14	27.3
少年消防クラブ防火教室等	26	24	△ 7.7

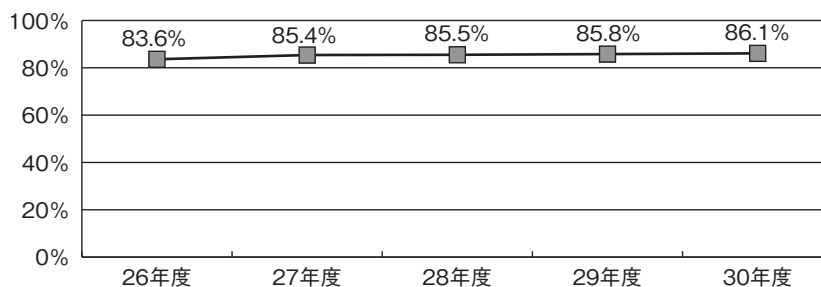
(2) 街頭消火器設置費等補助金 6,594,800 円

補 助 内 訳	平成29年度	平成30年度	比 較
消 火 器 更 新	853件	738件	△13.5%
収 納 箱 更 新	352	435	23.6
薬 剤 更 新	5	4	△20.0
消 火 器 新 規 設 置	50	50	0.0
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	7	10	42.9
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	21	23	9.5

[指 標]

指 標 名：住宅用火災警報器設置率

指標説明： /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	13,171,212,379	956,857,450	3,086,900,000	1,695,720,281	7,431,734,648
1項 教 育 総 務 費	2,261,407,797	24,931,630	0	73,203,896	2,163,272,271
3目 教育活動推進費 <「この子の輝く学び」の創造>	774,511,210	16,220,592	0	2,461,763	755,828,855

1 教育相談事業費 170,517,575 円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導に加え、初期支援校「みらい」を新設することで、来日間もない生徒の適応支援や初期日本語集中指導を実施するなど、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や「ほっとプラザ中央」を開設するなど、適応指導教室の運営を通して、不登校傾向にある児童生徒の早期発見、対応及び学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 78,359,332 円

区 分	平成29年度	平成30年度
外国人児童生徒教育相談コーディネーター	相談件数 1,487件	相談件数 1,839件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 5人 学校巡回 11	学校常駐 7人 学校巡回 12
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	延 4,061時間	延 3,498時間
登録バイリンガルボランティア	延 2,213.5	延 2,122.0

(2) 教育相談活動事業費 42,369,561 円

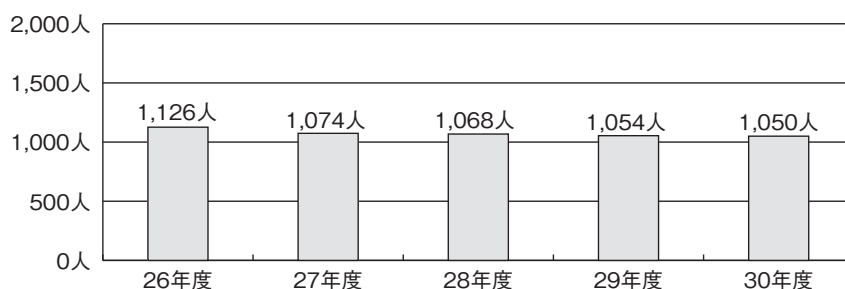
区 分	平成29年度	平成30年度
スクールソーシャルワーカー	相談件数 720件	相談件数 2,061件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 4,158	〃 4,430
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 968	〃 836
心 理 判 定 員	〃 74	〃 270
メンタルフレンド	派遣回数 98回	派遣回数 86回

(3) 不登校対策支援事業費 49,788,682 円

区 分	平成29年度	平成30年度
適応指導教室活動事業費	2か所 183日 延 1,990人	3か所 182日 延 2,571人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 12	非常勤講師 13
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 8月 2回	担当者学習会 8月 2回
	補助金 107,889円	補助金 112,472円

[指 標]

指 標 名：教育相談員 1 人当たりの児童生徒数
 指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



2 生徒指導対策事業費 3,945,660 円 (学校教育課)

[総 括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

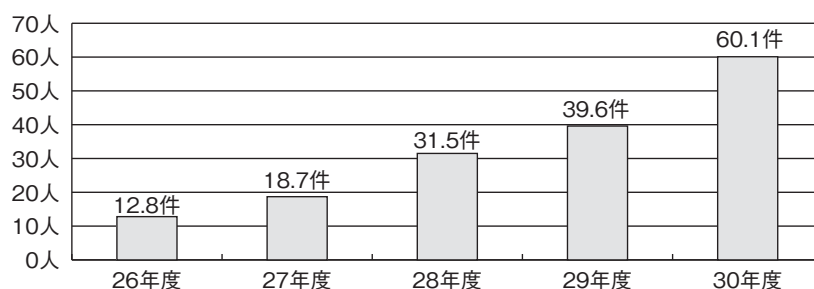
[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費 3,927,660 円

区 分	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
生 徒 指 導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進 路 指 導	進路のてびきの発行	進路のてびきの発行

[指 標]

指 標 名：1 校当たりのいじめ、暴力行為の発生件数
 指標説明：いじめ、暴力行為の発生件数 / 小中学校数 (74 校)



3 教育諸活動支援事業費

137,778,950 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、多彩で優れた芸術の鑑賞・体験の機会を提供した。また、児童生徒が郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土に誇りを持つことができるよう編集・発行した「郷土学習のすすめ」「郷土の偉人」「郷土の遺構」を有効活用するために外部人材を活用した検討会を実施した。今後も児童生徒がいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費

8,197,897 円

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日 29.10.21	開催日 30.10.20
	補助金 4,385,394円	補助金 4,539,452円
小学生のコンサート補助金	開催日 29.7.30	開催日 30.7.29
	補助金 2,418,802円	補助金 2,192,765円
子どものための科学展開催費補助金	開催日 29.10.21	開催日 30.10.20
	来場者数 2,928人	来場者数 6,802人
	補助金 891,859円	補助金 975,503円
小柴記念賞補助金	応募点数 3,280点	応募点数 4,571点
	補助金 405,817円	補助金 490,177円

(2) 教育活動支援事業費

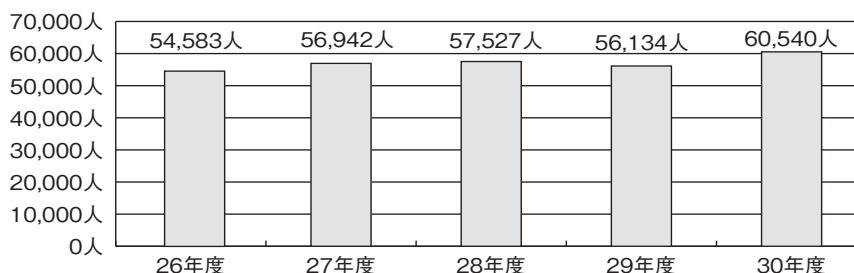
129,581,053 円

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員 63人	支援員 63人
体育的部活動支援事業費	26,145,626円	21,305,201円
学校体育連盟補助金	1団体 22,824,956	1団体 20,567,008
中学校東海・全国大会出場補助金	16校(122人) 3,320,670	15校(82人) 738,193
文化的部活動支援事業費	27 5,426,113	24 5,569,639
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 85人 400,000	クラブ員 88人 400,000
郷土学習推進事業費	郷土学習研修会による企画・運営 72,000	郷土学習研修会による企画・運営 7,175
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒7,705人 3,529,900	参加児童生徒9,023人 5,551,740
中学校部活動指導者派遣事業費	部活動指導者 4 819,800	部活動指導者 4 789,440

[指標]

指標名：教育諸活動支援事業参加者数

指標説明：子ども造形パラダイス出品児童生徒数+小学生のコンサート参加児童数+中学校合唱フェスティバル参加生徒数+子どものための科学展来場者数+小柴記念賞応募点数+市内体育大会参加児童生徒数+中学校東海・全国大会出場者数+文化的部活動の大会参加児童生徒数+豊橋少年少女発明クラブ員数+文化芸術体験推進事業参加児童生徒数



4 授業・学習支援事業費 30,009,456 円（学校教育課）

[総括]

児童生徒への効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、27名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も児童生徒の豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 6,893,373 円

学校貸出冊数	平成29年度	平成30年度
	14,935冊	12,800冊

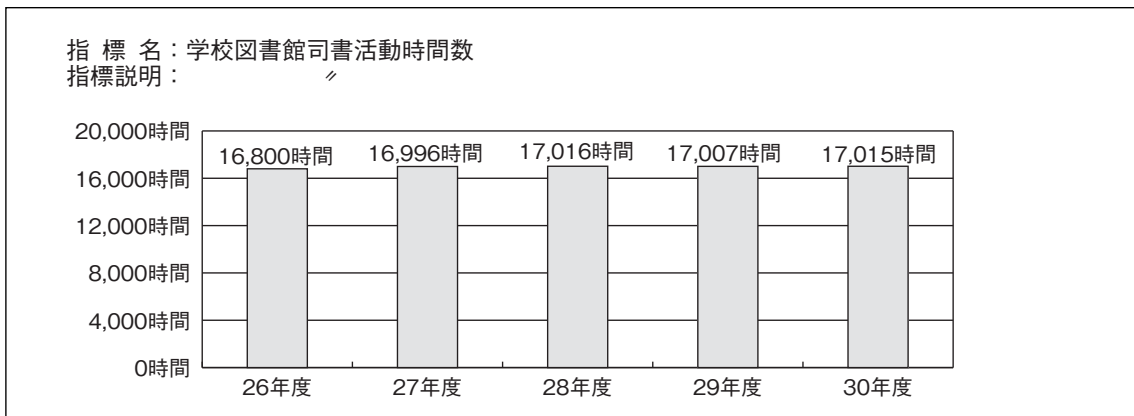
(2) 学校図書館活動推進事業費 22,890,820 円

司書配置	平成29年度	平成30年度
	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)

(3) 小・中学校読書活動推進事業費 225,263 円

図書購入	平成29年度	平成30年度
	63冊	67冊

[指標]



5 学力・体力向上推進事業費 22,017,762 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活かしたより質の高い授業を提供した。また、スポーツトレーナーを中学校に派遣し、体育の授業や部活動において、ケガをしにくい体づくりや効果的な体力づくりに向けたアドバイスを行った。

[実績及び成果]

(1) 学力向上支援事業費 21,654,046 円

教科担任の 非常勤講師人数	平成29年度	平成30年度
	5人	6人

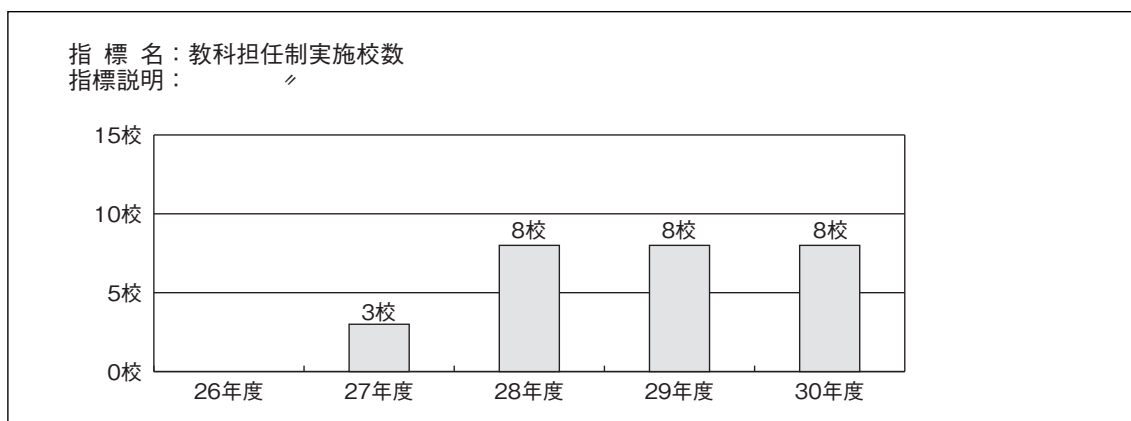
(2) 小中一貫教育推進事業費 19,656 円

小中一貫教育	平成29年度	平成30年度
実施校数	6校	8校

(3) 体力向上支援事業費 344,060 円

	平成29年度	平成30年度
内 容	全小学校での「スポーツ鬼ごっこ」への取り組み 小規模校における体育の合同授業の実施 「三遠ネオフェニックス」と連携した出張授業、トレーナークリニックの実施 体育指導DVD、低学年向けダンスDVDの作成	スポーツトレーナーを中学校(4校)に派遣 小規模校における体育の合同授業の実施 「三遠ネオフェニックス」と連携した出張授業の実施

[指標]



6 国際理解教育推進事業費 131,028,903 円 (学校教育課)

[総括]

「英会話」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント(SA)や外国人英語指導員(ALT)を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生はSAと年間20時間、5・6年生はALTと年間30時間の協働学習を行った。中学校では学級ごとに、ALTと年間35時間協働学習を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。さらに、授業を英語で行う「英語で学ぶ」事業の教科・学年を拡大し、子どもたちが生きた英語に触れる機会を拡充した。また、夏休みを利用した英語活動として、トリードスーパーイングリッシュキャンプを実施し、子どもたちの海外への興味を喚起する機会とした。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 131,028,903 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	平成29年度	平成30年度
	74校 26人	74校 26人

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	平成29年度		平成30年度	
		52校	延 4,602時間	52校

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	平成29年度		平成30年度	
		12日間	480人	12日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	平成29年度		平成30年度	
		10日間	80人	8日間

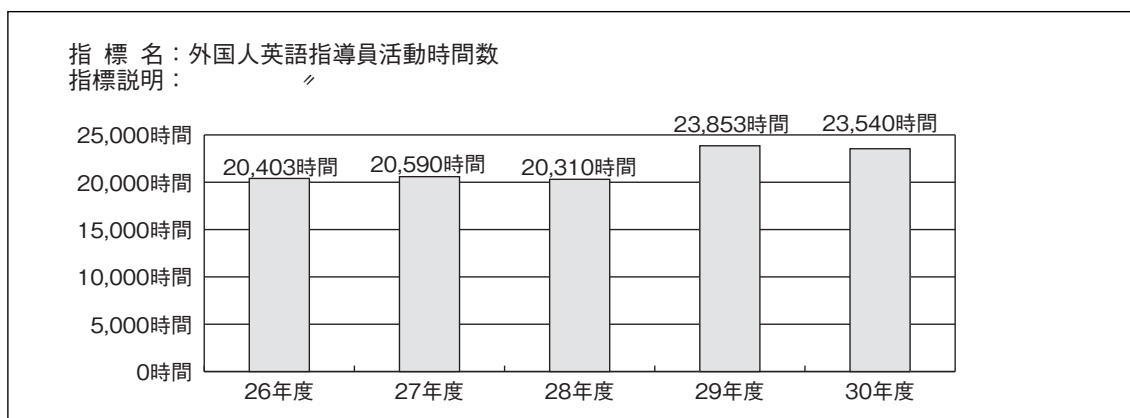
(オ) 土曜英会話チャレンジ費

内 容	平成29年度		平成30年度	
		5日間	60人	5日間

(カ) トリード スーパーイングリッシュキャンプ費

内 容	平成29年度		平成30年度	
		5日間	25人	5日間

[指 標]



7 情報教育推進事業費

228,406,318 円 (学校教育課)

[総 括]

情報・通信の技術を積極的に活用していくことが求められるなか、情報教育を通じて子どもたちにコンピュータの技能を身につけさせたり、情報モラルやセキュリティに関する意識を高めさせることができた。また、子どもたちの論理的思考を育むためのプログラミング教育の導入に向けて、嵩山小学校及び章南中学校で実践研究を行い、教材の効果的な活用方法や指導方法を検証することができた。さらに、市内全中学校に、学習用コンピュータとしてタブレット端末を配備し、学習環境の充実を図った。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) コンピュータ活用事業費 227,406,322 円

(ア) 小学校コンピュータ活用事業費 127,167,960 円

区 分	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
学習用コンピュータ費	1,980台	94,292,892円	1,980台	94,292,892円
コンピュータネットワークシステム費		22,687,944		22,687,944
学校図書館管理用コンピュータ費	52	10,187,124	52	10,187,124

(イ) 中学校コンピュータ活用事業費 100,238,362 円

区 分	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度	
学習用コンピュータ・タブレット費	908台	70,035,180円	933台	87,171,682円
コンピュータネットワークシステム費		8,756,748		8,756,748
学校図書館管理用コンピュータ費	22	4,309,932	22	4,309,932

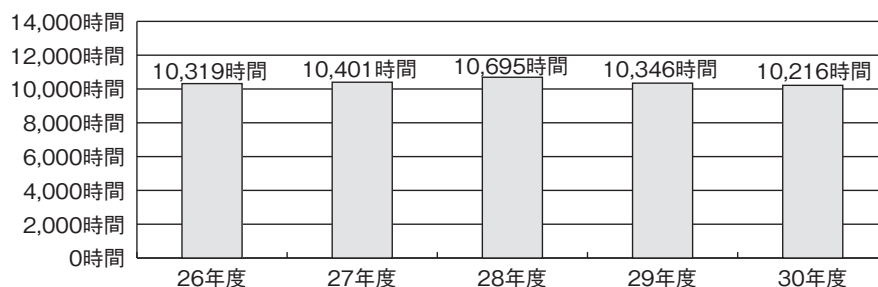
(2) プログラミング教育推進事業費 999,996 円

研 究 の 観 点 項 目	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
	教員の指導方法 発達段階に即した授業づくり 教科指導における教材の効果的な活用方法	プログラミング教育の指導方法 複数教科・領域における指導のあり方 効果的な教材を活用した研究事例

[指 標]

指 標 名：小・中学校学習用コンピュータ利用時間数

指標説明：
〃



8 体育施設等有効活用事業費

827,519 円（教育政策課）

〔総括〕

児童数の減少及び施設の老朽化における学校プールのあり方を検討する中で、民間プール施設を活用した水泳授業をモデル校において実施し、インストラクターと教職員が協力して指導にあたることにより、水泳授業の質の向上を図った。今後は、モデル校を拡大し、民間プール施設等の活用による水泳授業の実施可能性について検証を行っていく。

〔実績及び成果〕

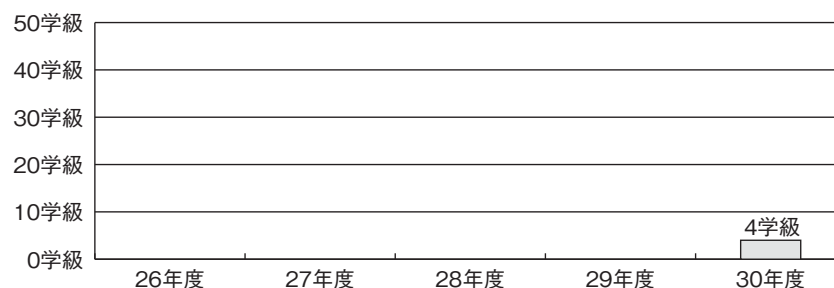
(1) 民間プール活用モデル事業費 827,519 円

実施学校数（学級数）	平成29年度	平成30年度
	—	1校（4学級）

〔指標〕

指標名：民間プール施設活用学級数

指標説明：民間プール施設でプール授業を実施する学級数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教職員研修費 <教職員の力量向上>	99,342,599	123,400	0	873,000	98,346,199

1 現職研修事業費 6,249,838 円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活かすとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

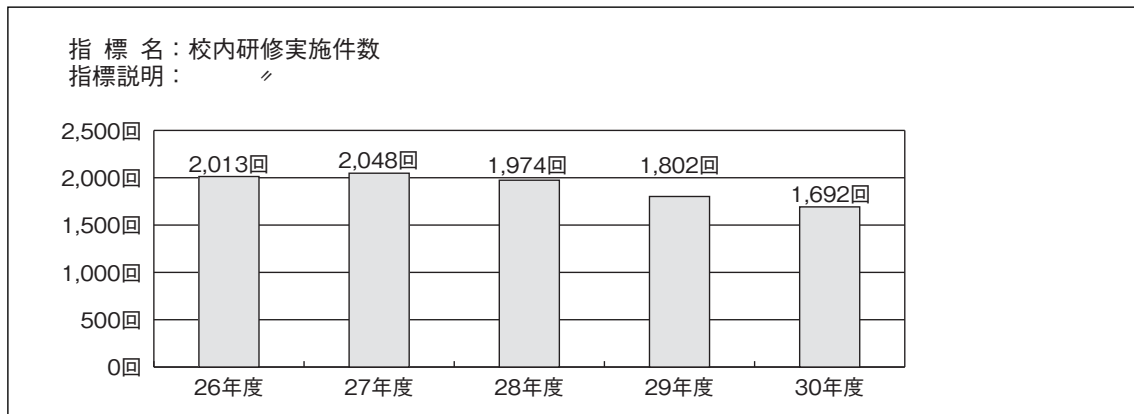
(1) 指定校研究費補助金 1,199,508 円

区 分	平成29年度	平成30年度
指 定 校	10校	9校
補 助 金	1,398,184円	1,199,508円

(2) 現職研修委員会補助金 4,926,930 円

区 分	平成29年度	平成30年度
校 内 研 修	1,947人	1,954人
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	37研究部	37研究部
基 本 研 修	298人	298人
特 別 研 修	海外派遣 1	海外派遣 1
補 助 金	5,227,874円	4,926,930円

[指 標]



2 教育会館管理運営事業費 93,092,761 円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新講習を引き続き実施し、教育の実情に即した講習内容とすることにより教員の資質の向上を図るとともに、受講者の事務手続等の負担軽減を行った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 13,407,718 円

[利用状況]

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 21,829人	延 18,219人	△16.5
一 般 施 設 利 用 者 数	延 11,921	延 11,380	△ 4.5
計	延 33,750	延 29,599	△12.3

[各種活動]

区 分	平成29年度	平成30年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	156時間 参加人員 872人	147時間 参加人員 897人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 343本	映像教材貸出 293本

(2) 教職員研修事業費 5,179,471 円

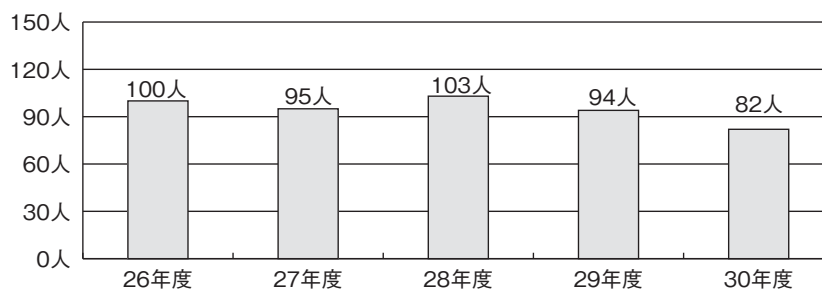
区 分	平成29年度	平成30年度
基 本 研 修	100回 参加人員 2,839人	106回 参加人員 2,778人
職 務 研 修	64 〃 2,154	66 〃 2,213
課 題 ・ 専 門 研 修	90 〃 3,791	87 〃 3,946
社 会 体 験 研 修 等	57か所 〃 57	67か所 〃 67

(3) 教員免許状更新講習事業費 476,145 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	45講座 受講人員 168人	45講座 受講人員 291人

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくりの推進>	8,988,582	0	0	0	8,988,582

1 学校づくり推進事業費 8,820,172 円 (学校教育課)

[総括]

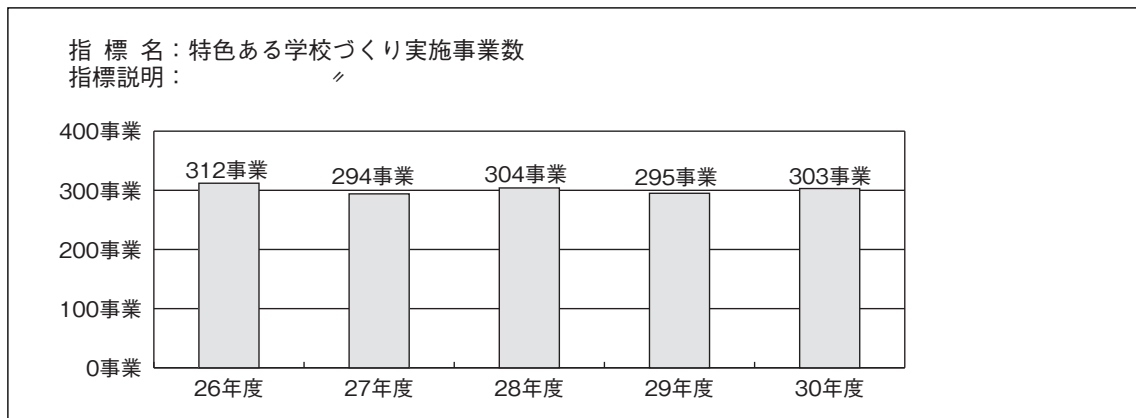
各学校が「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある児童生徒を育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。また、市内を流れる川の総称を「母なる豊川」とし、児童生徒や地域の人々が川の自然、川と人の関わりについて考え、川を大切にするための教育活動を実施した。今後も各学校の事業企画内容を評価・検討し、充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 8,820,172 円

区 分	平成29年度		平成30年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	25校	参加校	25校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	8,800,473円	74校	8,810,515円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 教育環境充実費 <教育環境の整備・充実>	320,931,884	6,195,880	0	1,230,000	313,506,004

1 私学振興事業費 44,128,130円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立学校に在籍する生徒の保護者負担を軽減するため、授業料に対して助成を行った。今後もこれらの施策の実施においては、国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した対応を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 9,429,080円

区 分	平成29年度		平成30年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,680人	6,680,000円	3,560人	6,557,080円
外国人学校(3校)	352	2,852,000	372	2,872,000
計	4,032	9,532,000	3,932	9,429,080

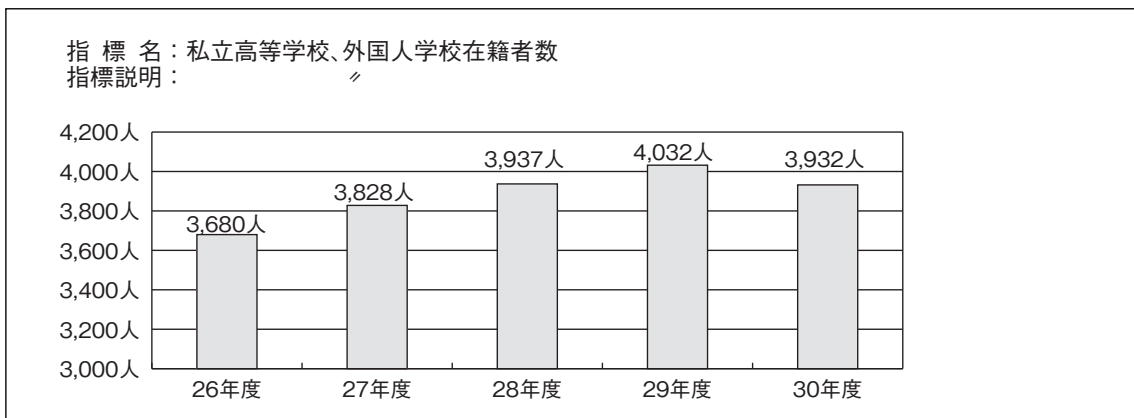
(2) 私立高等学校授業料補助金 32,236,450円

内 容	平成29年度		平成30年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	2,300人	34,136,100円	2,233人	32,236,450円

(3) 私立専修学校等授業料補助金 2,462,600円

内 容	平成29年度		平成30年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	162人	2,070,700円	188人	2,462,600円

[指標]



2 奨学支援事業費

5,204,827 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、平成 30 年度は返済不要の奨学金「豊橋市未来応援奨学金」を、17 人に対して給付し、将来を担う若者の進学を後押しした。今後は、経済的な理由で修学が困難な学生の進学をより一層後押しするため、要件の緩和など支援の充実を図っていく。

[実績及び成果]

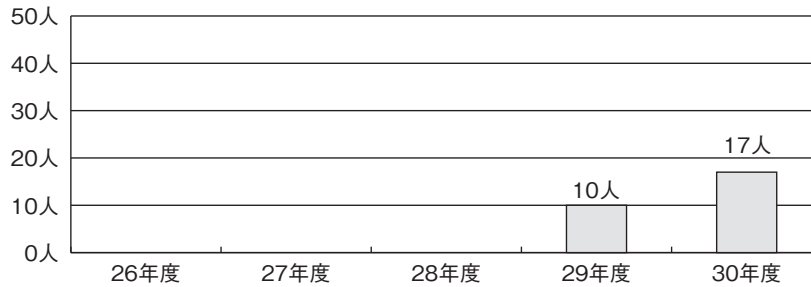
(1) 奨学金給付事業費

5,204,827 円

受給者数	平成 29 年度	平成 30 年度
	10人	17人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 市立学校教育活動推進費 ＜市立の強みを活かした教育の推進＞	365,581,380	2,391,758	0	46,037,364	317,152,258

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 162,245,167円 (教育政策課)

[総括]

きめ細やかな特別支援教育を実施するため、平成27年4月にくすのき特別支援学校を開校した。4年目となる30年度は、ハローワークをはじめとした関係機関との連携を強化するとともに、29年度に学校内に整備した農業実習施設「和(なごみ)ハウス」での農作業実習を行うなど、就労支援体制の充実を図ったことにより、職業コースの卒業生全員が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能として設置した「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めており、相談件数は着実に増加している。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 90,231,480円 (5月1日現在)

区 分	平成29年度	平成30年度
学 級 数	48学級	49学級
児 童 ・ 生 徒 数	243人	253人

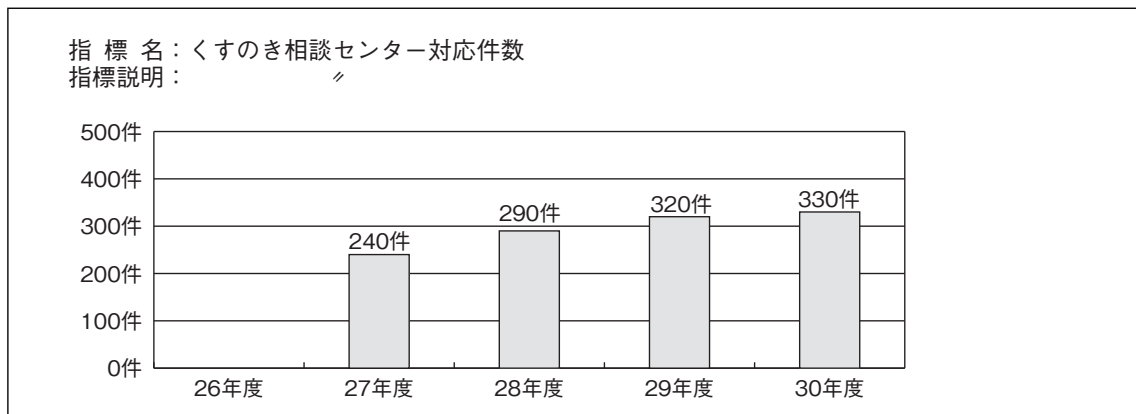
[施設整備]

内 容	平成29年度	平成30年度
	プレイルームシャッター電動化工事 農業実習施設「和(なごみ)ハウス」整備	

(2) 教育活動事業費 60,165,485円

区 分	平成29年度		平成30年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	1,286冊		1,482冊	
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	120台	10,114,200円	123台	10,398,780円
企業向け学校見学会実施回数	6回		1回	
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	6		8	
就労支援におけるサテライト実習実施回数	15		16	

[指 標]



2 市立高等学校教育推進事業費 117,947,250 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、発達障害や不登校の生徒に対応するため、心理カウンセラーによる心のケアの充実を図ったほか、進学、就職に向けてキャリア教育を実施した。また、校舎1階北廊下床改修工事を実施し、生徒の安全対策を講じた。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 11,874,047 円 (5月1日現在)

区 分	平成29年度	平成30年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	686人	670人

〔施設整備〕

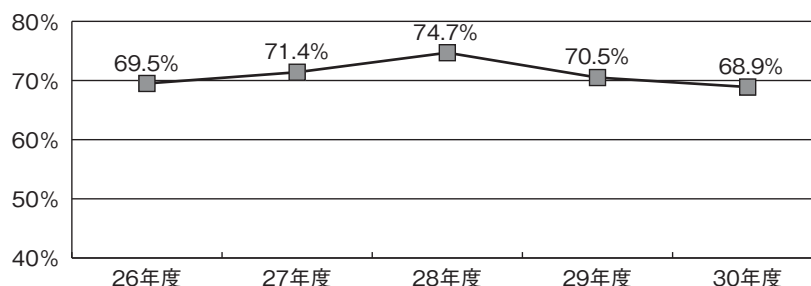
内 容	平成29年度	平成30年度
	校舎転落防止手摺設置工事	校舎1階北廊下床改修工事 高架水槽補修工事 一般補修工事

(2) 教育活動事業費 63,337,648 円

区 分	平成29年度		平成30年度	
学校図書館蔵書数	7,268冊		7,280冊	
定時制教育教科書給与費	9人	43,640円	24人	108,775円
学習用コンピュータ費	42台	2,716,416	42台	2,716,416
心理カウンセラー相談開催日数	65日		65日	
キャリア教育研修開催回数	10回		18回	
外国人生徒教育支援日数	213日		227日	
ICT機器等購入費	10,002,508円		—	

〔指標〕

指標名：市立高等学校卒業資格取得率
 指標説明：卒業生数／入学者数



3 家政高等専修学校教育推進事業費 81,408,163 円（教育政策課）

[総括]

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かい支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、体験活動を伴う実地見学や講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組み、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 2,807,486 円 (5月1日現在)

区 分	平成29年度	平成30年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	101人	101人

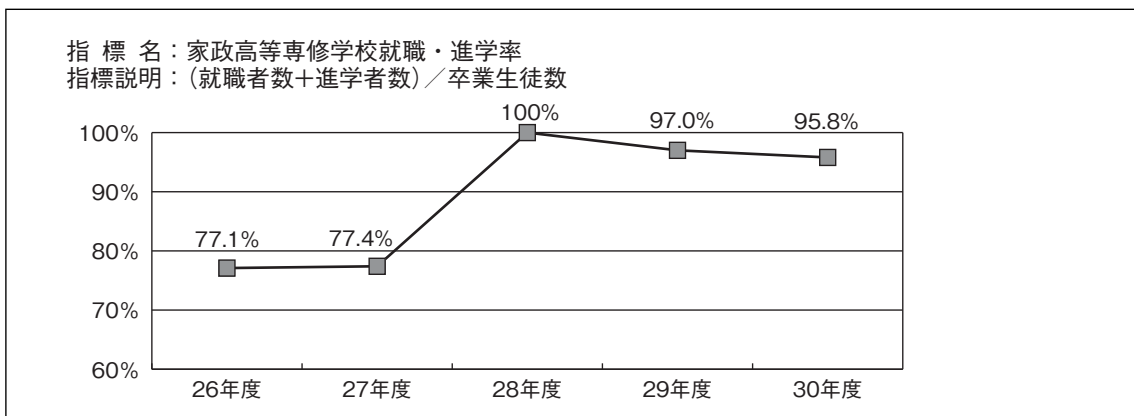
[施設整備]

内 容	平成29年度	平成30年度
	高圧受電盤内警報回路ユニット修繕 一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 24,941,114 円

区 分	平成29年度	平成30年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	2,585冊	2,630冊
学 習 用 コ ン ピ ュ ー タ 費	41台 2,199,960円	41台 2,199,960円
心 理 カ ウ ン セ ラ ー 相 談 開 催 日 数	20日	20日
キ ャ リ ア 教 育 研 修 開 催 回 数	10回	10回

[指 標]



4 家政高等専修学校整備事業費 3,980,800 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、校舎長寿命化改良工事を大規模かつ効率的に実施した。

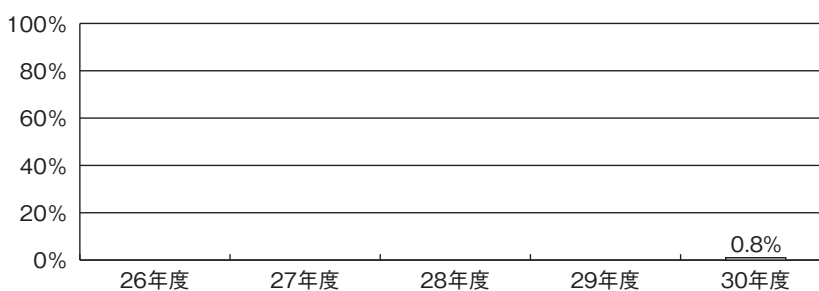
[実績及び成果]

- (1) 家政高等専修学校整備事業費 3,980,800 円
- (ア) 校舎長寿命化改良等工事 3,980,800 円
- 3 か年継続事業の初年度 総事業費 526,900,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	北校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,362㎡	外部・内部改修 浄化槽取替
	南校舎 鉄筋コンクリート造2階建	483	外部改修

[指標]

指標名：家政高等専修学校整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成30年度～令和2年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 科学教育施設費 <科学教育環境の充実>	206,637,242	0	0	757,827	205,879,415

1 自然史博物館施設管理事業費 139,592,878 円 (自然史博物館)

[総括]

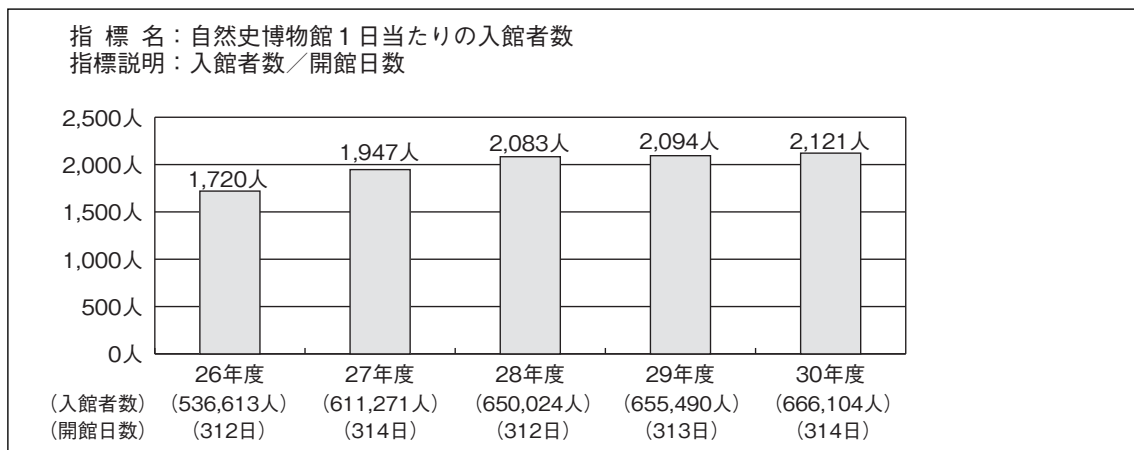
開館より30年経過した施設・設備の機能を計画的に維持・充実するため、屋上等防水、空調機、展示機器等の修繕を行い、入館者の安全性・利便性・快適性の向上を図った。また、野外恐竜模型ブラキオサウルスを、公募により決まったデザインに塗り替えた。今後も来館者サービス向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 47,367,710 円

区 分	平成29年度	平成30年度	比較
開 館 日 数	313日	314日	0.3%
入 館 者 数	延 655,490人	延 666,104人	1.6

[指標]



2 石巻自然科学資料館運営事業費 468,503 円 (自然史博物館)

[総括]

石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

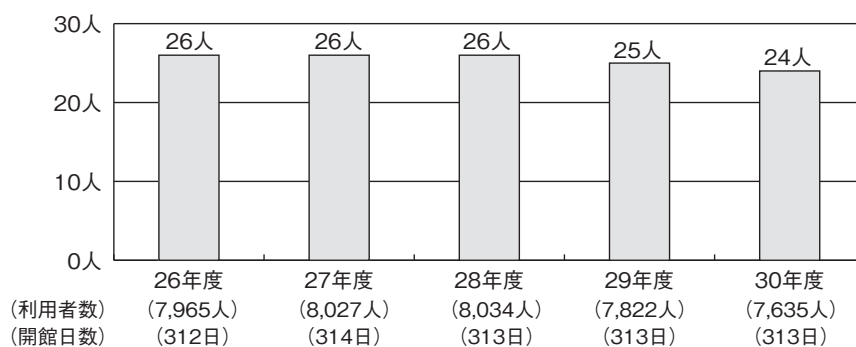
[実績及び成果]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 468,503 円

区 分	平成29年度	平成30年度	比較
開 館 日 数	313日	313日	0.0%
利 用 者 数	延 7,822人	延 7,635人	△ 2.4

[指標]

指標名：石巻自然科学資料館 1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 科学教育センター施設管理事業費 66,575,861 円 (科学教育センター)

[総括]

視聴覚教育センター及び地下資源館の適正な管理運営に努めるとともに、老朽化した施設・設備等の維持補修を行った。また、視聴覚教育センターでは光電式スポット型感知器やプラネタリウムUPSの修繕を行うとともに出入り口車止めを整備し、来館者の利便性及び安全性を高めた。地下資源館では、1階展示室の改修、誘導灯や外壁の修繕を行い来館者の快適性向上に努めた。今後も教育環境の計画的な整備を行い、両施設の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 13,416,299 円

[利用状況]

区分	平成29年度	平成30年度	比較
開館日数	311日	312日	0.3%
入館者数	延 82,180人	延 85,894人	4.5

[施設整備]

内容	平成29年度	平成30年度
	施設内照明器具のLED化 駐車場歩道の整備等	光電式スポット型感知器の取替修繕 プラネタリウムUPS修繕等

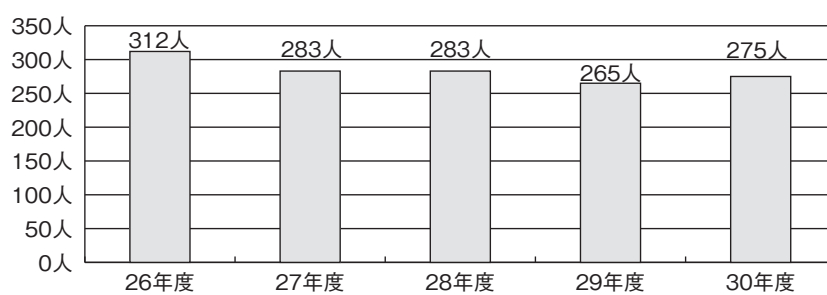
(2) 地下資源館施設管理事業費 14,775,098 円

[施設整備]

内容	平成29年度	平成30年度
	冷房設備用冷却水ポンプ取替修繕	1階展示室改修 誘導灯、外壁修繕

[指 標]

指 標 名：視聴覚教育センター1日当たりの入館者数
指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 科学教育推進費 ＜自然科学を学ぶ機会の充実＞	74,594,917	0	0	21,534,170	53,060,747

1 自然史博物館事業費 54,898,636 円 (自然史博物館)

[総括]

開館 30 周年の節目を迎えた平成 30 年度は、記念式典、企画展、ワークショップ及び全国規模の大会誘致等、1 年を通して多くの記念事業を実施した。また、30 周年にあわせて大型映像上映システムを 3D 対応機器にリニューアルしたほか、特別企画展も化石や標本等の所蔵資料を展示するだけでなく、動く恐竜ロボットや各種イベントを組み合わせ、楽しみながら学べる「体感! 恐竜ワールド」を開催した。今後も博物館として、自然に親しみ、自然を大切に作る心を養い、正しい知識を深めることを目的とした魅力ある事業を実施し、のんほいパーク 100 万人プロジェクトを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 33,234,297 円

区 分	平成 29 年度		平成 30 年度	
ワークショップ等	20回	参加人員 511人	10回	参加人員 350人
解説会	14	〃 474	14	〃 602
出前授業等	79	〃 2,478	86	〃 3,248
大型映像	1,039	観覧者数 31,329	954	観覧者数 36,026
企 画 展	「ボランティアが作った科学教材」 会期中の入館者数 149,552人 29.4.22～6.4 (39日間) 「丸山隆写真展 ホンドテン」 〃 29,317 29.11.18～12.10 (20日間) 「戌-イヌにちなむ-」 〃 37,939 29.12.16～30.1.14 (23日間) 「自然史博物館新蔵標本」 〃 55,026 30.3.10～3.31 (20日間)		「亥 ^{ちよこ} ～猪口っとイノシシ～」 会期中の入館者数 44,127人 30.12.15～31.1.14 (24日間) 「ヘビー級標本」 〃 41,121 31.1.26～3.3 (32日間)	
開館 30 周年 記念 事業	—		「記念式典、ミュージアムコンサート」 参加人数 457人 30.5.2 「記念企画展 自然史博物館30年のあゆみ」 会期中の入館者数 112,548 30.4.28～5.27 (27日間) 「記念企画展 博物館のウラワザ」 〃 160,821 30.7.6～9.30 (75日間) 「記念ワークショップ 恐竜修復体験」 参加人数 8 30.7.22、8.17 (2回) 「記念ワークショップ アンモナイトを発掘してゲットしよう」 〃 58 30.7.26、8.5、8.15 (3回) 「全国科学博物館協議会総会・研究発表大会」 〃 116 31.2.14～15 (2日間)	

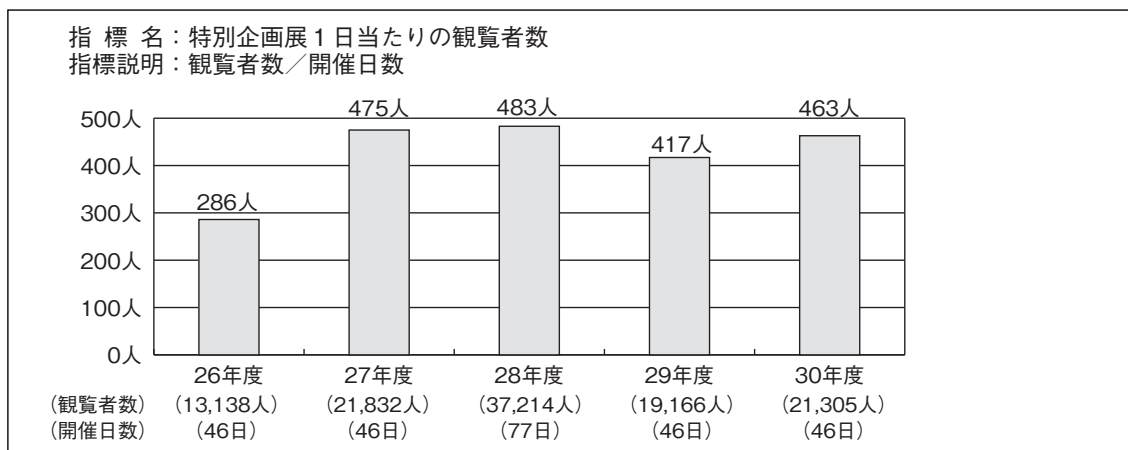
(2) 資料収集・調査研究活動事業費 3,594,338 円

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
博物館資料	製作委託	鳥類等の剥製骨格標本製作 5点	鳥類等の剥製骨格標本製作 5点
	採集・寄贈	1,233点 (総数 532,938点)	19,282点 (総数 552,220点)
	図書等	1,052冊 (総数 41,993冊)	994冊 (総数 42,987冊)
研究発表(調査研究)		45件	45件

(3) 特別企画展開催事業費 18,070,001 円

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
特別企画展		「武器甲虫-クワガタ、カブトの進化を探る-」	「体感! 恐竜ワールド」
		29.7.14~9.3 (46日間)	30.7.13~9.2 (46日間)
		展示数 約6,000点 観覧者数19,166人	展示数 156点 観覧者数21,305人
関連行事	1. 記念講演会「クワガタ・カブトの系統進化」	参加人員 56人	1. 解説会 (2回) 参加人員 123人
	2. 記念講演会「性決定遺伝子で探る甲虫の武器」	〃 58	2. 体験イベント「化石発掘体験」(12回) 〃 600
	3. クワガタ・カブト観察会 (4回)	〃 88	3. ワークショップ (11回) 〃 191
			4. 宝石さがしに挑戦 (12回) 〃 2,165

[指標]



2 科学教育センター事業費 19,696,281 円 (科学教育センター)

[総括]

視聴覚教育センターでは、わくわく体験活動(実験学習、プラネタリウム学習、展示学習)による児童の科学能力の向上、さらに市民への学習教室(ワークショップ、ICT講座、ゆめたまご科学講座、星空観望会など)の充実など最先端の科学情報等の提供に努めた。地下資源館では、資源やエネルギーをはじめとした科学を楽しむことを目的に、市民への学習教室(おもしろサイエンスの日、ワークショップ、実験ショー、名古屋大学及び豊橋技術科学大学との連携による出前授業)や企画展「電気のみしぎ」を開催した。今後もサイエンス・ボランティアの協力を得ながら、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を開催し、みんなの科学基地として自然科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

(1) 視聴覚教育センター事業費 18,105,336 円

〔各種活動〕

区 分	平成29年度		平成30年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～10月	参加人員 3,648人	5月～11月	参加人員 3,348人
プラネタリウム投映	665回	観覧者数21,768	674回	観覧者数25,611
学 習 教 室	5月～3月(62回)	参加人員 1,928	4月～3月(58回)	参加人員 1,736
星 空 観 望 会	7月～3月(7)	〃 801	5月～3月(7)	〃 900
展 示 会	7月～9月	入場者数20,528	6月～12月	入場者数52,170

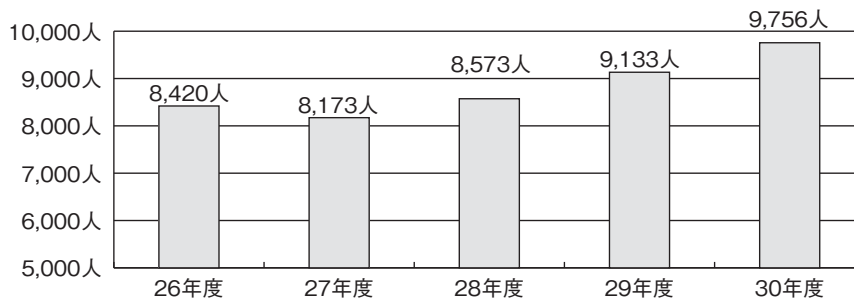
(2) 地下資源館事業費 1,590,945 円

〔各種活動〕

区 分	平成29年度		平成30年度	
学 習 教 室	4月～3月(285回)	参加人員 9,133人	4月～3月(279回)	参加人員 9,756人
資源をくらしに生かす 創 意 工 夫 展	10.14～11.12(26日間) 展示点数751点 入場者数10,755		10.13～11.11(26日間) 展示点数761点 入場者数12,682	
企 画 展	—		3月	〃 4,915

〔指 標〕

指 標 名：実験・講座等参加者数(地下資源館)
指 標 説 明：年間の実験・講座等参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	3,886,028,881	613,889,952	2,007,600,000	5,176,709	1,259,362,220
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	3,886,028,881	613,889,952	2,007,600,000	5,176,709	1,259,362,220

1 小学校管理事業費 290,344,431 円 (教育政策課)

[総括]

小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。また、全校に自動応答機能付き電話を導入し、教職員の勤務時間外での負担軽減を行い、多忙化解消を推進した。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

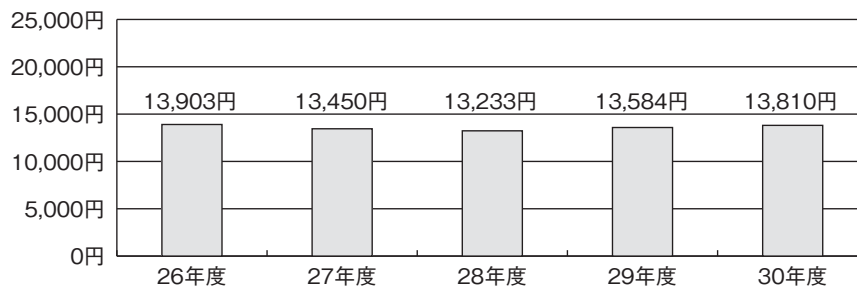
[実績及び成果]

(1) 管理事業費 290,344,431 円 (5月1日現在)

区 分	平成29年度	平成30年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	837学級	842学級
児 童 数	20,830人	21,024人

[指 標]

指 標 名：児童1人当たりの管理費
 指標説明：管理費／児童数(年間数値)



2 小学校教育推進事業費

281,851,260 円

(教育政策課・学校教育課)

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市により共同で開始し、教師が児童と向き合う時間の確保を図った。また、児童が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンを設置したほか、小学校10校に木製下駄箱を、14校に木製教壇を導入した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

(1) 教育活動事業費

210,820,047 円

区 分	平成29年度	平成30年度
学校図書館蔵書数	464,292冊	472,468冊
学校新聞発行部数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 147,279部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 156,850部
学校評議員数	390人	390人
緑のカーテン設置数	52校	52校
木製下駄箱購入数	—	72台
木製教壇購入数	—	51

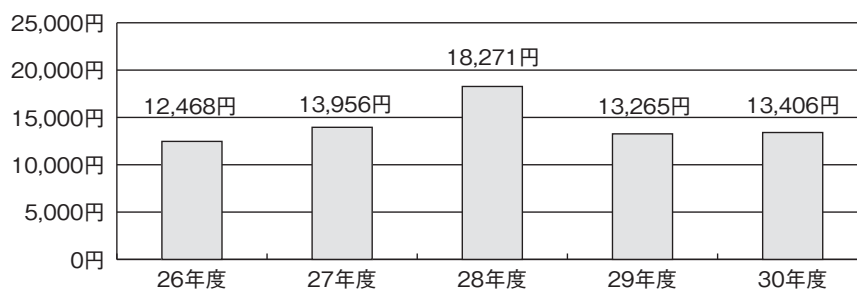
(2) 情報管理システム管理運営事業費

71,031,213 円

区 分	平成29年度		平成30年度	
校務用コンピュータ費	1,214台	31,921,735円	1,214台	24,831,554円
校務支援システム費	1,214	40,583,659	1,214	46,199,659

[指標]

指標名：児童1人当たりの事業費
 指標説明：直接事業費／児童数(年間数値)



3 小学校校舎等増改築事業費 774,479,770 円（教育政策課）

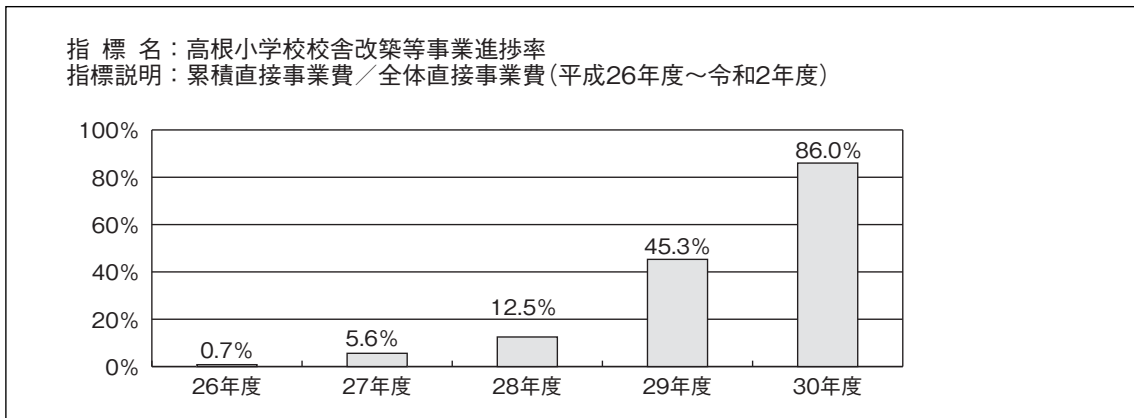
[総括]

高根小学校では、児童数増加に伴う学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するため、校舎改築工事が完了し、渡り廊下改築等のⅠ期工事を行った。

[実績及び成果]

- (1) 高根小学校校舎改築等事業費 774,479,770 円
 - (ア) 校舎改築工事（Ⅱ期） 698,739,520 円
3か年継続事業の最終年度 総事業費 988,714,080 円
 - (イ) 渡り廊下改築等工事（Ⅰ期） 36,930,000 円
2か年継続事業の初年度 総事業費 123,900,000 円
 - (ウ) 工事監理等 38,810,250 円

[指標]



※平成30年度の全体事業費にて、26年度から再算定

4 小学校校舎等長寿命化改良事業費 818,866,817 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、松葉小学校はじめ2校の校舎及び西郷小学校体育館の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 松葉小学校校舎改良事業費 461,874,440 円
 - (ア) 北校舎長寿命化改良工事（Ⅱ期） 293,200,580 円
3か年継続事業の最終年度 総事業費 482,888,520 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,509㎡	外部・内部改修

- (イ) 南校舎長寿命化改良工事 142,435,800 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造2階建	950㎡	外部・内部改修

- (ウ) 仮設校舎の賃借等 26,238,060 円

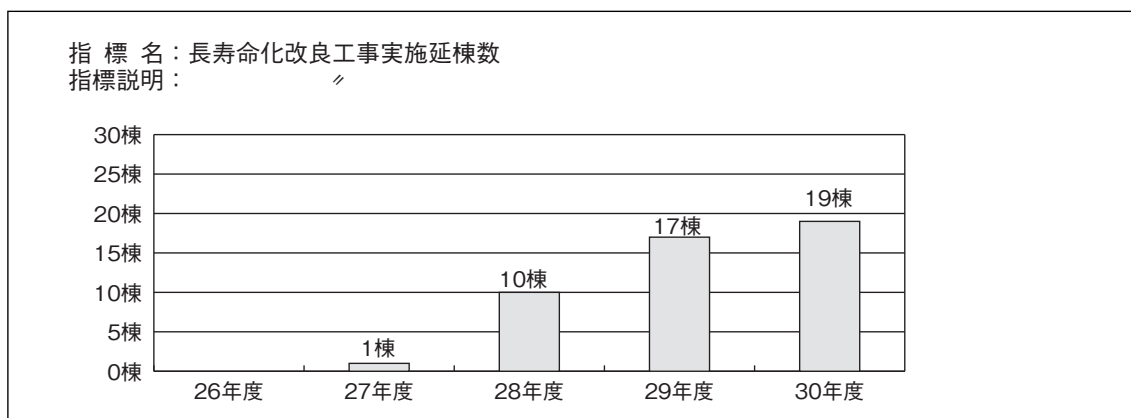
- (2) 津田小学校校舎改良事業費 228,575,017 円
 (ア) 校舎長寿命化改良工事（Ⅱ期） 213,867,307 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 346,637,307 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	2,503㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 14,707,710 円
 (3) 西郷小学校屋内運動場改良事業費 128,417,360 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	650㎡	外部・内部改修

[指 標]



5 小学校校舎等大規模改造事業費 984,464,084 円（教育政策課）

[総 括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、大村小学校はじめ4校の校舎の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 大村小学校校舎改造事業費 247,279,002 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 232,800,306 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 381,610,818 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,854㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 14,478,696 円

- (2) 吉田方小学校校舎改造事業費 186,608,000 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 186,446,000 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 311,052,987 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,796㎡

- (イ) 仮設校舎の賃借等 162,000 円
 (3) 大崎小学校校舎改造事業費 274,939,326 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 269,352,486 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 439,393,798 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,049㎡

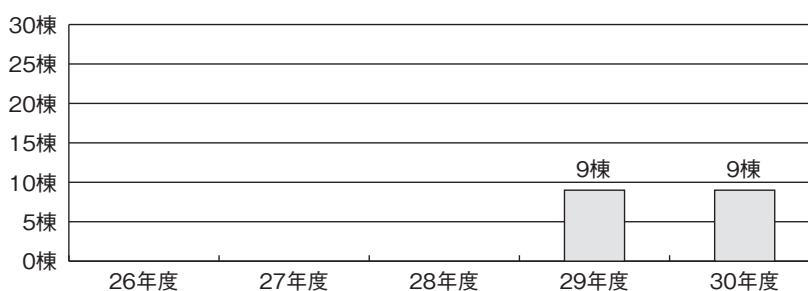
- (イ) 仮設校舎の賃借 5,586,840 円
 (4) 天伯小学校校舎改造事業費 275,637,756 円
 (ア) 校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 262,234,268 円
 3か年継続事業の最終年度 総事業費 429,851,988 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造3階建	2,974㎡

- (イ) 仮設校舎の賃借等 13,403,488 円

[指 標]

指 標 名：大規模改造工事実施延棟数(平成27年度以降)
 指標説明：〃



6 小学校環境整備事業費 338,761,451 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、4校で非構造部材耐震対策工事（外壁改修等）を実施したほか、6校で今後実施予定である屋内運動場の長寿命化改良工事等の実施設計を行った。また、通学路等の安全を確保するため、コンクリートブロック塀の改修を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

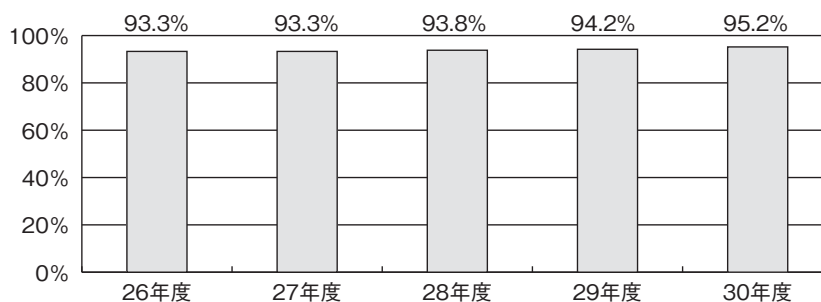
[実績及び成果]

区 分	平成29年度	平成30年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	259,555,392円		
非構造部材耐震対策工事 (外壁改修等)	3校	4校	高師、岩西、石巻、老津
トイレ改造工事	1	2	汐田、旭
長寿命化改良事業等 実 施 設 計	5	6	大村、吉田方、鷹丘、豊南、高山、高根
ペレットストーブ設置	1	—	
防犯カメラ設置	3	3	新川、野依、玉川
校舎屋上防水工事等	11	4	杉山、谷川、二川南、老津
計	19	18	
(2) 運動場等整備事業費	4,834,402円		
木製遊具設置	1校	1校	杉山（撤去のみ）
校庭芝生整備等	1	1	豊
コンクリートブロック塀改修工事	—	2	東田、八町
計	2	4	
(3) プール施設整備事業費	13,003,339円		
プール槽防水工事等	3校	—校	
プール付属屋外壁等改修工事	4	5	植田、天伯、玉川、石巻、細谷
計	7	5	
(4) 一般補修事業費	61,368,318円		
	52校	52校	全校

[指標]

指標名：小学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)÷4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	1,742,824,028	248,896,032	847,000,000	4,898,243	642,029,753
1目 教育環境整備費 <教育環境の整備・充実>	1,742,824,028	248,896,032	847,000,000	4,898,243	642,029,753

1 中学校管理事業費 200,326,984 円 (教育政策課)

[総括]

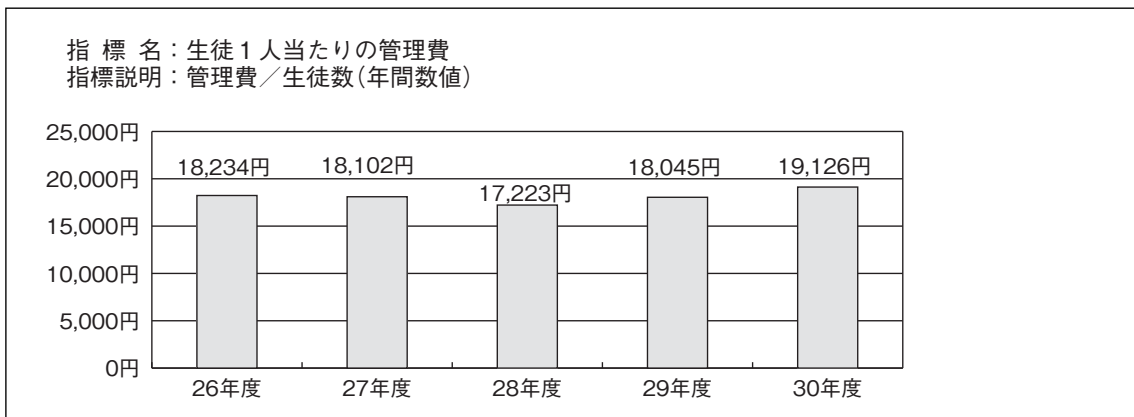
中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。また、全校に自動応答機能付き電話を導入し、教職員の勤務時間外での負担軽減を行い、多忙化解消を推進した。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 200,326,984 円 (5月1日現在)

区 分	平成29年度	平成30年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	361学級	352学級
生 徒 数	10,801人	10,474人

[指標]



2 中学校教育推進事業費

168,523,800 円（教育政策課・学校教育課）

〔総括〕

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市により共同で開始し、教師が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、生徒が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンを設置したほか、中学校4校に木製下駄箱を、2校に木製教壇を導入した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 教育活動事業費 135,453,744 円

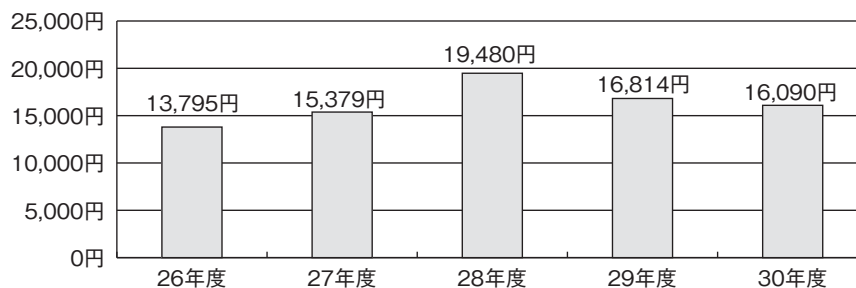
区 分	平成29年度	平成30年度
学校図書館蔵書数	320,096冊	321,334冊
学校新聞発行部数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 121,050部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 95,754部
学校評議員数	157人	159人
緑のカーテン設置数	22校	22校
木製下駄箱購入数	97台	21台
木製教壇購入数	42	8

(2) 情報管理システム管理運営事業費 33,070,056 円

区 分	平成29年度		平成30年度	
校務用コンピュータ費	731台	17,997,665円	731台	13,524,046円
校務支援システム費	731	17,170,010	731	19,546,010

〔指標〕

指標名：生徒1人当たりの事業費
 指標説明：直接事業費／生徒数(年間数値)



3 中学校校舎等長寿命化改良事業費 527,390,399 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、羽田中学校の校舎及び青陵中学校はじめ3校の屋内運動場の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 羽田中学校校舎改良事業費 193,031,115 円
 - (ア) 校舎長寿命化改良工事（Ⅱ期） 186,202,952 円
 - 3か年継続事業の最終年度 総事業費 301,427,352 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	1,909㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 6,828,163 円
- (2) 青陵中学校屋内運動場改良事業費 93,230,000 円
 - (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事（Ⅰ期） 93,230,000 円
 - 3か年継続事業の2年度 総事業費 248,800,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,291㎡	外部・内部改修

- (3) 羽田中学校屋内運動場改良事業費 84,948,000 円
 - (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事（Ⅰ期） 84,948,000 円
 - 3か年継続事業の2年度 総事業費 250,800,000 円

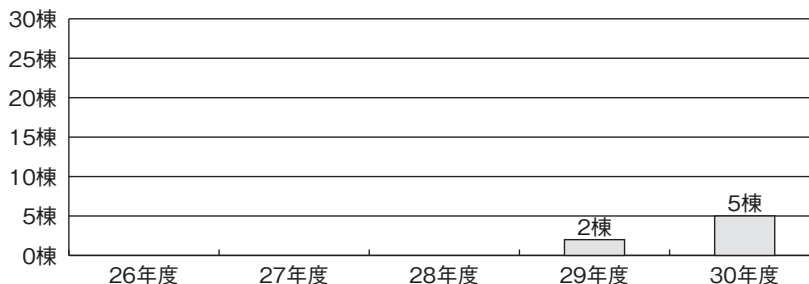
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,308㎡	外部・内部改修

- (4) 章南中学校屋内運動場改良事業費 156,181,284 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	836㎡	外部・内部改修

[指 標]

指 標 名：長寿命化改良工事実施延棟数
 指標説明：〃



4 中学校校舎等大規模改造事業費 570,590,678 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、南部中学校はじめ2校の校舎の改修を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 南部中学校校舎改造事業費 260,097,470 円
 - (ア) 校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 255,327,430 円
 - 3か年継続事業の最終年度 総事業費 424,496,430 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,809㎡	外部・内部改修

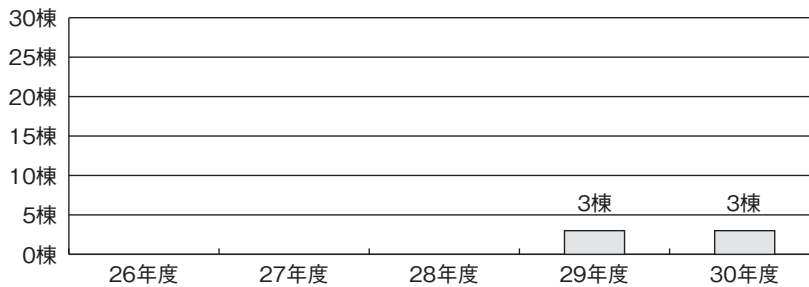
- (イ) 仮設校舎の賃借等 4,770,040 円
- (2) 石巻中学校校舎改造事業費 310,493,208 円
 - (ア) 校舎大規模改造工事（Ⅱ期） 301,838,248 円
 - 3か年継続事業の最終年度 総事業費 491,881,248 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	3,341㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 8,654,960 円

[指 標]

指 標 名：大規模改造工事実施延棟数(平成27年度以降)
 指標説明：〃



5 中学校環境整備事業費

103,415,409 円（教育政策課）

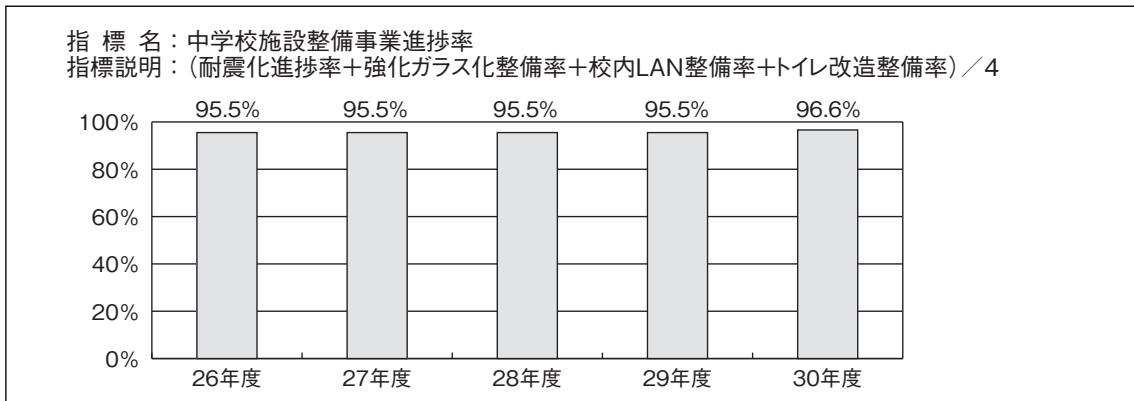
[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、2校で非構造部材耐震対策工事(外壁改修等)を実施したほか、1校でトイレの大規模改造工事を行った。また、通学路等の安全を確保するため、コンクリートブロック塀の改修を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

区 分	平成29年度	平成30年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	62,190,535円		
非構造部材耐震対策工事 (外壁改修等)	11校	2校	東陽、二川
長寿命化改良事業等 実 施 設 計	3	—	
トイレ改造工事	—	1	二川
電気設備改修工事等	4	4	高師台、東陵、東陽、高豊
計	14	5	
(2) プール施設整備事業費	7,936,380円		
プール槽防水工事等	4校	—校	
プール付属外壁等改修工事	2	1	中部
計	6	1	
(3) 一般補修事業費	31,290,494円		
	22校	22校	全校
(4) 運動場等整備事業費	1,998,000円		
コンクリートブロック塀改修工事	—校	2校	南部、五並
計	—	2	

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	1,746,475,943	69,139,836	126,300,000	131,659,800	1,419,376,307
2目 生涯学習機会充実費 <生涯学習機会の充実>	524,543,594	0	126,300,000	36,415,759	361,827,835

1 生涯学習推進事業費 3,120,482円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も多彩な学習機会の提供に向けた取組みを図っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 2,534,412円

区 分	平成29年度			平成30年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	38	1,062人	177回	44	1,084人	195回	地区市民館ほか
高 齢 者 コ ー ス	23	1,385	144	23	1,522	165	〃

(2) 生涯学習活動事業費 586,070円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 404,300円

発 行 部 数	平成29年度	平成30年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 68,876円

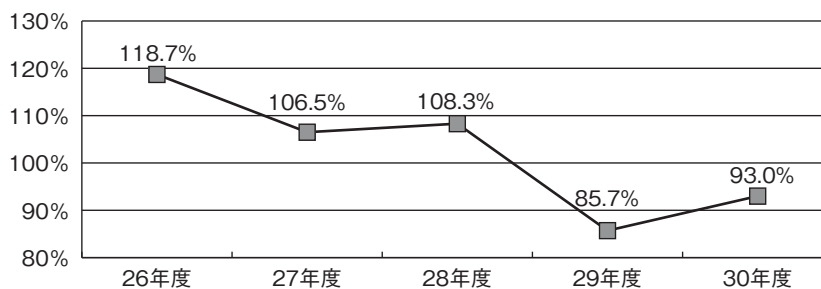
参 加 者	平成29年度	平成30年度
		1,600人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 112,894円

参 加 者	平成29年度	平成30年度
		300人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率
指 標 説 明：参加者数／募集定員



2 地区市民館管理運営事業費 246,919,220 円（生涯学習課）

〔総括〕

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに適切に管理・運営をし、利用促進に努めた。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 地区市民館管理運営事業費（22 館） 246,919,220 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 9 年度			平成 3 0 年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二川地区市民館	件 1,895	人 70,561	冊 39,707	件 1,966	人 66,159	冊 40,451	% △ 6.2
豊岡 〃	1,284	26,119	1,663	1,231	27,464	1,947	5.1
東陽 〃	1,542	44,209	4,560	1,443	40,684	3,362	△ 8.0
南稜 〃	2,129	91,839	—	2,074	92,626	—	0.9
青陵 〃	2,262	81,931	51,503	2,444	81,519	49,803	△ 0.5
杉山 〃	983	22,201	635	1,005	22,391	598	0.9
石巻 〃	1,465	51,160	18,538	1,477	48,007	18,452	△ 6.2
羽根井 〃	1,645	26,944	472	201	3,399	31	△87.4
吉田方 〃	1,298	25,864	849	1,212	23,797	806	△ 8.0
五並 〃	418	11,021	682	434	10,578	784	△ 4.0
牟呂 〃	1,587	53,837	10,514	1,598	49,256	11,070	△ 8.5
高豊 〃	664	15,119	435	635	14,175	358	△ 6.2
北部 〃	1,538	31,438	7,400	1,499	31,404	7,879	△ 0.1
南部 〃	1,735	65,589	27,965	1,756	65,664	28,647	0.1
豊城 〃	1,904	44,473	1,417	1,951	46,222	1,536	3.9
中部 〃	1,533	33,113	1,525	1,462	29,953	1,473	△ 9.5
高師台 〃	1,724	39,082	2,983	1,676	36,654	3,019	△ 6.2
東部 〃	1,285	29,716	1,144	1,212	29,365	914	△ 1.2
東部地区市民館飯村分館	3,516	68,933	2,607	3,247	64,582	2,607	△ 6.3
南陽地区市民館	1,384	26,435	956	1,249	24,594	772	△ 7.0
本郷 〃	1,419	34,465	974	1,507	37,868	1,170	9.9
東陵 〃	1,783	55,334	3,994	1,575	48,947	2,940	△11.5
計	34,993	949,383	180,523	32,854	895,308	178,619	△ 5.7

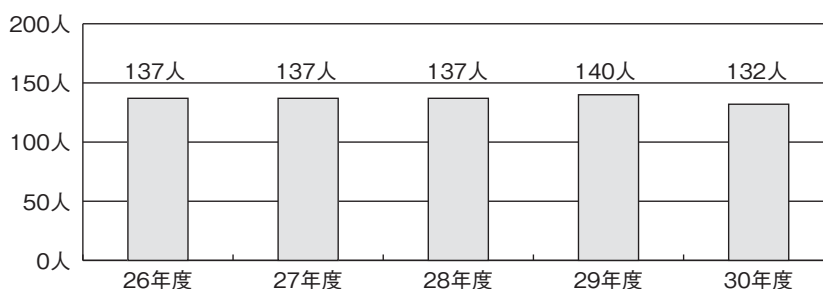
※羽根井地区市民館は施設の大規模改修工事に伴い、平成 30 年 6 月から平成 31 年 3 月まで休館

〔施設整備〕

内 容	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
		雨漏り修繕(杉山)

[指 標]

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



3 地区市民館整備事業費 194,724,111 円 (生涯学習課)

[総 括]

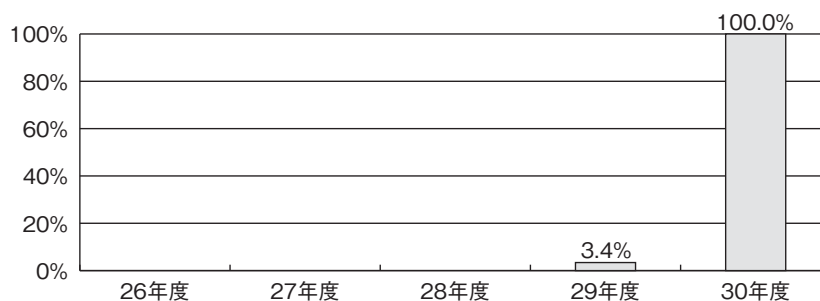
施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、羽根井地区市民館の大規模改修工事及び吉田方地区市民館の改修に向けた実施設計を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 地区市民館整備事業費 194,724,111 円
- (ア) 大規模改修工事(羽根井) 174,197,415 円

[指 標]

指 標 名：羽根井地区市民館整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～平成30年度)

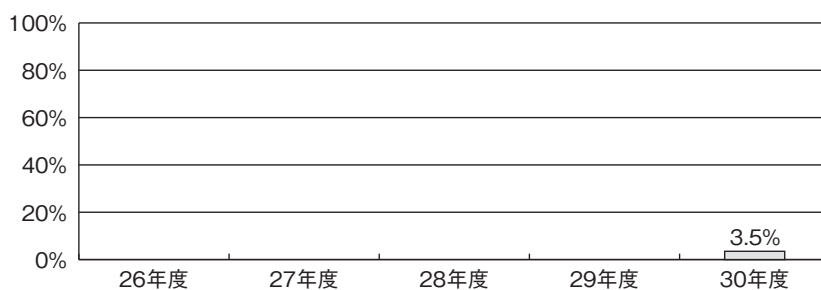


※事業完了に伴う全体直接事業費の見直しのため、29年度指標を再計算

(イ) 大規模改修実施設計（吉田方） 6,821,496 円

[指 標]

指 標 名：吉田方地区市民館整備事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成30年度～令和元年度)



(ウ) 改修工事（二川） 13,705,200 円

4 青少年教育施設管理運営事業費 79,779,781 円（生涯学習課）

[総括]

青少年センターは、指定管理者による適正な管理運営を行うとともに、出張形式の防災啓発事業やスポーツ鬼ごっこ体験会などの自主事業を実施した。少年自然の家と野外教育センターは老朽設備を補修し、安全の確保を図った。引き続き、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

[実績及び成果]

(1) 青少年センター管理運営事業費 42,555,259 円

[利用状況]

区 分	平成29年度	平成30年度	比較
遊 戯 室	延 1,453人	延 947人	△34.8%
研 修 棟	延 9,837	延 10,143	3.1
宿 泊 棟	延 545	延 921	69.0
運 動 広 場	延 6,322	延 4,856	△23.2
体 育 室	延 14,646	延 16,037	9.5
音 楽 室	延 4,499	延 3,796	△15.6
大 研 修 室	延 9,882	延 8,256	△16.5
多 目 的 室	—	延 63	皆増
そ の 他	延 10,196	延 9,137	△10.4
計	57,380	54,156	△ 5.6

[施設整備]

内 容	平成29年度	平成30年度
	宿泊棟外壁等改修工事	非常放送設備取替修繕

(2) 少年自然の家管理運営事業費 12,028,519 円

[利用状況]

区 分	平成29年度	平成30年度	比較
管 理 棟（日帰り）	延 5,201人	延 4,947人	△ 4.9%
宿 泊 棟	延 3,331	延 2,488	△25.3
キ ャ ン プ 場	延 678	延 296	△56.3
計	9,210	7,731	△16.1

[施設整備]

内 容	平成29年度	平成30年度
	—	中央管理棟屋内消火栓ポンプ仕切弁等取替修繕

(3) 野外教育センター管理運営事業費 11,479,173 円

[利用状況]

区 分	平成29年度	平成30年度	比較
本 館（日帰り）	延 5,093人	延 6,117人	20.1%
宿 泊 室	延 5,191	延 5,429	4.6
計	10,284	11,546	12.3

〔施設整備〕

内 容	平成29年度	平成30年度
	給湯ボイラー取替修繕	

- (4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,534,830 円

〔利用状況〕

内 容	平成29年度	平成30年度	比 較
利 用 者 数	延 2,416人	延 3,023人	25.1%

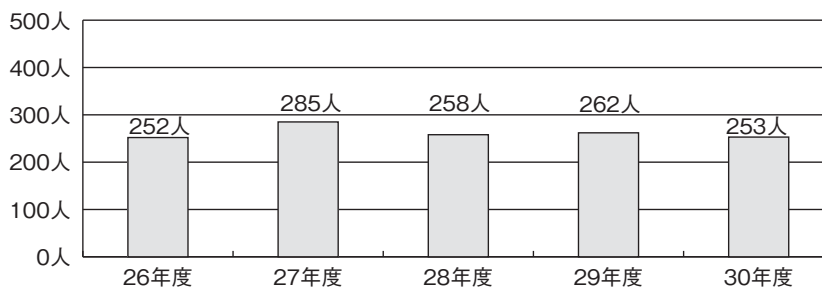
- (5) 江比間野外活動センター管理負担金 10,182,000 円

〔利用状況〕

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
宿 泊 利 用	延 2,093人	延 2,037人	△ 2.7%
日 帰 研 修	延 5,617	延 6,379	13.6
キ ャ ン プ 利 用	延 1,339	延 823	△38.5
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 1,421	延 1,482	4.3

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 ＜地域における生涯学習活動への支援＞	17,987,466	1,478,000	0	64,500	16,444,966

1 地域教育推進事業費 10,285,435 円 (生涯学習課)

[総括]

大清水まなび交流館をはじめ、地区・校区市民館において、地域の大人が子どもに対し多様な体験活動を行う講座を開催するなど、市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元できるよう努めた。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 5,301,471 円

(ア) 土曜日の教育活動モデル事業費 366,350 円

内 容	平成29年度			平成30年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
土曜日の教育活動モデル事業	13	682人	35回	4	510人	12回	大清水まなび交流館

(イ) 地域教育リーダー養成事業費 0 円

内 容	平成29年度			平成30年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域教育リーダー養成事業	1	17人	1回	2	18人	2回	大清水まなび交流館

(ウ) 豊橋魅力発見講座事業費 819,000 円

内 容	平成29年度			平成30年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
知っつく!豊橋ゼミナール	22	1,581人	80回	25	1,301人	78回	地区市民館ほか

(エ) 生涯学習推進セミナー事業費 349,020 円

内 容	平成29年度		平成30年度		
	延参加者	回数	延参加者	回数	開催場所
生涯学習推進セミナー	2,612人	28回	2,595人	28回	校区市民館ほか

(オ) 地域いきいき子育て促進事業費 2,722,500 円

内 容	平成29年度			平成30年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	52	24,165人	751回	50	20,487人	817回	校区市民館ほか

(カ) 地域未来塾ステップ推進事業費 549,192 円

内 容	平成29年度			平成30年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	1	163人	17回	1	184人	22回	青少年センター

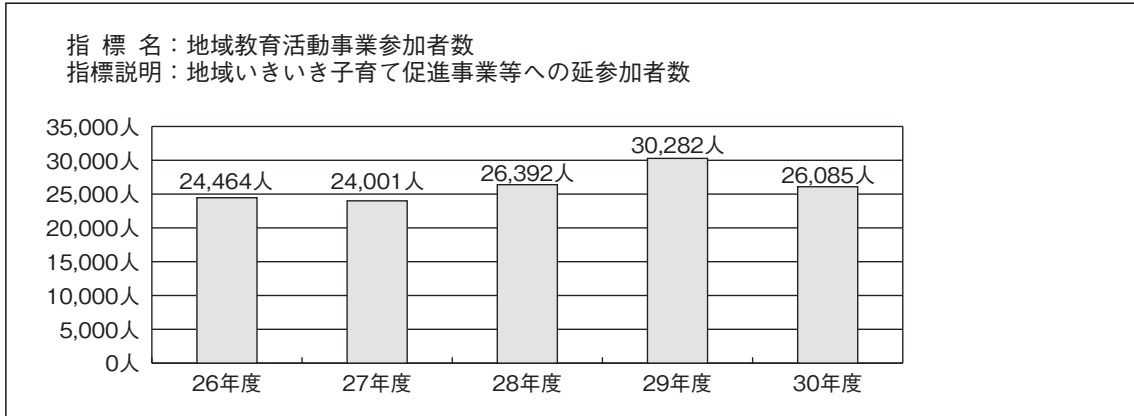
(キ) トヨッキースクール推進事業費 495,409 円

内 容	平成29年度			平成30年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	8	1,062人	40回	5	990人	53回	小学校ほか

(2) 成人式開催事業費 4,983,964 円

内 容	平成29年度			平成30年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
成 人 式	51	3,770人	46か所	51	3,775人	46か所	小学校体育館ほか

[指 標]



2 家庭教育事業費 589,000 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナーの実施回数を増やすとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座等を開催した。今後も学校や家庭、地域の連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 589,000 円

内 容	平成29年度			平成30年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭 教 育 セ ミ ナ ー	25	566人	25回	30	735人	30回	地区市民館ほか
子 育 て 学 習 講 座	43	2,872	43	44	3,255	44	小 学 校
思 春 期 家 庭 教 育 講 座	3	1,263	3	2	762	2	中 学 校

3 青少年交流活動促進事業費

483,101 円（生涯学習課）

[総括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「自然体験プログラム」や出張講座「ネイチャークラフト体験」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費

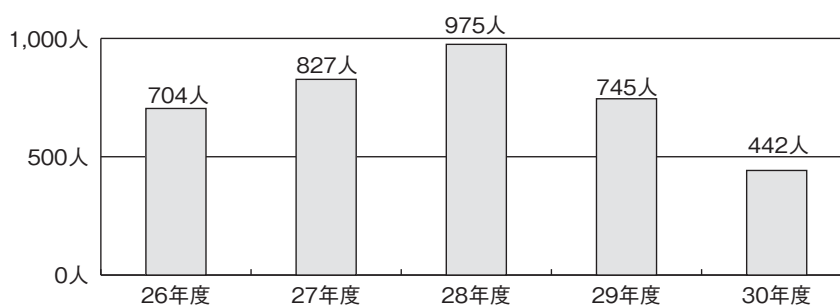
483,101 円

内 容	平成29年度		平成30年度		
	回 数	参加者	回 数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	18回	692人	19回	442人	少年自然の家
くろしおチャレンジプログラム	5	53	0	0	※天候不良のため中止
キャンプ指導員養成講座	1	12	2	4	少年自然の家
出 張 講 座	3	450	4	1,000	こども未来館ほか

[指 標]

指 標 名：青少年交流活動促進事業への参加者数

指標説明：参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 図書館費 < 図書館の充実 >	493,536,111	2,339,836	0	19,225,119	471,971,156

1 中央図書館事業費 364,564,241 円 (図書館)

[総括]

全国的に図書館の役割が見直されるなか、将来にわたって住民ニーズに合った図書館サービスが提供できるよう、本市図書館が目指すべき姿を示した「図書館基本構想」を策定した。また、図書館が所蔵する貴重な歴史資料や郷土図書などをデジタル化し、誰もが自由にインターネットで検索・閲覧できる環境を整備した。今後も貴重な資料や有益な図書の収集に努めるとともに、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

- | | |
|------------------|--------------|
| (1) 児童図書業務費 | 13,693,564 円 |
| (2) 一般図書業務費 | 37,452,092 円 |
| (3) レファレンス業務費 | 1,653,143 円 |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費 | 20,711,669 円 |
| (5) AV・CD電子図書業務費 | 1,800,952 円 |

[利用状況等]

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
開 館 日 数	290日	290日	0.0%
入 館 者 数	延 370,791人	延 327,722人	△11.6
館 外 貸 出 人 数	延 184,063	延 182,573	△ 0.8
館 外 貸 出 冊 数	延 912,044冊	延 891,620冊	△ 2.2
館外貸出人数(CD)	延 8,142人	延 8,179人	0.5
館外貸出点数(CD)	延 15,142点	延 15,130点	△ 0.1
蔵 書 冊 数	682,905冊	689,678冊	1.0
()内は司文庫で再掲	(34,728)	(34,850)	(0.4)
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	6,461点	6,556点	1.5

[資料購入状況]

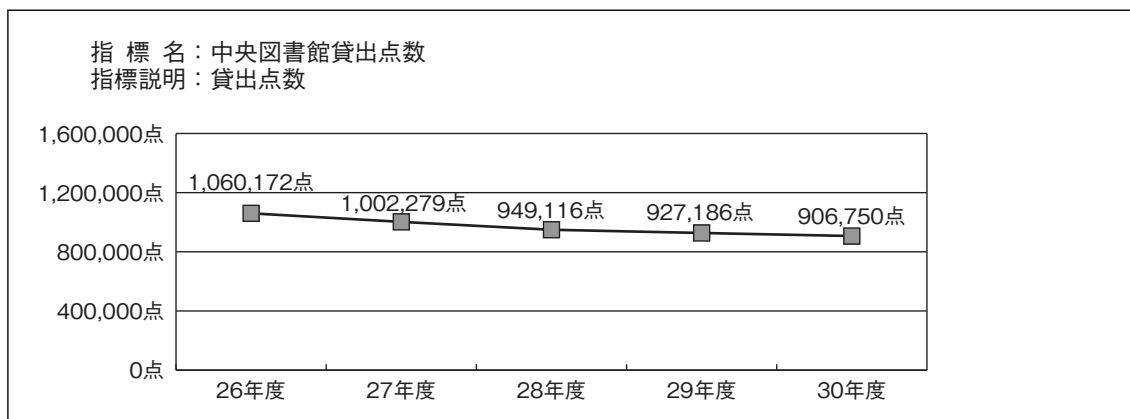
区 分	内 容	平成29年度	平成30年度	比 較
図 書	一 般	7,092冊	6,931冊	△ 2.3%
	児 童	2,581	2,655	2.9
	参 考 考	328	334	1.8
	郷 土	96	110	14.6
	司 文 庫	162	118	△27.2
	計	10,259	10,148	△ 1.1
逐次刊行物	雑 誌 等	246種	244種	△ 0.8
	新 聞	22	23	4.5
	追 録	8	8	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D 等	66点	70点	6.1

(6) 行事開催業務費

9,751,264 円

区 分	平成29年度		平成30年度	
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	9回	延 25,068人	9回	延 18,598人
資 料 展 関 連 行 事	6回	延 605	5回	延 381
市 民 向 け 講 座	6講座	延 153	5講座	延 145
ボランティア等育成講座、研修	8講座	延 307	5講座	延 151
講 演 会 、 コ ン サ ー ト	1回	延 77	1回	延 43
映 画 上 映 会	10回	延 283	9回	延 446
図 書 館 子 ども フェスタ	4~5月	延 713	4~5月	延 724
夏休み子どもフェスティバル	7月	延 242	7月	延 137
図 書 館 フェスタ	11・12月	延 12,474	11月	延 7,075
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	48回	配付人数 3,001人 (絵本等)	46回	配付人数 2,966人 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	36回	延 2,713人	34回	延 2,703人
お は な し の ヘ ヤ	412回	延 7,650	418回	延 7,116
調 べ 学 習 コ ン ク ー ル	19校	287	30校	304
本 の リ サ イ ク ル フェア	3回	延 883	3回	延 1,203
本 の フ リ ー マ ー ケ ッ ト	1回	延 1,087	1回	延 1,271

[指 標]



2 向山図書館事業費

40,190,366 円（図書館）

[総括]

市民が図書館サービスを手軽に利用できるよう、ネットワーク館（図書館システム設置分室）と連携して配本業務に取り組むとともに、市民館を巡回して配架の方法等についてのアドバイスを行うなど、図書室の利用促進を図った。今後も、図書館機能と配本機能の充実を図り、広範な市域の利用者に充実した図書館サービスが提供できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 配本業務費

35,830,640 円

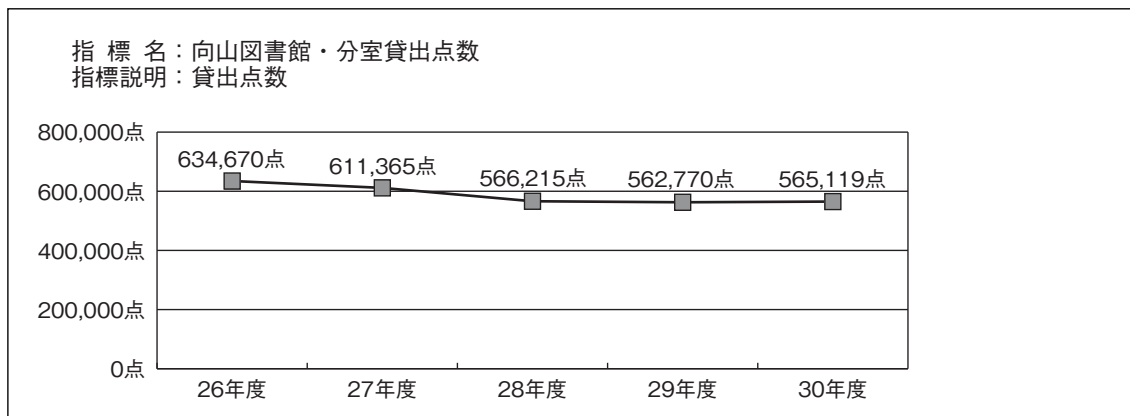
[利用状況等]

区 分		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	比 較
開 館 日 数		290日	290日	0.0%
入 館 者 数		延 148,007人	延 143,140人	△ 3.3
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 72,162	延 75,359	4.4
	分 室	延 79,322	延 81,048	2.2
	計	延 151,484	延 156,407	3.2
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 304,892冊	延 310,863冊	2.0
	分 室	延 257,878	延 254,256	△ 1.4
	計	延 562,770	延 565,119	0.4
蔵 書 冊 数		267,883	269,028	0.4

[資料購入状況]

区 分	内 容	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	比 較
図 書	一 般	4,331冊	4,730冊	9.2%
	児 童	3,463	3,396	△ 1.9
	参 考	1	12	12倍
	郷 土	15	9	△40.0%
	計	7,810	8,147	4.3
逐次刊行物	雑 誌	49種	49種	0.0
	新 聞	10	10	0.0

[指 標]



3 大清水図書館事業費

42,354,716 円（図書館）

〔総括〕

市民の読書への関心を高めるため、図書に関連した講座やイベント及び学校での出前講座等を開催するとともに、引き続き館内の図書資料の充実を図った。

〔実績及び成果〕

(1) 図書業務費 8,697,140 円

〔利用状況等〕

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
開 館 日 数	290日	290日	0.0%
入 館 者 数	延 303,298人	295,651人	△ 2.5
館 外 貸 出 人 数	延 60,318	60,879	0.9
館 外 貸 出 冊 数	延 298,835冊	292,129冊	△ 2.2
館外貸出人数（C D）	延 757人	695人	△ 8.2
館外貸出点数（C D）	延 1,214点	1,097点	△ 9.6
蔵 書 冊 数	64,814冊	67,986冊	4.9
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	473点	563点	19.0

〔資料購入状況〕

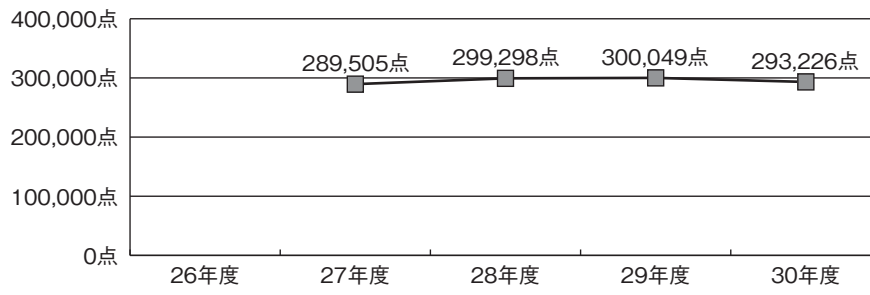
区 分	内 容	平成29年度	平成30年度	比 較
図 書	一 般	2,619冊	2,300冊	△12.2%
	児 童	1,034	803	△22.3
	参 考	0	1	皆増
	郷 土	7	5	△28.6
	計	3,660	3,109	△15.1
逐次刊行物	雑 誌 等	128種	131種	2.3
	新 聞	10	10	0.0
視聴覚資料	C D、D V D 等	80点	88点	10.0

(2) 行事開催業務費 61,595 円

区 分	平成29年度	平成30年度
資 料 展	1回 延 879人	—
市 民 向 け 講 座	1講座 延 15	1講座 延 80人
ミ ナ ク ル ま つ り	11月(1日間) 延 101	11月(1日間) 延 136
お は な し の へ や	78回 延 1,503	69回 延 1,149
図 書 館 を 知 ろ う	4校 延 245	4校 延 116

[指 標]

指 標 名：大清水図書館貸出点数
指 標 説 明：貸出点数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 美術博物館費 <美術博物館の充実>	257,753,226	0	0	29,568,621	228,184,605

1 美術博物館事業費 249,499,603 円 (美術博物館)

[総括]

郷土美術を紹介する「星野眞吾・高畑郁子二人の足跡」展や、豊橋出身の洋画家・高須光治とゆかりの深い岸田劉生の回顧展、北澤美術館所蔵品による「ルネ・ラリックの香水瓶」、国立国際美術館コレクション展「美術のみかた 自由自在」など近代から現代までの多彩な展覧会を開催し、優れた芸術文化を紹介するとともに、「吉田天王社と神主石田家」など郷土の歴史を研究・検証する展覧会を開催し、幅広い年齢層の来館者を得た。また、展覧会に合わせて講演会やワークショップ、ギャラリートークなど普及事業を実施した。

施設整備については、外壁等耐震改修工事及び外壁、内壁レンガ修繕を行い、施設の安全確保と長寿命化に努めた。

今後も、郷土ゆかりの美術・歴史資料の研究、優れた芸術作品の紹介、市民に幅広く受け入れられる展覧会の開催に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 59,575,175 円

[利用状況]

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
開 館 日 数	299日	289日	△ 3.3%
企 画 展	10件 延 93,923人	9件 延 80,314人	△14.5
共 催 展	6 延 8,507	4 延 6,683	△21.4
一 般 展	59 延 68,966	66 延 58,696	△14.9
公 開 講 座 等	25 延 2,321	25 延 1,588	△31.6
計	173,717	147,281	△15.2

[施設整備]

内 容	平成29年度	平成30年度
	美術博物館機能の現状調査 旧勤労青少年ホームの解体	外壁等耐震改修工事 外壁、内壁レンガ修繕

(2) 展覧会事業費 45,714,489 円

(ア) 展覧会開催事業費 42,554,893 円

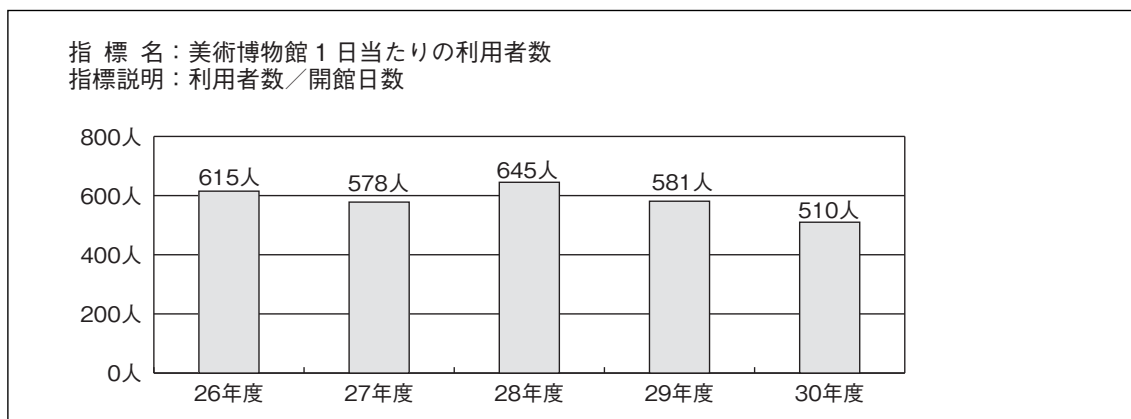
平成 29 年度		平成 30 年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
第 39 回 豊橋美術展	3,466人	第 40 回 豊橋美術展	4,004人	15.5%
第 67 回 豊橋市民展	3,157	第 68 回 豊橋市民展	3,360	6.4
豊橋市美術博物館 「新」収藏品展	3,964 (1回20人)	みかわの城－吉田城と天下 人－	8,427 (2回167人)	—
ニッポンの写実 そっくりの魔力	7,051 (7回574人)	岸田劉生展	6,432 (6回403人)	—
漫画界のレジェンド 松本零士展	12,863 (6回901人)	北澤美術館所蔵 ルネ・ラ リックの香水瓶－アール・ デコ、香りと装いの美－	6,553 (6回512人)	—
ウィリアム・モリス 原風景で たどるデザインの軌跡	6,810 (5回301人)	国立国際美術館コレクション 美術のみかた 自由自在	5,336 (5回247人)	—
収藏品展 「生誕100年 森緑翠と白土会」	2,965 (2回299人)	受贈記念「星野眞吾・高畑 郁子 二人の足跡」展	2,215 (3回105人)	—
豊橋の寺子屋展	4,025 (2回110人)	吉田天王社と神主石田家	2,842 (3回154人)	—
第7回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展 ～明日の日本画を求めて～	5,564 (2回116人)	/		—
常 設 展	44,058	常 設 展	41,145	△ 6.6
延639日	93,923 (25回2,321人)	延607日	80,314 (25回1,588人)	△14.5

※ () は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(3) 資料収集事業費 9,261,000 円

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
美 術 資 料	中村正義作 日本画 「五忿怒」等 2点	三沢厚彦作 彫刻 「Animal 2015-05」等 3点
歴 史 資 料	「自江戸至長崎東海道山陽道 四国九州街道ノ図」等 2件	原田圭岳筆杉戸絵等 2件

[指 標]



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,732,147 円（美術博物館）

[総 括]

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に木造校舎として建てられ、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。また、映画「早咲きの花」のロケ地として使用されたことをきっかけとして、当時の教室の様子を再現するなど、施設の魅力づくりに努めている。平成 30 年度はCMのロケ地としての利用や様々なイベントによって、利用方法の広がりとともに、入室者数も増加している。今後も、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、さらに利用者の拡大を図る。

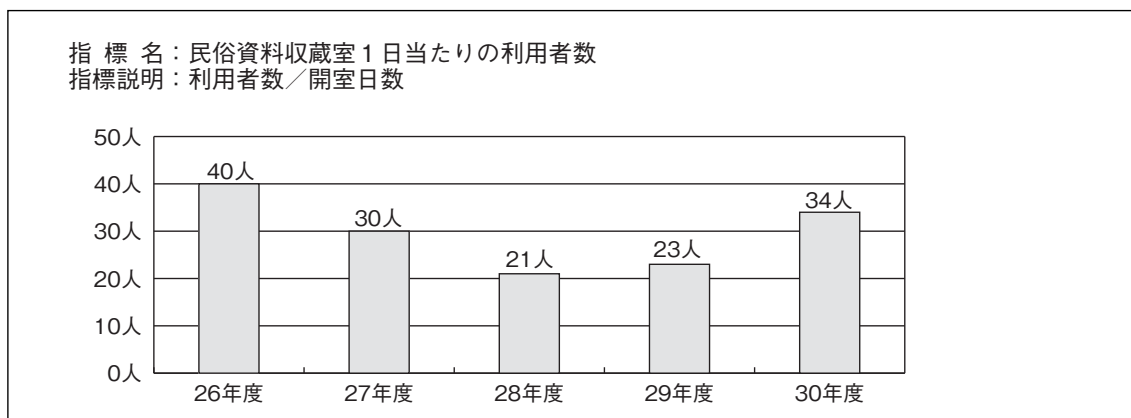
[実績及び成果]

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,732,147 円

[利用状況]

区 分	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	比 較
開 室 日 数	160日	173日	8.1%
延 入 室 者 数	3,695人	5,802人	57.0

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 歴史資源保存活用費 <歴史資源の保存と活用>	97,707,874	0	0	7,984,427	89,723,447

1 二川宿本陣資料館事業費 77,647,598 円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、「とよはしの旗本たち」、「幕末明治の浮世絵探訪展」、「戊年から亥年 干支と新春の遊び展」などの企画展、「五月人形展」、「ひなまつり」などを開催したほか、地元住民が主体となって開催する「大名行列」への助成、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。

今後、より多くの市民に来館してもらえよう魅力的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 28,245,536 円

[利用状況]

区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
開 館 日 数	312日	311日	△ 0.3%
延 入 館 者 数	42,349人	35,741人	△15.6

(2) 展覧会事業費 8,922,975 円

(ア) 展覧会開催事業費 7,135,675 円

平成29年度		平成30年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
浮世絵ねこの世界展	6,040人	とよはしの旗本たち	2,201人
岡山藩主池田家と吉田・二川	8,752	幕末明治の浮世絵探訪展	7,247
田原市博物館所蔵 浮世絵名品展	2,582	戊年から亥年 干支と新春の 遊び展	1,857
常設企画展 2回	6,005	常設企画展 2回	7,098
記念講演会等 2	79	記念講演会等 2	89
計	23,458	計	18,492

(イ) 琴のしらべ開催等事業費 1,145,429 円

平成29年度		平成30年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,872人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 3,251人
琴のしらべ・本陣茶会	入館者 525	琴のしらべ・本陣茶会	入館者 398
ほんじん講座	受講者 19	ほんじん講座	受講者 17
七夕の節句	会期中入館者 931	七夕の節句	会期中入館者 739
本陣体験講座 「ゆかたを着よう」	参加者 10	本陣体験講座 「ゆかたを着よう」	台風のため、中止
夏休み本陣体験講座 「江戸時代の旅体験」	参加者 6	夏休み本陣体験講座 「江戸時代の旅体験」	参加者 8
本陣体験講座 「和本を作ろう」	参加者 22	本陣体験講座 「和本を作ろう」	参加者 16
菊の節句－重陽－	会期中入館者 747	菊の節句－重陽－	会期中入館者 1,829
本陣古文書講座	参加者 231	本陣古文書講座	参加者 228
—	—	本陣体験講座 「春の七草を知ろう」	参加者 18
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 774	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 796
ひなまつり	会期中入館者 13,918	ひなまつり	会期中入館者 12,992
本陣句会	応募者 98	本陣句会	応募者 101

(3) 資料収集事業費 864,900 円

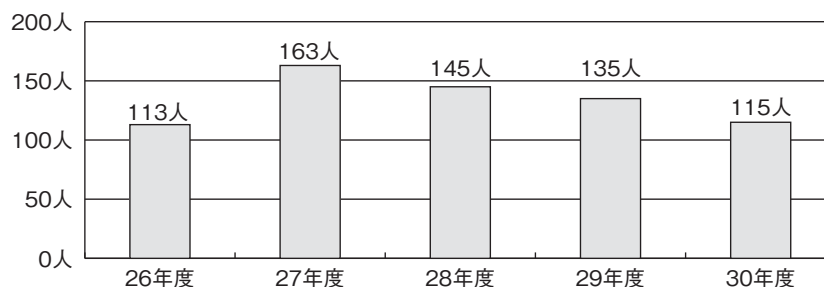
内 容	平成29年度	平成30年度
	東海道五十三次 桑名 隸書版等 5点	東海道五十三次 藤枝 隸書版等 7点

(4) 二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金 4,400,000 円

補 助 金	平成29年度	平成30年度
	4,400,000円	4,400,000円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館 1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



2 商家「駒屋」事業費

20,060,276 円（美術博物館）

〔総括〕

地域の交流、生涯学習、観光の拠点となる体験型施設として、カフェでの飲食提供や、ショップでの土産物などの物品販売を行うとともに、二川宿本陣資料館と連携した五節句などの各種イベントを定期的に開催した。今後も、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費

20,060,276 円

〔利用状況〕

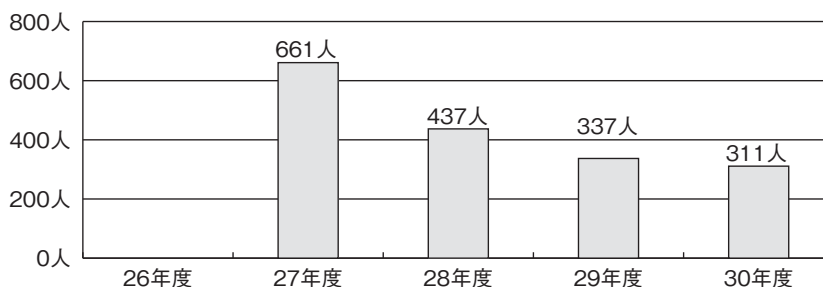
区 分	平成29年度	平成30年度	比 較
開 館 日 数	312日	311日	△ 0.3%
延 入 館 者 数	105,226人	96,664人	△ 8.1

〔主なイベント開催状況〕

平成29年度		平成30年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
大名行列写真展	会期中入館者 1,240人	こまやふえす	入 館 者 2,839人
新春LIVE書道 草田かじす&永田煙草 めおと展	会期中入館者 4,501	お盆でナイト	会期中入館者 1,121
ひなまつり	会期中入館者 36,658	ひなまつり	会期中入館者 27,203

〔指 標〕

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 文化財保護活動費 ＜文化財保護活動の担い手の育成＞	229,516,129	65,322,000	0	38,401,374	125,792,755

1 文化財保護事業費 229,516,129円 (美術博物館)

[総括]

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や指定・登録文化財に関する各種調査、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡瓜郷遺跡の用地の購入手続きを進めた。今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 219,297,466円

(ア) 市内遺跡発掘調査

内 容	平成29年度	平成30年度
	吉田城址・飽海遺跡の確認調査	

(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査

内 容	平成29年度	平成30年度
	西側遺跡・西側古墓群の発掘調査	

(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査

内 容	平成29年度	平成30年度
	境松遺跡・坂津寺貝塚の発掘調査	

(エ) 吉田城址確認緊急調査

内 容	平成29年度	平成30年度
	—	

(オ) 報告書作成業務

内 容	平成29年度	平成30年度
	埋蔵文化財調査報告書第146・147・148集の作成	

(カ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

内 容	平成29年度	平成30年度
	黒下遺跡・多米東町遺跡ほかの試掘確認調査	

(キ) 指定天然記念物植生調査

内 容	平成29年度	平成30年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地の植生調査や回復作業	

(ク) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	平成29年度	平成30年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購入手続き	

(2) 文化財保存事業補助金 1,693,000 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	玉泉寺のナギの樹勢回復、賀茂神社本殿の建物修理、普門寺収蔵庫の整備、小笠原家奉納経典の修理	

(3) 文化財保存活用事業費 8,525,663 円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	平成29年度	平成30年度
	—	

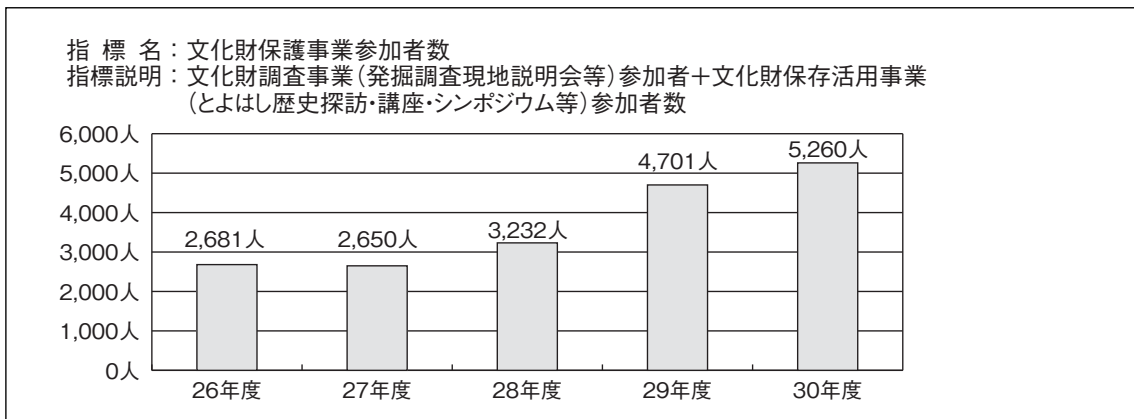
(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

内 容	平成29年度	平成30年度
	文化財めぐりや史跡めぐりなど現地見学、勾玉づくりなど体験講座を開催	

(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	平成29年度	平成30年度
	企画展「東海大土偶展」、とよはしシンポジウム「城の魅力-吉田城と戦国-」を開催	

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保健給食費	3,534,475,730	0	106,000,000	1,480,781,633	1,947,694,097
2目 子どもの健康増進費 <子どもの心と体の健康増進>	3,437,253,373	0	106,000,000	1,480,781,633	1,850,471,740

1 学校保健事業費 172,132,365 円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境衛生検査の基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 138,162,256 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 102,561,490 円

区 分		人 員	
		平成29年度	平成30年度
学 校 医	内 科	81人	81人
	耳 鼻 科	14	13
	眼 科	14	14
学 校 歯 科 医		84	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		232	231

(イ) 健康診断費 35,600,766 円

区 分	対 象	平成29年度	平成30年度	比 較
検 便	児 童	10,472人	—	皆減
検 尿	児 童 生 徒	32,674	32,656人	△ 0.1%
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	10,824	10,603	△ 2.0
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,485	3,356	△ 3.7
教 職 員 健 診	全 員	8,169	8,062	△ 1.3

(2) 学校保健会補助金 649,460 円

補 助 金	平成29年度	平成30年度
	648,907円	649,460円

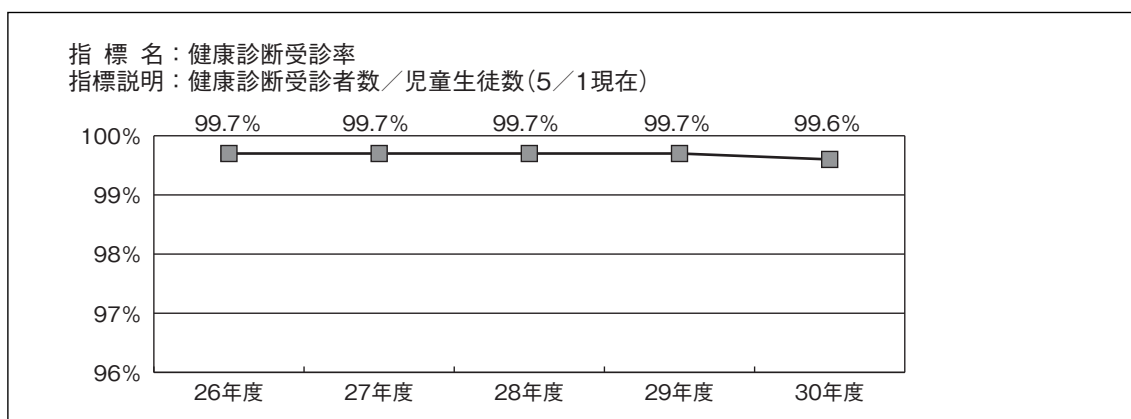
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 31,362,091 円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 30,554,035 円

(4) 学校結核予防事業費 1,958,558 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	平成29年度	平成30年度	比 較	平成29年度	平成30年度	比 較
間 接 撮 影	304人	286人	△ 5.9%	1,923人	1,917人	△ 0.3%
直 接 撮 影	181	229	26.5	3	2	△33.3
事 後 措 置	1	0	皆減	0	0	0.0

[指 標]



2 共同調理場運営事業費 1,305,690,350 円（保健給食課）

[総 括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 共同調理場運営事業費（南部） 226,923,514 円

平成 29 年 度				平成 30 年 度				食数比較
小学校	13校	5,549人	延1,595,266食	小学校	13校	5,519人	延1,575,238食	
中学校	5	2,946		中学校	5	2,893		
特別支援学校	1	372		特別支援学校	1	386		

(2) 共同調理場運営事業費（北部） 487,927,068 円

平成 29 年 度				平成 30 年 度				食数比較
小学校	13校	4,825人	延1,394,120食	小学校	13校	4,934人	延1,392,293食	
中学校	6	2,869		中学校	6	2,769		

(3) 共同調理場運営事業費（西部） 137,904,405 円

平成 29 年 度				平成 30 年 度				食数比較
小学校	11校	5,490人	延1,425,333食	小学校	11校	5,541人	延1,409,017食	
中学校	5	2,350		中学校	5	2,264		

(4) 共同調理場運営事業費（東部） 210,843,703 円

平成 29 年 度				平成 30 年 度				食数比較
小学校	15校	6,248人	延1,737,402食	小学校	15校	6,327人	延1,721,949食	
中学校	6	3,374		中学校	6	3,279		

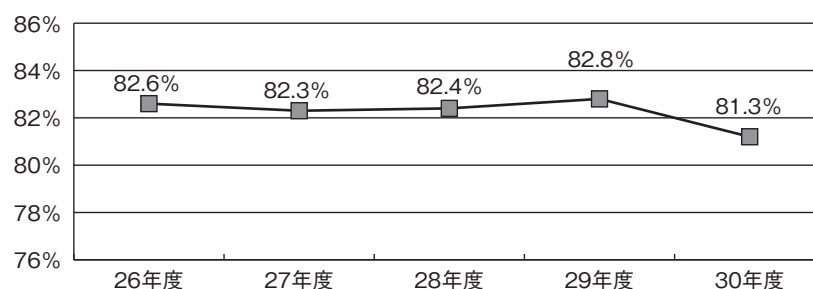
(5) 共同調理場改修工事（南部） 10,913,400 円

[施設整備]

内 容	平成 29 年 度	平成 30 年 度
	外壁等防水改修	

[指標]

指標名：学校給食の豊橋産食材使用率
 指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



3 共同調理場再整備事業費 134,055,281 円（保健給食課）

[総括]

事業の実施に必要な用地を取得し、PFI法による実施方針の策定及び特定事業の評価・選定を行った。今後は民間事業者の募集・選定を行い、施設整備を進めていく。

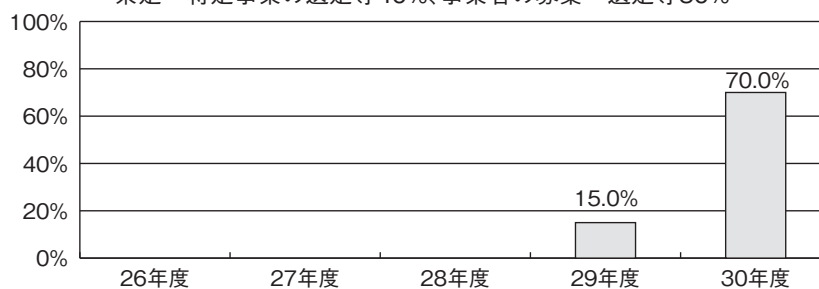
[実績及び成果]

(1) 共同調理場再整備事業費 134,055,281 円

内 容	平成29年度	平成30年度
	共同調理場再整備PFI導入可能性調査業務	用地取得・地質調査 実施方針の策定・特定事業の選定

[指標]

指標名：新学校給食共同調理場(仮称)建設までの事業進捗率
 指標説明：事業契約(100%)=PFI導入可能性調査15%、用地取得・地質調査15%、実施方針策定・特定事業の選定等40%、事業者の募集・選定等30%



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	183,048,813	9,440,000	9,800,000	0	163,808,813
2項	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	1,281,290	0	0	0	1,281,290
1目	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	1,281,290	0	0	0	1,281,290

1 農業用施設災害応急復旧費 1,281,290 円 (農地整備課)

[総括]

平成30年7月の台風12号、9月の台風24号により、反茂池、沢渡池等に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 農業用施設災害応急復旧費 1,281,290 円

内 容	平成29年度	平成30年度
		浚渫工

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	181,767,523	9,440,000	9,800,000	0	162,527,523
1目	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	181,767,523	9,440,000	9,800,000	0	162,527,523

1 諸施設災害応急復旧費 181,767,523 円 (「スポーツのまち」づくり課始め26課、1室)

[総括]

平成30年7月の台風12号、9月の台風21号及び台風24号により、ごみ処理施設、公園、学校等に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 諸施設災害応急復旧費 181,767,523 円

内 容	平成29年度			平成30年度		
		公共施設等復旧	大清水分団器具庫・詰所ほか つつじが丘小学校ほか 青陵地区市民館ほか 前芝燈明台 石巻運動広場 高師緑地ほか	「スポーツのまち」づくり課 長寿介護課 収集業務課 資源化センター 埋立処理課 公園緑地課 消防本部総務課 教育政策課 保健給食課 生涯学習課 美術博物館 ほか15課、1室 「スポーツのまち」づくり課 公園緑地課 ほか5課	公共施設等復旧	総合体育館ほか 石巻高齢者活動センターほか 東部環境センターほか 資源化センター西工場棟ほか 最終処分場 総合スポーツ公園ほか 中消防署ほか 本郷中学校ほか 南部調理場ほか 野外教育センターほか 二川宿本陣資料館ほか 倒木枝折処理 石巻運動広場ほか 高師緑地ほか